

第6回みえ県民意識調査

《集計結果 報告書》

平成29年4月

三重県戦略企画部

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 調査の内容	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	2
6. 回答者の属性	3
II 集計結果	5
1. 幸福感	5
2. 地域や社会の状況についての実感	13
3. 県民の皆さんの実感や状況	47
4. ご家族に関すること	65
5. 働き方に関すること	87
6. 情報の入手に関すること	99
7. 動物愛護に関すること	107
III その他	117

I 調査の概要

1. 調査の目的

県では、「みえ県民カビジョン」において「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」を基本理念として掲げており、県民の皆さんの「幸福実感」を把握し、県政運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を毎年実施しています。第6回調査の概要は以下のとおりです。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の18歳以上の者
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
- (5) 調査方法 郵送による発送・回収
- (6) 調査期間 平成29年1月～平成29年2月
- (7) 調査主体 三重県戦略企画部企画課
- (8) 調査委託機関 株式会社東京商工リサーチ 津支店
(調査対象者の抽出、調査票等発送、調査票のデータ入力及び集計業務)

3. 調査の内容

下記の6つの調査項目により構成しています。

- (1) 幸福感
- (2) 地域や社会の状況についての実感
- (3) ご家族に関すること
- (4) 働き方に関すること
- (5) 情報の入手に関すること
- (6) 動物愛護に関すること
- (7) 自由意見 (質問総数 52問)

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 5,324人 (回収率 53.2%)
- (3) 有効回答数 5,317人 (有効回答率 53.2%)
- (4) 無効回答数 7人

図表 1-4-1 有効回答率の推移

	調査時期	有効回答率
第6回(今回)	平成29年1月～2月	53.2%
第5回(前回)	平成27年11月～12月	52.4%
第4回	平成27年1月～2月	54.4%
第3回	平成26年1月～2月	54.6%
第2回	平成25年1月～2月	54.3%
第1回	平成24年1月～2月	57.1%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

居住地域	市町	標本数	有効回答数	有効回答率 (%)	構成比 (%)
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、 亀山市、いなべ市、木曾岬町、 東員町、菰野町、朝日町、 川越町	4,534	2,374	52.4	44.6
伊賀地域	名張市、伊賀市	949	531	56.0	10.0
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、 大台町	2,698	1,464	54.1	27.5
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、 玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町	1,397	678	54.3	12.8
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、 御浜町、紀宝町	422	203	48.1	3.8
不明	—	—	67	—	1.3
合計		10,000	5,317	53.2	100.0

5. 報告書の見方

- (1) 報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数(=有効回答数)を表しています。
- (2) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数(n)で割った比率となっており、比率の合計は通常100%を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現では、スペース等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) スペースの関係で、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。
- (6) 属性項目間の比較で大きな差が見られない属性や前回調査から大きな変化が見られない属性等については、記述を省略しています。
- (7) サンプル数(n)が50未満の属性項目、ならびに世帯構成の「その他」、世帯の年間収入の「わからない」の3つの属性項目については、原則として記述を省略しています。

6. 回答者の属性

(1) 集計する際の基本的な属性は、地域、性別、年齢、主な職業、配偶関係、世帯類型、世帯収入の7つとしています。

(2) 地域については、前回調査では調査票の色で地域を特定していましたが、今回調査ではすべての地域を同じ色の調査票としたことから、前回調査との比較はできません。

(3) 年齢については、前回調査では20歳以上を対象としていましたが、今回調査では18歳以上を対象としたことから、前回調査との比較はできません。

(4) 回答者属性の構成比について、前回調査との差における主な特徴は次のとおりです。

- ・性別では、「男性」の割合が前回調査より高く、「女性」が低くなっています。

- ・主な職業別では、「農林水産業」、「自営業・自由業」、「正規職員」、「パート・アルバイト・派遣社員など」、「学生」の割合が前回調査より高く、「その他の職業」、「専業主婦・主夫」、「無職」が低くなっています。

- ・配偶関係別では、「有配偶」、「離別・死別」の割合が前回調査より高く、「未婚」が低くなっています。

- ・世帯類型別では、「二世帯世帯」、「その他の世帯」の割合が前回調査より高く、「単独世帯」、「一世帯世帯」、「三世帯世帯」が低くなっています。

- ・世帯収入別では、「100～300万円未満」、「600万円以上」の割合が前回調査より高く、「0～100万円未満」と「300～600万円未満」が前回調査より低くなっています。

図表 1-6-1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比(%)		(前回差)
			今回	前回	
地域	北勢	2,374	44.7	-	-
	伊賀	531	10.0	-	-
	中南勢	1,464	27.5	-	-
	伊勢志摩	678	12.8	-	-
	東紀州	203	3.8	-	-
	不明	67	1.3	-	-
性別	男性	2,441	45.9	40.9	(5.0)
	女性	2,723	51.2	56.7	(-5.5)
	不明	153	2.9	2.5	(0.4)
年齢	18歳から20歳代	291	5.5	-	-
	30歳代	546	10.3	-	-
	40歳代	863	16.2	-	-
	50歳代	1,042	19.6	-	-
	60歳代	1,332	25.1	-	-
	70歳以上	1,088	20.5	-	-
	不明	74	1.4	-	-
主な職業	農林水産業	153	2.9	2.5	(0.4)
	自営業・自由業	525	9.9	8.8	(1.1)
	正規職員	1,472	27.7	23.9	(3.8)
	パート・アルバイト・派遣	1,029	19.4	19.3	(0.1)
	その他の職業	234	4.4	4.7	(-0.3)
	学生	73	1.4	1.1	(0.3)
	専業主婦・主夫	561	10.6	15.6	(-5.1)
	無職	1,103	20.7	21.2	(-0.4)
	不明	86	1.6	2.9	(-1.2)
配偶関係	未婚	618	11.6	13.4	(-1.8)
	有配偶	3,894	73.2	71.2	(2.0)
	離別・死別	736	13.8	12.1	(1.7)
	不明	69	1.3	3.3	(-2.0)
世帯類型	単独世帯	427	8.0	8.1	(-0.1)
	一世帯世帯	1,563	29.4	29.7	(-0.3)
	二世帯世帯	2,412	45.4	45.1	(0.3)
	三世帯世帯	646	12.2	12.5	(-0.4)
	その他世帯	111	2.1	1.9	(0.2)
	不明	158	3.0	2.7	(0.3)
世帯収入	～100万円未満	233	4.4	4.8	(-0.4)
	～200万円未満	559	10.5	10.2	(0.3)
	～300万円未満	840	15.8	14.8	(1.0)
	～400万円未満	652	12.3	13.8	(-1.5)
	～500万円未満	576	10.8	11.2	(-0.3)
	～600万円未満	507	9.5	10.5	(-1.0)
	～800万円未満	683	12.9	12.6	(0.2)
	～1,000万円未満	416	7.8	6.7	(1.1)
	1,000万円以上	370	7.0	6.8	(0.1)
	わからない	349	6.6	6.4	(0.2)
	不明	132	2.5	2.2	(0.3)
	有効回答数	5,317	100.0	100.0	

Ⅱ 集計結果

1. 幸福感

問1-1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ〇で囲んでください。
(〇は1つだけ)

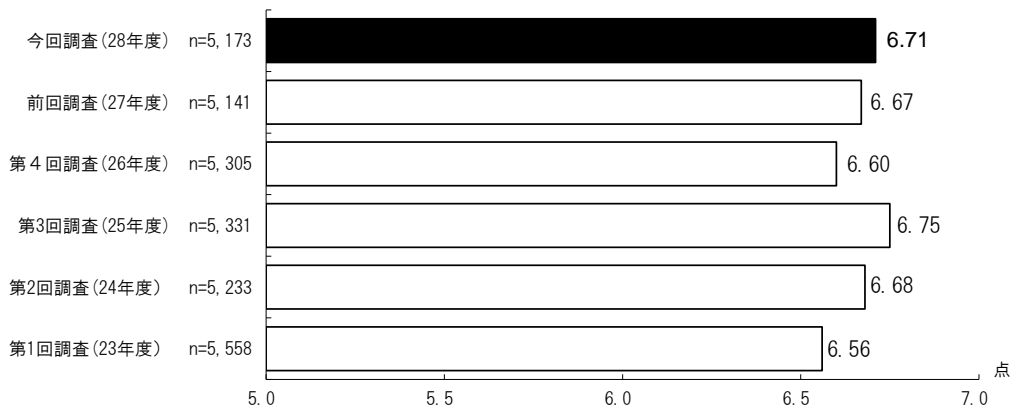
➤ 日ごろ感じている幸福感

県民の皆さんが日ごろ感じている幸福感（以下「幸福感」と記載）について10点満点で質問したところ、平均値は6.71点で、第1回調査より0.15点、前回調査より0.04点それぞれ高くなっています。

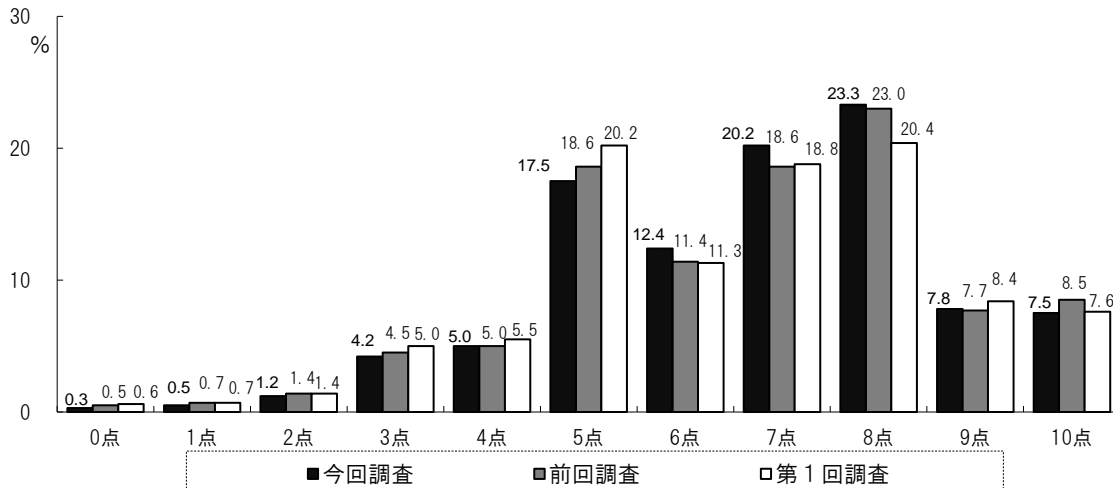
点数の分布をみると、「8点」の割合が23.3%と最も高く、次いで「7点」が20.2%と「5点」が17.5%となっており、M字型となっています。

前回調査と比べると、「7点」の割合が1.6ポイント高く、「5点」の割合が1.1ポイント低くなっています。第1回調査と比べると、「8点」の割合が2.9ポイント高く、「5点」が2.7ポイント低くなっています。

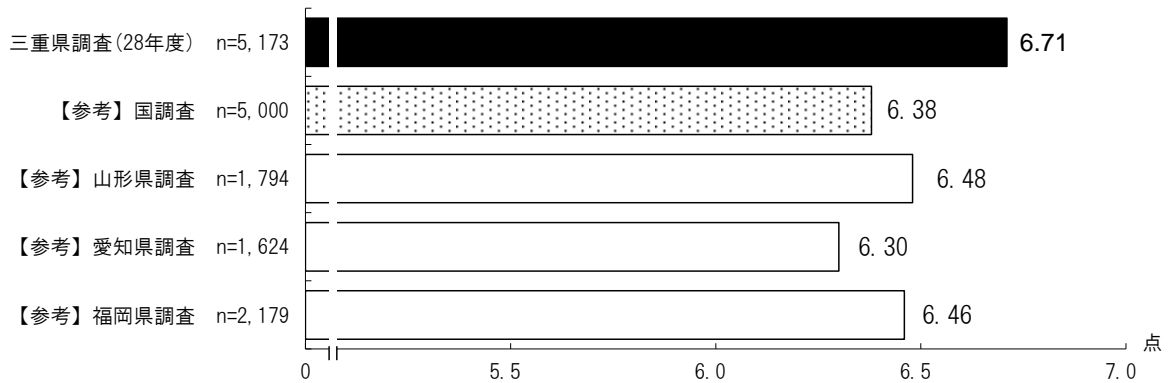
図表 2-1-1 日ごろ感じている幸福感の平均値



図表 2-1-2 日ごろ感じている幸福感の分布



図表 2-1-3 (参考)国及び他県における類いの調査結果(「幸福感」を 10 点満点で尋ねる調査)



※ 国調査：厚生労働省「平成 26 年健康意識調査」、山形県調査：「平成 27 年度県政アンケート調査」、愛知県調査：「平成 27 年度第 3 回県政世論調査」、福岡県調査：「平成 28 年度県民意識調査」

日ごろ感じている幸福感（属性別特徴）

地域別で幸福感平均値を見ると、北勢が 6.81 点で最も高く、次いで中南勢、伊勢志摩の順となっています。前回調査と比較すると、伊賀で 0.13 点、北勢で 0.05 点それぞれ高く、東紀州で 0.12 点低くなっています。

性別で幸福感平均値を見ると、女性が 6.85 点で男性の 6.58 点より 0.27 点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は 0.16 点高く、女性は 0.01 点低くなっています。第 1 回調査と比較すると、男性は 0.26 点、女性は 0.05 点それぞれ高くなっています。

年齢別で幸福感平均値を見ると、30 歳代が 6.91 点と最も高く、次いで 40 歳代、50～60 歳代の順となっています。前回調査と比較すると、70 歳以上を除く全ての年齢階級で高くなっており、30 歳代で 0.13 点、40 歳代で 0.09 点、50 歳代で 0.08 点それぞれ高くなっています。第 1 回調査と比較しても、70 歳以上を除く全ての年齢階級で高くなっています。

主な職業別で幸福感平均値を見ると、専業主婦・主夫が 7.03 点で最も高く、次いで学生、自営業・自由業の順となっています。前回調査と比較すると、学生と専業主婦・主夫を除く全ての職業で高くなっており、農林水産業とその他の職業で 0.27 点、自営業・自由業で 0.26 点それぞれ高くなっています。第 1 回調査と比較すると、農林水産業、その他の職業、専業主婦・主夫を除く全ての職業で高くなっています。

配偶関係別で幸福感平均値を見ると、有配偶が 6.91 点で最も高く、次いで離別・死別が 6.27 点、未婚が 6.03 点となっています。前回調査と比較すると、未婚で 0.19 点、離別・死別で 0.06 点それぞれ高くなっています。第 1 回調査と比較すると、全ての配偶関係で高くなっています。

世帯類型別で幸福感平均値を見ると、三世代世帯が 7.01 点で最も高く、次いで一世代世帯が 6.83 点、二世帯世帯が 6.73 点、単独世帯が 5.99 点となっています。第 1 回調査と比較すると、単独世帯を除く全ての世帯で高くなっています。

世帯収入別では、500～600 万円未満の世帯収入の階層を除き、世帯収入が高いほど幸福感平均値が高くなっています。前回調査と比較すると、100 万円未満で 0.33 点、400～500 万円未満で 0.25 点それぞれ高くなっています。

図表 2-1-4 日ごろ感じている幸福度の平均値(属性項目別)

	今回 点	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
合計	6.71	(0.04)	<0.15>
地域			
北勢	6.81	(0.05)	<0.17>
伊賀	6.61	(0.13)	<0.10>
中南勢	6.69	(0.04)	<0.15>
伊勢志摩	6.64	(0.02)	<0.23>
東紀州	6.36	(-0.12)	<-0.11>
性別			
男性	6.58	(0.16)	<0.26>
女性	6.85	(-0.01)	<0.05>
年齢			
18歳から20歳代	6.69	(-)	<->
30歳代	6.91	(0.13)	<0.06>
40歳代	6.87	(0.09)	<0.30>
50歳代	6.71	(0.08)	<0.21>
60歳代	6.71	(0.02)	<0.22>
70歳以上	6.55	(-0.05)	<0.00>
主な職業			
農林水産業	6.48	(0.27)	<-0.02>
自営業・自由業	6.93	(0.26)	<0.28>
正規職員	6.86	(0.01)	<0.17>
パート・アルバイト・派遣	6.64	(0.15)	<0.25>
その他の職業	6.62	(0.27)	<-0.05>
学生	6.97	(-0.27)	<0.39>
専業主婦・主夫	7.03	(-0.19)	<-0.01>
無職	6.41	(0.07)	<0.18>
配偶関係			
未婚	6.03	(0.19)	<0.26>
有配偶	6.91	(0.00)	<0.13>
離別・死別	6.27	(0.06)	<0.17>
世帯類型			
単独世帯	5.99	(0.11)	<0.00>
一世帯世帯	6.83	(-0.04)	<0.09>
二世帯世帯	6.73	(0.06)	<0.23>
三世帯世帯	7.01	(0.20)	<0.19>
世帯収入			
～100万円未満	5.86	(0.33)	<->
～200万円未満	6.09	(0.13)	<->
～300万円未満	6.42	(0.04)	<->
～400万円未満	6.53	(-0.20)	<->
～500万円未満	6.95	(0.25)	<->
～600万円未満	6.88	(0.03)	<->
～800万円未満	7.11	(0.03)	<->
～1,000万円未満	7.15	(-0.12)	<->
1,000万円以上	7.68	(0.05)	<->

※世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問1-2 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

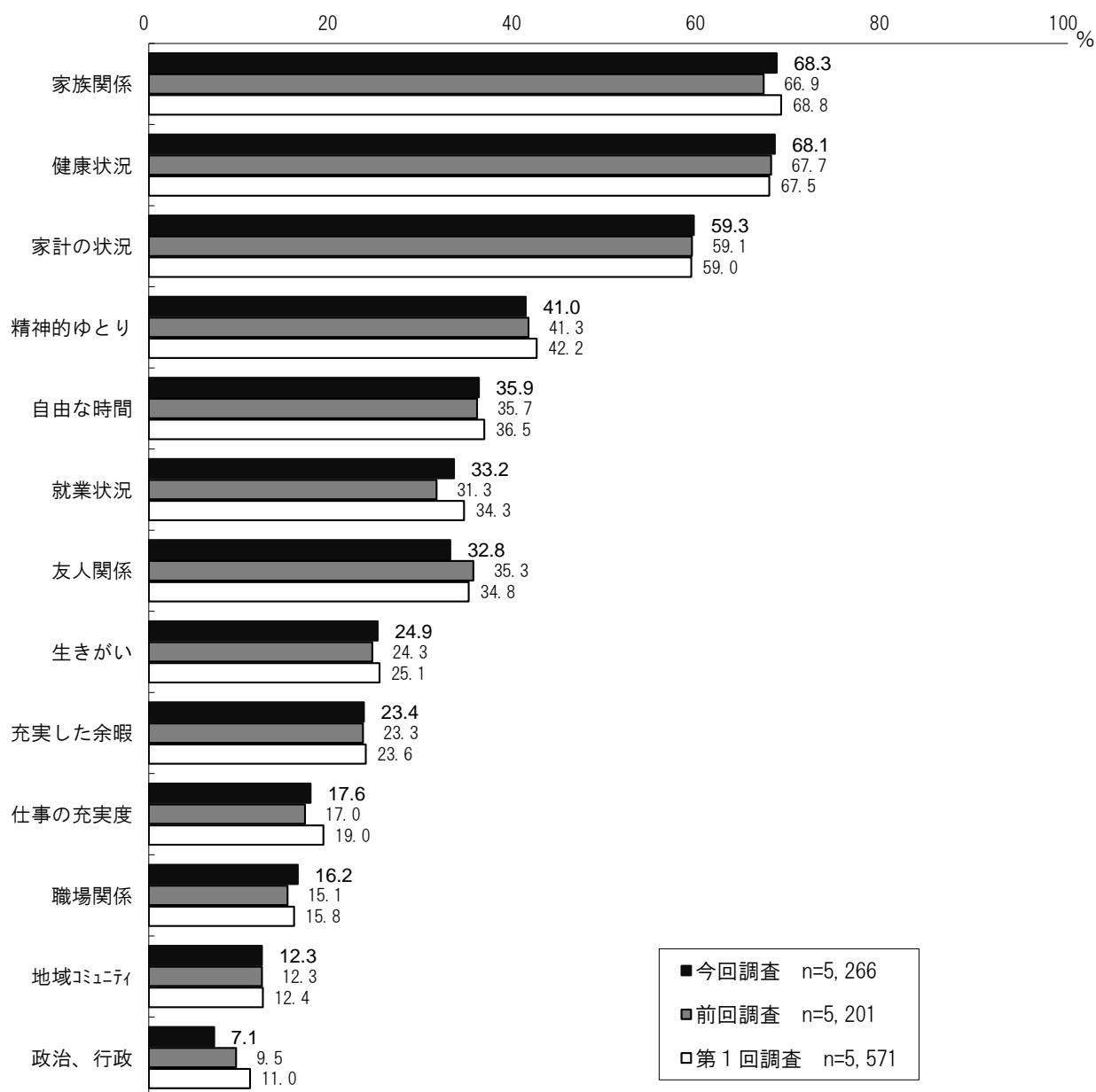
➤ 幸福感を判断する際に重視した事項

幸福感を判断する際に重視した事項は、「家族関係」の割合が68.3%で最も高く、次いで「健康状況」(68.1%)、「家計の状況」(59.3%)となっています。

第1回調査から第3回調査は「家族関係」が最も高く、第4回調査と前回調査は「健康状況」が最も高くなっていましたが、今回調査は再び「家族関係」が最も高くなっていました。

また、第1回調査から前回調査は、「就業状況」より「友人関係」の割合が高くなっていましたが、今回調査では「友人関係」より「就業状況」の割合が高くなっていました。

図表 2-1-5 幸福感を判断する際に重視した事項〔複数回答〕



➤ 幸福感を判断する際に重視した事項（属性別特徴）

図表 2-1-6 幸福感を判断する際に重視した事項
(全体の上位6項目の属性別)

地域別では、北勢、東紀州では「家族関係」が、伊賀、中南勢、伊勢志摩では「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

性別では、男性は「健康状況」が、女性は「家族関係」が最も高くなっています。

年齢別では、50歳代以上は「健康状況」が、40歳代以下は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。30歳代は「家計の状況」が2番目に高く、18歳から20歳代は「友人関係」が2番目に高くなっています。

主な職業別では、農林水産業、正規職員、パート・バイト・派遣、専業主婦・主夫は「家族関係」が最も高く、自営業・自由業、その他の職業、無職は「健康状況」が最も高くなっています。

学生は「友人関係」が最も高くなっています。

配偶関係別では、有配偶は「家族関係」が、未婚と離別・死別では「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯類型別では、一世代世帯、二世帯世帯、三世帯世帯は「家族関係」が、単独世帯は「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯収入別では、400万円未満の層は「健康状況」が最も高く、400万円以上の層では「家族関係」が最も高くなっています。

	家族関係	健康状況	家計の状況	精神的ゆとり	自由な時間	就業状況	友人関係	
全体	68.3	68.1	59.3	41.0	35.9	33.2	32.8	
地域	北勢	69.0	66.4	60.9	39.7	35.7	33.6	32.9
	伊賀	67.4	69.1	58.9	40.0	34.5	36.2	33.1
	中南勢	68.9	71.4	59.5	42.5	36.3	34.2	32.8
	伊勢志摩	65.6	66.9	56.5	44.0	36.8	31.6	31.7
	東紀州	69.3	63.9	49.5	39.6	38.1	19.8	33.7
性別	男性	65.2	67.5	59.4	38.5	32.7	35.0	26.0
	女性	71.3	68.8	59.9	43.8	38.6	31.7	38.6
年齢	18歳から20歳代	62.5	54.0	49.1	43.6	48.1	39.2	57.4
	30歳代	73.8	58.2	60.0	43.8	34.6	45.9	33.7
	40歳代	74.8	65.3	62.7	41.3	30.8	45.0	30.8
	50歳代	69.8	71.2	66.5	43.3	29.3	47.7	27.4
	60歳代	67.1	73.4	60.7	41.0	35.7	26.2	29.7
	70歳以上	62.3	69.7	52.1	37.4	43.6	10.7	35.6
主な職業	農林水産業	69.3	66.7	58.2	42.5	36.6	26.1	34.0
	自営業・自由業	67.6	68.3	60.8	41.7	32.2	36.1	34.9
	正規職員	71.4	66.2	63.6	39.4	29.2	52.5	30.3
	パート・バイト・派遣	71.1	68.5	61.3	42.1	34.7	43.1	31.3
	その他の職業	63.6	64.5	61.5	39.4	33.8	39.8	30.7
	学生	67.1	60.3	37.0	56.2	65.8	19.2	71.2
	専業主婦・主夫	76.3	71.3	63.6	44.5	40.2	13.3	39.5
	無職	59.3	69.8	52.3	39.9	43.6	8.0	29.9
配偶関係	未婚	52.4	58.8	51.1	45.0	45.7	44.0	43.4
	有配偶	72.4	69.7	62.8	40.4	34.0	33.0	30.6
	離別・死別	61.2	68.6	49.2	41.0	39.3	26.3	36.2
世帯類型	単独世帯	48.0	68.3	50.6	45.3	43.2	28.4	37.5
	一世代世帯	68.9	68.8	60.7	38.7	39.2	23.9	31.2
	二世帯世帯	70.8	67.4	61.1	42.2	33.3	39.6	31.5
	三世帯世帯	73.9	70.5	58.5	42.1	32.5	35.6	36.7
世帯収入	100万円未満	54.4	61.0	46.5	39.5	40.4	23.7	32.9
	~200万円未満	55.9	65.2	52.6	41.2	40.3	22.7	33.9
	~300万円未満	65.6	69.7	55.0	39.1	39.6	22.8	33.4
	~400万円未満	69.1	70.2	59.6	41.4	35.0	28.2	29.5
	~500万円未満	72.6	67.2	63.5	38.7	34.2	33.2	33.7
	~600万円未満	73.6	65.5	60.6	42.0	31.8	38.9	30.4
	~800万円未満	74.8	68.9	64.8	40.5	32.5	45.2	30.9
	~1,000万円未満	72.9	71.3	70.8	40.8	29.7	45.9	32.4
1,000万円以上	77.5	76.4	72.9	45.8	33.3	53.1	36.6	

※凡例： 第1位 第2位 第3位

問1-3 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。(○は2つまで)

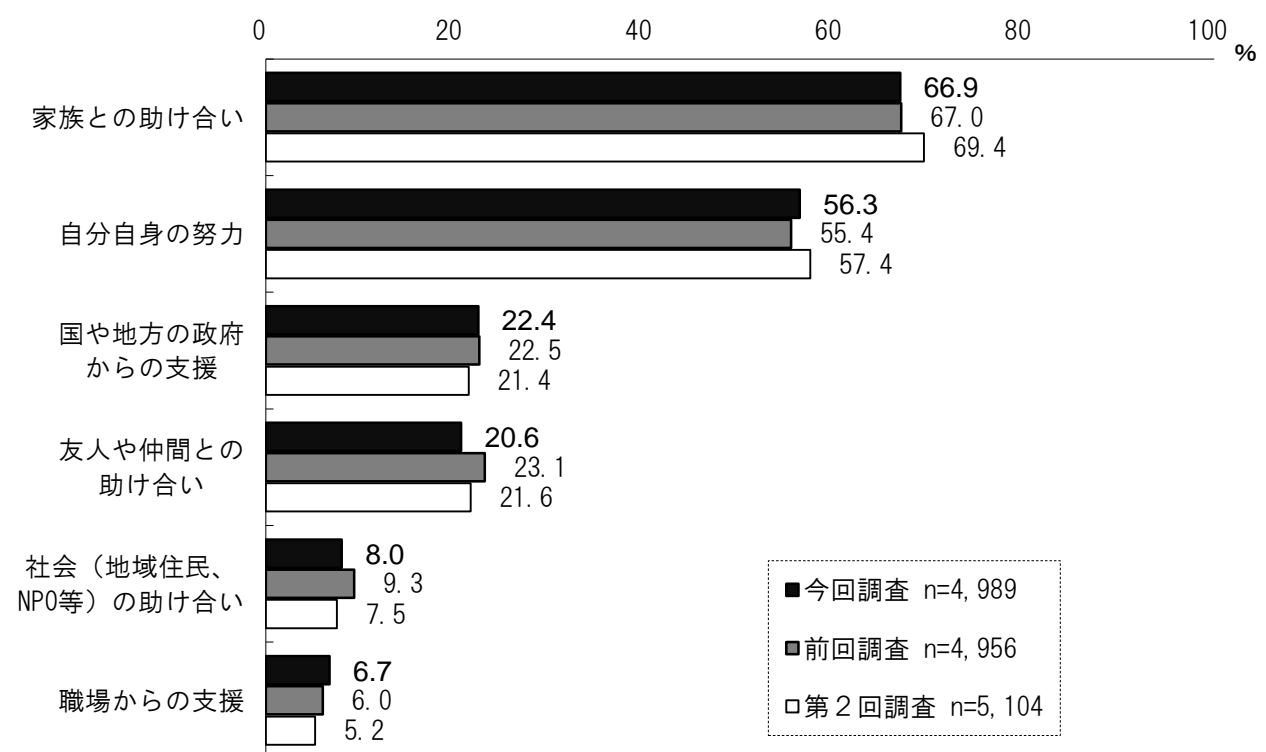
➤ 幸福感を高める手立て

幸福感を高める手立てについては、「家族との助け合い」が66.9%で最も高く、次いで、「自分自身の努力」(56.3%)、「国や地方の政府からの支援」(22.4%)となっています。

前回調査との比較では、「自分自身の努力」が0.9ポイント、「職場からの支援」が0.7ポイントそれぞれ高く、「友人や仲間との助け合い」が2.5ポイント、「社会(地域住民、NPO等)の助け合い」が1.3ポイントそれぞれ低くなっています。

「国や地方の政府からの支援」が「友人や仲間との助け合い」と入れ替わり、3番目に高くなったことを除くと、前回調査の順位から変動はありません。

図表 2-1-7 幸福感を高める手立て〔2つまでの複数回答〕



➤ 幸福感を高める手立て（属性別特徴）

地域別では、全ての地域で「家族との助け合い」が最も高く、次いで「自分自身の努力」の順となっています。

性別では、男女とも「家族との助け合い」、「自分自身の努力」、「国や地方の政府からの支援」の順に高くなっています。

年齢別では、18歳から20歳代を除くすべての層で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。18歳から20歳代は「自分自身の努力」、「友人や仲間との助け合い」の順に高くなっています。

主な職業別に見ると、学生を除く全ての職業で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。学生は「友人や仲間との助け合い」が最も高くなっています。

配偶関係別では、有配偶は「家族との助け合い」が最も高く、未婚と離別・死別は「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯を除く全ての世帯類型で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。単独世帯では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯収入別では、100万円～200万円未満を除く全ての層で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。100万円～200万円未満では「自分自身の努力」、「家族との助け合い」の順に高くなっています。

図表 2-1-8 幸福感を高める手立て（属性別）

	助 家 け 族 合 と い の	自 分 自 身 の 努 力	か 国 ら や の 地 方 支 援 の 政 府	助 友 け 人 合 い や 仲 間 と の	の 民、 助 け 合 い N P O 等 （ 地 域 住 民 ）	職 場 か ら の 支 援	
全体	66.9	56.3	22.4	20.6	8.0	6.7	
地域	北勢	67.2	56.8	21.4	20.3	7.7	7.3
	伊賀	66.7	55.4	26.7	20.0	7.9	6.5
	中南勢	67.0	55.8	22.6	21.8	8.4	6.6
	伊勢志摩	67.1	57.3	22.0	18.4	8.2	5.9
	東紀州	66.0	54.8	21.8	23.9	8.1	5.6
性別	男性	64.6	58.5	21.7	18.1	10.0	7.3
	女性	69.1	54.1	23.2	22.7	6.4	6.4
年齢	18歳から20歳代	43.1	53.7	21.0	41.3	3.6	18.5
	30歳代	61.5	49.9	27.1	22.2	5.3	14.7
	40歳代	67.8	54.5	25.6	16.0	5.4	11.3
	50歳代	69.0	57.5	23.2	15.2	8.2	7.5
	60歳代	69.9	59.6	20.7	18.6	10.3	2.1
	70歳以上	70.0	55.9	19.8	24.8	10.2	1.1
主な職業	農林水産業	69.4	56.5	20.4	23.1	12.2	2.7
	自営業・自由業	66.1	63.2	19.8	21.3	8.7	2.5
	正規職員	65.4	56.5	21.5	19.0	5.7	13.7
	パート・バイト・派遣	67.8	54.8	25.5	17.6	7.4	7.9
	その他の職業	56.0	58.3	26.1	14.7	8.3	11.9
	学生	43.7	56.3	15.5	57.7	7.0	1.4
	専業主婦・主夫	76.4	53.4	21.5	22.6	7.5	2.1
無職	67.3	54.9	23.1	22.0	11.2	1.0	
配偶関係	未婚	40.0	63.0	23.3	31.0	6.9	13.2
	有配偶	73.0	54.8	21.5	18.3	8.2	6.2
	離別・死別	57.0	59.7	26.3	25.1	7.4	4.4
世帯類型	単独世帯	39.9	68.8	25.2	29.9	8.5	6.5
	一世代世帯	71.9	55.4	20.3	20.4	9.4	4.4
	二世帯世帯	67.6	55.1	23.6	18.4	7.4	8.7
	三世帯世帯	72.6	53.9	20.7	23.2	6.7	5.4
世帯収入	100万円未満	56.0	52.2	34.9	19.6	6.7	4.8
	～200万円未満	56.2	58.9	26.9	22.5	10.1	5.0
	～300万円未満	68.2	54.1	24.8	22.2	9.8	3.7
	～400万円未満	67.2	56.9	22.0	20.7	9.5	4.7
	～500万円未満	67.1	56.0	22.0	20.7	8.4	7.3
	～600万円未満	69.1	52.8	22.9	15.9	9.9	10.3
	～800万円未満	71.0	57.9	22.4	18.7	4.9	8.9
	～1,000万円未満	72.2	56.1	18.2	20.0	6.0	9.1
1,000万円以上	75.3	65.4	10.8	18.6	5.8	8.1	

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

2. 地域や社会の状況についての実感

「地域や社会の状況についての実感」は、平成24年度に策定した「みえ県民カビジョン」で政策分野ごとに設定した15の「幸福実感指標」に対応した質問となっています。

「幸福実感指標」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる政策分野ごとの実感の推移を調べ、全体としての幸福実感を把握するための指標です。

なお、「幸福実感指標」と関連する県の政策分野は以下のとおりです。

問2	幸福実感指標	関連する県の政策分野
(1)	災害の危機への備えが進んでいると感じる県民の割合	防災・減災
(2)	必要な医療サービスが利用できていると感じる県民の割合	命を守る
(3)	必要な福祉サービスが利用できていると感じる県民の割合	共生の福祉社会
(4)	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じる県民の割合	暮らしの安全を守る
(5)	身近な自然や環境が守られていると感じる県民の割合 (※ 前回調査で質問を変更)	環境を守る
(6)	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合 (※ 前回調査で質問を変更)	人権の尊重と多様性を認め合う社会
(7)	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合	学びの充実
(8)	結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っていると感じる県民の割合 (※ 前回調査で質問を変更)	希望がかなう少子化対策の推進
(9)	スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じる県民の割合 (※ 前回調査で質問を変更)	スポーツの推進
(10)	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合	地域の活力の向上
(11)	三重県産の農林水産物を買いたいと感じる県民の割合	農林水産業
(12)	県内の産業活動が活発であると感じる県民の割合	強じんて多様な産業
(13)	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じる県民の割合	世界に開かれた三重
(14)	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じる県民の割合	雇用の確保と多様な働き方
(15)	道路や公共交通機関等が整っていると感じる県民の割合	安心と活力を生み出す基盤

問2 次の(1)から(15)までの15の質問それぞれについて、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

➤ **地域や社会の状況についての実感 (15項目全体の集計結果)**

※項目毎の集計結果は16ページから45ページに記載

○『実感している層』の割合

地域や社会の状況についての実感を聞いたところ、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した『実感している層』の割合は、「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」が83.8%で最も高くなっています。次いで「(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい」(73.5%)、「(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(65.4%)の順で、これまでの6回の調査を通じて同順位となっています。

○『実感していない層』の割合

「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した『実感していない層』の割合は「(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」が63.4%で、第1回調査以降、継続して最も高くなっています。次いで、「(6)性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できている」(55.5%)、「(1)災害の危機への備えが進んでいる」(54.7%)の順となっています。

○前回調査との比較

前回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは、15項目のうち13項目で、増加幅が大きかったのは「(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(+5.2ポイント)、「(2)必要な医療サービスが利用できている」(+3.0ポイント)、「(13)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(+2.9ポイント)となっています。

また、低くなったのは2項目で、減少幅が大きい順で「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」(-1.7ポイント)、「(15)道路や公共交通機関等が整っている」(-0.6ポイント)となっています。

一方、『実感していない層』の割合が低くなったのは、15項目のうち11項目で、「(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(-4.4ポイント)の減少幅が最も大きくなっています。また、高くなったのは3項目で「(9)スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っている」(+1.1ポイント)、「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」(+1.1ポイント)の増加幅が最も大きくなっています。

○第1回調査との比較

第1回調査から質問内容を変えずに継続的に聞きしている11項目のうち、第1回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは9項目で、増加幅が最も大きかったのは「(13)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(+19.1ポイント)、次いで「(1)災害の危機への備えが進んでいる」(+9.8ポイント)、「(12)県内の産業活動が活発である」(+7.6)となっています。

一方、『実感していない層』の割合は、「(3)必要な福祉サービスが利用できている」(+0.6ポイント)、「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」(+1.2ポイント)を除く9項目で第1回調査より低くなっています。

図表 2-2-1 地域や社会の状況についての実感（一覧）

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層		実感していない層		
	今回	(前回差) 〈第1回差〉	今回	(前回差) 〈第1回差〉	今回	(前回差) 〈第1回差〉	%	ポイント	%	ポイント
(1)災害の危機への備えが進んでいる	3.7		30.5		33.7		34.2	(1.7) 〈9.8〉	54.7	(-1.6) 〈-11.8〉
(2)必要な医療サービスが利用できる	11.3		40.7		22.7		52.0	(3.0) 〈6.6〉	37.6	(-2.5) 〈-7.5〉
(3)必要な福祉サービスが利用できる	4.9		26.6		26.8		31.5	(1.7) 〈-1.2〉	46.6	(-0.4) 〈0.6〉
(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている	15.5		49.9		17.4		65.4	(5.2) 〈6.5〉	28.6	(-4.4) 〈-7.8〉
(5)身近な自然や環境が守られている	7.6		41.7		26.8		49.3	(1.4) 〈->〉	41.7	(-0.2) 〈->〉
(6)性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できている	3.4		23.4		34.6		26.8	(1.0) 〈->〉	55.5	(0.0) 〈->〉
(7)子どものためになる教育が行われている	3.5		30.9		27.9		34.4	(0.9) 〈6.7〉	44.4	(-0.6) 〈-5.5〉
(8)結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っている	9.2		36.5		23.1		45.7	(2.4) 〈->〉	37.5	(-2.0) 〈->〉
(9)スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っている	5.4		36.4		28.6		41.8	(0.5) 〈->〉	42.7	(1.1) 〈->〉
(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい	33.0		40.5		10.5		73.5	(0.4) 〈0.4〉	17.9	(-0.7) 〈-1.8〉
(11)三重県産の農林水産物を買いたい	42.9		40.9		6.3		83.8	(-1.7) 〈-3.6〉	9.1	(1.1) 〈1.2〉
(12)県内の産業活動が活発である	4.5		30.9		32.1		35.4	(1.5) 〈7.6〉	44.2	(-0.9) 〈-9.9〉
(13)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる	5.4		31.0		29.0		36.4	(2.9) 〈19.1〉	46.1	(-0.9) 〈-18.1〉
(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている	2.0		19.0		33.8		21.0	(2.5) 〈7.3〉	63.4	(-2.1) 〈-9.3〉
(15)道路や公共交通機関等が整っている	5.1		35.3		28.4		40.4	(-0.6) 〈2.9〉	52.2	(0.8) 〈-3.7〉

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

➤ 地域や社会の状況についての実感（項目毎の集計結果）

問2－（1） 災害の危機への備えが進んでいると感じますか。

（関連の政策分野：防災・減災）

○ 災害の危機への備えが進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が34.2%で、『実感していない層』の割合（54.7%）より20.5ポイント低くなっています。

問2の15項目の中では、『実感していない層』の割合が3番目に高くなっています。

○ 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.7ポイント高く、『実感していない層』が1.6ポイント低くなっています。

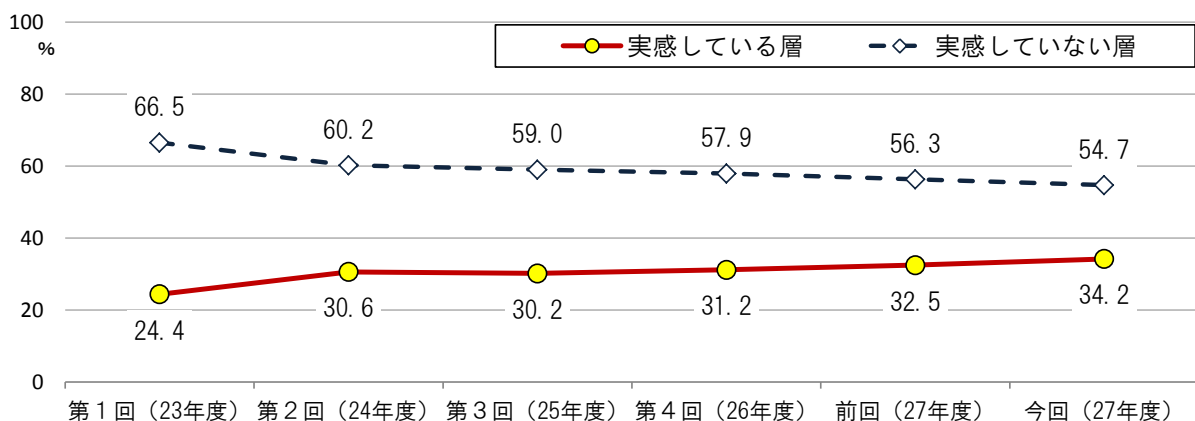
○ 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が9.8ポイント高く、『実感していない層』は11.8ポイント低くなっています。

第1回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ2番目に大きくなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

- ・ 東紀州の『実感していない層』は全体より11.3ポイント低く、また第1回調査より16.0ポイント低い。
- ・ 70歳以上の『実感していない層』は全体より6.1ポイント低く、また前回調査より2.6ポイント低い。
- ・ 農林水産業の『実感している層』は前回調査より1.3ポイント低い。
- ・ 未婚の『実感している層』は全体より4.4ポイント低い

図表 2-2-2 災害の危機への備えが進んでいる（第1回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-3 災害の危機への備えが進んでいる(属性別)

	実感している層					実感していない層					
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	33.7	30.5	33.7	21.0	11.1	34.2	(1.7)	<9.8>	54.7	(-1.6)	<-11.8>
地域											
北勢	27.8	30.1	34.2	22.0	10.9	32.9	(1.9)	<10.0>	56.2	(-2.5)	<-12.9>
伊賀	33.0	27.3	37.1	21.3	11.3	30.3	(-2.8)	<5.8>	58.4	(2.1)	<-6.1>
中南勢	33.3	30.1	34.1	20.7	11.3	33.9	(2.9)	<9.1>	54.8	(-2.2)	<-10.2>
伊勢志摩	55.8	33.3	30.4	20.2	10.3	39.1	(2.3)	<13.2>	50.6	(0.8)	<-13.6>
東紀州	88.4	36.0	29.1	14.3	12.3	44.4	(0.4)	<12.2>	43.4	(-3.5)	<-16.0>
性別											
男性	33.9	31.1	33.3	23.2	8.5	35.0	(2.9)	<12.1>	56.5	(-2.2)	<-13.9>
女性	33.5	30.4	34.0	19.1	13.0	33.9	(0.8)	<8.0>	53.1	(-1.8)	<-10.1>
年齢											
18歳から20歳代	22.4	29.6	33.0	22.0	13.0	32.0	(-)	<->	55.0	(-)	<->
30歳代	44.0	28.9	30.6	26.2	10.3	32.9	(0.1)	<10.6>	56.8	(-0.4)	<-13.6>
40歳代	33.1	32.9	34.4	21.1	8.4	36.0	(-1.1)	<10.1>	55.5	(2.5)	<-13.3>
50歳代	33.7	30.1	34.2	22.6	9.3	33.8	(2.5)	<11.0>	56.8	(-3.7)	<-13.8>
60歳代	33.2	31.3	36.6	20.0	8.8	34.5	(2.8)	<11.5>	56.6	(-1.9)	<-10.3>
70歳以上	44.9	29.7	30.8	17.8	16.8	34.6	(0.7)	<5.7>	48.6	(-2.6)	<-9.1>
主な職業											
農林水産業	33.9	30.7	32.7	24.8	7.9	34.6	(-1.3)	<4.5>	57.5	(-0.5)	<-1.7>
自営業・自由業	44.0	28.8	35.0	22.5	9.7	32.8	(1.0)	<7.1>	57.5	(-2.3)	<-10.0>
正規職員	33.3	31.7	34.6	23.0	7.3	35.0	(1.6)	<13.0>	57.6	(-1.8)	<-14.6>
パート・バイト・派遣	33.2	30.3	34.1	21.1	11.2	33.5	(2.3)	<9.8>	55.2	(-2.9)	<-13.8>
その他の職業	44.3	27.4	33.3	23.1	11.9	31.7	(-4.1)	<6.0>	56.4	(0.3)	<-8.7>
学生	22.7	32.9	28.8	19.2	16.4	35.6	(8.9)	<9.6>	48.0	(-15.3)	<-17.0>
専業主婦・主夫	22.3	34.0	33.7	16.6	13.4	36.3	(1.2)	<11.6>	50.3	(-2.3)	<-13.3>
無職	44.8	29.0	32.3	19.2	14.7	33.8	(2.5)	<7.8>	51.5	(-1.5)	<-10.0>
配偶関係											
未婚	33.4	26.4	30.3	25.6	14.4	29.8	(1.3)	<10.9>	55.9	(-3.2)	<-16.6>
有配偶	33.7	31.6	34.6	20.5	9.5	35.3	(1.5)	<10.1>	55.1	(-1.6)	<-11.6>
離別・死別	33.9	28.8	31.1	20.2	15.9	32.7	(1.3)	<6.6>	51.3	(-2.4)	<-9.4>
世帯類型											
単独世帯	44.2	27.2	29.7	24.1	14.8	31.4	(1.5)	<6.9>	53.8	(-2.1)	<-9.1>
一世代世帯	44.5	29.8	34.2	21.2	10.3	34.3	(2.2)	<9.8>	55.4	(-0.3)	<-11.7>
二世帯世帯	33.1	31.2	34.5	20.6	10.6	34.3	(1.1)	<10.2>	55.1	(-1.9)	<-12.4>
三世帯世帯	33.1	34.2	33.9	19.2	9.6	37.3	(3.4)	<11.4>	53.1	(-4.5)	<-12.3>
世帯収入											
～100万円未満	55.6	18.9	30.5	25.8	19.3	24.5	(-3.2)	<->	56.3	(5.9)	<->
～200万円未満	44.7	26.8	30.8	22.2	15.6	31.5	(1.1)	<->	53.0	(-2.3)	<->
～300万円未満	33.7	30.6	33.2	21.8	10.7	34.3	(3.2)	<->	55.0	(-2.4)	<->
～400万円未満	22.9	28.5	36.0	20.4	12.1	31.4	(-3.4)	<->	56.4	(0.7)	<->
～500万円未満	22.6	31.8	37.5	19.6	8.6	34.4	(2.3)	<->	57.1	(-1.1)	<->
～600万円未満	33.9	31.8	34.5	21.9	7.9	35.7	(3.1)	<->	56.4	(-4.5)	<->
～800万円未満	22.9	32.7	34.3	22.4	7.7	35.6	(-1.7)	<->	56.7	(2.0)	<->
～1,000万円未満	33.6	35.1	34.6	19.5	7.2	38.7	(2.7)	<->	54.1	(-1.6)	<->
1,000万円以上	33.5	39.5	31.1	20.0	6.0	43.0	(11.1)	<->	51.1	(-6.6)	<->

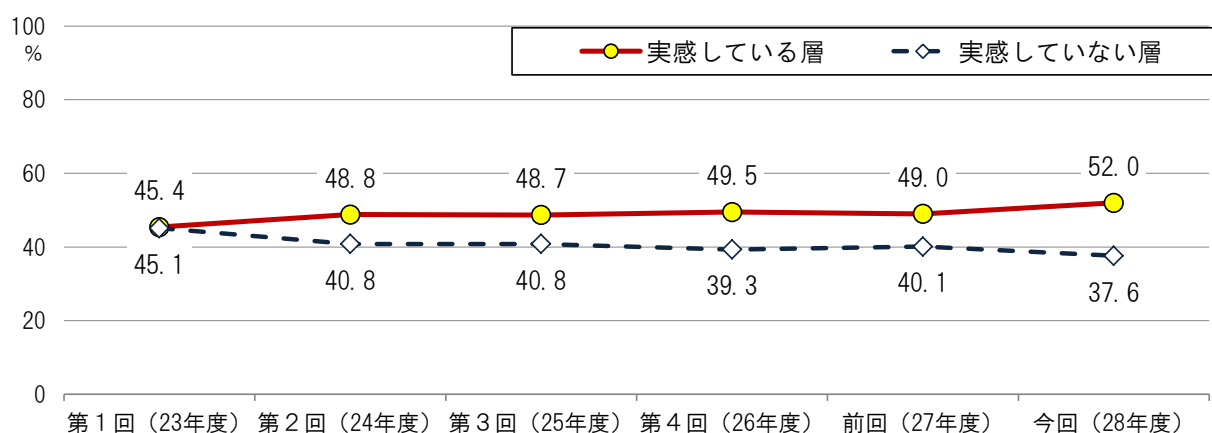
※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(2) 必要な医療サービスが利用できていると感じますか。

(関連の政策分野：命を守る)

- 必要な医療サービスが利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が52.0%で、『実感していない層』の割合(37.6%)より14.4ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.0ポイント高く、『実感していない層』は2.5ポイント低くなっています。
問2の15項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ2番目に大きくなっています。
- 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が6.6ポイント高く、『実感していない層』は7.5ポイント低くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・東紀州の『実感している層』は前回調査より11.4ポイント高く、第1回調査より8.3ポイント高い。
 - ・伊賀の『実感していない層』は前回調査より5.7ポイント低く、第1回調査より18.1ポイント低い。
 - ・70歳以上の『実感している層』は全体より8.0ポイント高い。
 - ・パート・バイト・派遣の『実感している層』は全体より6.5ポイント低い。

図表 2-2-4 必要な医療サービスが利用できている(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-5 必要な医療サービスが利用できている(属性別)

	実感している層					実感していない層					
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	11.3	40.7	22.7	14.9	10.4	52.0	(3.0)	<6.6>	37.6	(-2.5)	<-7.5>
地域											
北勢	10.8	40.6	23.5	14.4	10.5	51.4	(0.1)	<3.3>	37.9	(-0.8)	<-5.0>
伊賀	9.4	36.5	25.6	18.5	10.0	45.9	(5.1)	<16.5>	44.1	(-5.7)	<-18.1>
中南勢	12.8	44.2	20.4	12.4	10.3	57.0	(5.9)	<7.5>	32.8	(-4.2)	<-7.6>
伊勢志摩	10.0	40.1	22.1	17.0	10.7	50.1	(2.0)	<8.4>	39.1	(-0.4)	<-9.7>
東紀州	14.8	30.5	22.7	20.7	11.4	45.3	(11.4)	<8.3>	43.4	(-11.8)	<-7.9>
性別											
男性	12.2	42.1	22.3	14.0	9.4	54.3	(5.0)	<7.3>	36.3	(-5.1)	<-8.5>
女性	10.4	40.0	23.0	15.5	11.1	50.4	(1.5)	<6.4>	38.5	(-1.2)	<-7.4>
年齢											
18歳から20歳代	14.8	44.3	18.6	10.3	12.0	59.1	(-)	<->	28.9	(-)	<->
30歳代	10.1	42.1	22.3	14.5	11.0	52.2	(4.4)	<10.4>	36.8	(-5.3)	<-12.1>
40歳代	8.6	41.6	24.1	16.5	9.2	50.2	(5.4)	<10.3>	40.6	(-4.6)	<-11.4>
50歳代	8.2	37.2	25.3	19.8	9.5	45.4	(5.0)	<6.1>	45.1	(-4.9)	<-7.8>
60歳代	10.7	40.5	25.0	14.5	9.3	51.2	(1.5)	<7.6>	39.5	(0.2)	<-6.9>
70歳以上	16.8	43.2	17.3	10.4	12.3	60.0	(1.8)	<2.2>	27.7	(-3.2)	<-4.3>
主な職業											
農林水産業	14.4	42.5	20.9	15.0	7.2	56.9	(2.7)	<4.3>	35.9	(-1.5)	<-4.4>
自営業・自由業	11.4	39.4	23.2	16.2	9.7	50.8	(1.6)	<5.4>	39.4	(-2.2)	<-6.7>
正規職員	9.4	43.5	23.9	14.9	8.3	52.9	(6.7)	<8.5>	38.8	(-6.5)	<-9.2>
パート・アルバイト・派遣	7.5	38.0	25.3	17.2	12.0	45.5	(2.8)	<8.5>	42.5	(-3.5)	<-9.9>
その他の職業	9.4	35.9	27.4	16.7	10.7	45.3	(3.1)	<5.8>	44.1	(-3.8)	<-8.5>
学生	17.8	41.1	16.4	6.8	17.8	58.9	(0.6)	<3.0>	23.2	(-5.2)	<-14.5>
専業主婦・主夫	13.2	43.5	20.3	14.1	8.9	56.7	(2.1)	<10.6>	34.4	(0.7)	<-9.8>
無職	15.8	40.3	19.6	12.3	12.0	56.1	(1.1)	<3.8>	31.9	(-1.1)	<-5.4>
配偶関係											
未婚	10.7	38.3	23.5	13.6	13.9	49.0	(2.1)	<7.9>	37.1	(-4.2)	<-11.0>
有配偶	11.6	42.1	22.3	15.0	9.0	53.7	(4.3)	<7.6>	37.3	(-3.2)	<-8.1>
離別・死別	10.9	36.1	23.5	15.2	14.3	47.0	(-3.9)	<-0.6>	38.7	(-0.1)	<-3.5>
世帯類型											
単独世帯	8.7	34.7	23.9	18.3	14.5	43.4	(-2.8)	<-2.4>	42.2	(1.9)	<1.8>
一世代世帯	13.2	39.1	22.1	15.8	9.7	52.3	(3.4)	<6.4>	37.9	(-2.2)	<-7.0>
二世帯世帯	10.5	42.6	22.8	14.1	10.0	53.1	(4.3)	<10.2>	36.9	(-4.2)	<-11.4>
三世帯世帯	11.5	44.3	23.2	11.9	9.1	55.8	(3.1)	<2.4>	35.1	(-3.8)	<-3.6>
世帯収入											
~100万円未満	11.6	29.2	26.2	20.6	12.4	40.8	(-4.9)	<->	46.8	(7.9)	<->
~200万円未満	12.0	34.9	22.5	18.1	12.5	46.9	(2.8)	<->	40.6	(-2.0)	<->
~300万円未満	12.7	41.1	22.4	14.4	9.4	53.8	(5.6)	<->	36.8	(-3.5)	<->
~400万円未満	12.0	43.4	22.1	13.0	9.5	55.4	(4.9)	<->	35.1	(-4.8)	<->
~500万円未満	8.7	42.9	22.9	16.1	9.4	51.6	(-2.6)	<->	39.0	(2.8)	<->
~600万円未満	11.0	42.6	23.7	14.0	8.7	53.6	(3.0)	<->	37.7	(-3.9)	<->
~800万円未満	11.0	44.1	23.3	12.2	9.5	55.1	(7.7)	<->	35.5	(-8.4)	<->
~1,000万円未満	10.3	43.3	22.4	15.4	8.7	53.6	(1.9)	<->	37.8	(-1.9)	<->
1,000万円以上	9.7	45.9	24.1	14.3	6.0	55.6	(6.9)	<->	38.4	(-4.2)	<->

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(3) 必要な福祉サービスが利用できていると感じますか。

(関連の政策分野：共生の福祉社会)

○ 必要な福祉サービスが利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が31.5%で、『実感していない層』の割合(46.6%)より15.1ポイント低くなっています。また、「わからない・不明」の割合(22.0%)が高くなっています。

○ 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.7ポイント高く、『実感していない層』は0.4ポイント低くなっています。

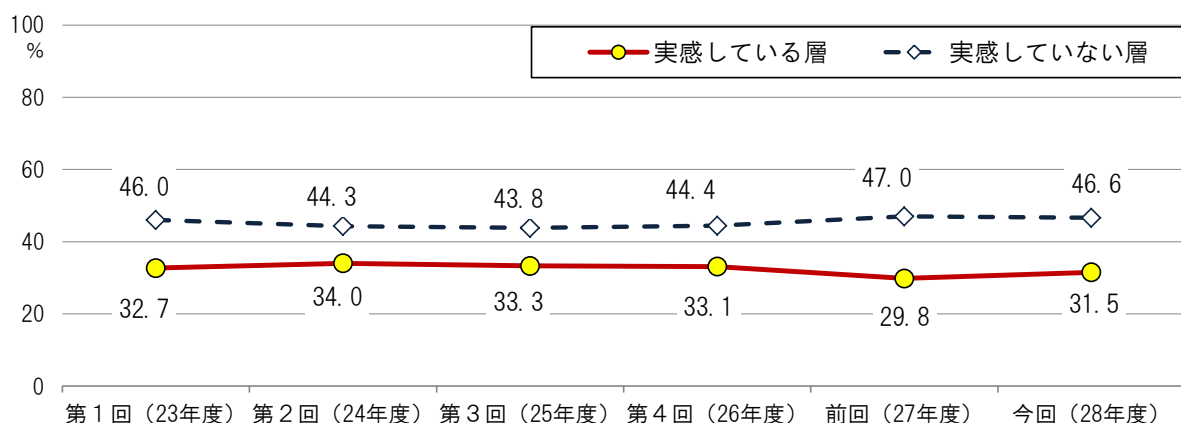
○ 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.2ポイント低く、『実感していない層』は0.6ポイント高くなっています。

第1回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の減少幅及び『実感していない層』の増加幅がそれぞれ2番目に大きくなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)

- ・北勢の『実感している層』は全体より3.3ポイント低く、第1回調査より2.5ポイント低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より6.0ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より18.8ポイント高い。
- ・正規職員の『実感していない層』は全体より4.9ポイント高い。

図表 2-2-6 必要な福祉サービスが利用できている(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-7 必要な福祉サービスが利用できている(属性別)

	実感している層					実感していない層					
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント					
全体	4.9	26.6	26.8	19.8	22.0	31.5	(1.7)	<-1.2>	46.6	(-0.4)	<0.6>
地域											
北勢	3.5	24.7	27.5	20.6	23.8	28.2	(0.6)	<-2.5>	48.1	(0.3)	<0.9>
伊賀	4.9	24.5	26.0	22.6	22.1	29.4	(0.2)	<-3.0>	48.6	(-3.4)	<2.1>
中南勢	6.4	27.9	26.7	18.4	20.6	34.3	(4.1)	<0.0>	45.1	(-2.3)	<0.0>
伊勢志摩	4.9	30.8	26.4	19.3	18.6	35.7	(2.0)	<2.5>	45.7	(4.3)	<0.4>
東紀州	10.8	30.5	20.2	16.7	21.7	41.3	(4.3)	<-1.5>	36.9	(-6.5)	<-1.5>
性別											
男性	4.7	26.5	28.5	19.9	20.4	31.2	(3.2)	<-1.2>	48.4	(-1.9)	<-0.4>
女性	5.0	26.6	25.4	19.6	23.4	31.6	(0.7)	<-1.3>	45.0	(0.1)	<1.3>
年齢											
18歳から20歳代	5.2	23.0	22.0	17.2	32.7	28.2	(-)	<->	39.2	(-)	<->
30歳代	2.2	21.1	26.9	20.0	29.8	23.3	(-2.4)	<-5.2>	46.9	(0.1)	<2.0>
40歳代	3.1	25.5	28.7	22.1	20.5	28.6	(6.4)	<4.6>	50.8	(-2.2)	<-1.8>
50歳代	4.5	24.8	28.4	22.2	20.2	29.3	(2.8)	<-0.9>	50.6	(-3.1)	<-1.4>
60歳代	5.4	28.8	27.6	19.4	19.0	34.2	(3.6)	<0.1>	47.0	(0.2)	<-0.2>
70歳以上	7.1	30.4	24.3	16.4	21.9	37.5	(-3.4)	<-5.9>	40.7	(2.0)	<2.2>
主な職業											
農林水産業	5.2	45.1	20.3	18.3	11.1	50.3	(7.5)	<0.6>	38.6	(-1.8)	<2.0>
自営業・自由業	6.1	26.1	29.3	15.8	22.7	32.2	(3.1)	<-3.4>	45.1	(-3.3)	<1.6>
正規職員	3.5	24.3	30.6	20.9	20.7	27.8	(3.5)	<-0.4>	51.5	(-2.4)	<0.8>
パート・バイト・派遣	3.2	23.8	26.1	23.4	23.4	27.0	(1.3)	<-0.7>	49.5	(-1.7)	<0.4>
その他の職業	2.1	23.9	28.2	26.1	19.7	26.0	(0.4)	<-2.3>	54.3	(1.1)	<3.7>
学生	4.1	27.4	17.8	11.0	39.7	31.5	(1.5)	<6.8>	28.8	(-7.9)	<-10.2>
専業主婦・主夫	6.6	29.6	23.4	16.9	23.5	36.2	(3.6)	<3.1>	40.3	(-1.4)	<-2.2>
無職	7.3	28.3	24.5	17.5	22.5	35.6	(-1.3)	<-2.8>	42.0	(2.6)	<-1.6>
配偶関係											
未婚	5.0	21.8	26.2	18.9	28.0	26.8	(1.6)	<0.5>	45.1	(-1.9)	<-2.6>
有配偶	4.6	27.6	27.4	19.8	20.6	32.2	(2.3)	<-1.6>	47.2	(-0.9)	<1.2>
離別・死別	5.7	25.8	24.5	19.6	24.5	31.5	(-2.4)	<-1.6>	44.1	(1.6)	<-1.9>
世帯類型											
単独世帯	5.4	23.4	24.6	21.5	25.0	28.8	(-1.0)	<-0.4>	46.1	(1.5)	<-0.7>
一世代世帯	4.4	25.6	27.4	20.1	22.5	30.0	(1.3)	<-2.1>	47.5	(0.1)	<0.2>
二世代世帯	4.5	26.9	27.2	19.4	22.0	31.4	(2.9)	<0.6>	46.6	(-2.1)	<-0.2>
三世代世帯	6.0	29.4	27.7	18.0	18.9	35.4	(0.4)	<-4.9>	45.7	(1.7)	<3.8>
世帯収入											
～100万円未満	6.9	21.5	22.3	24.5	24.9	28.4	(-4.5)	<->	46.8	(5.2)	<->
～200万円未満	5.9	24.5	27.0	24.0	18.6	30.4	(-1.1)	<->	51.0	(5.5)	<->
～300万円未満	5.8	28.0	26.4	18.7	21.1	33.8	(3.3)	<->	45.1	(-1.5)	<->
～400万円未満	4.9	31.7	24.8	18.9	19.6	36.6	(3.9)	<->	43.7	(-2.7)	<->
～500万円未満	4.2	28.1	28.0	18.8	21.0	32.3	(2.9)	<->	46.8	(-1.2)	<->
～600万円未満	3.4	25.4	29.8	19.7	21.7	28.8	(-0.2)	<->	49.5	(0.8)	<->
～800万円未満	2.9	25.5	29.3	19.6	22.7	28.4	(0.9)	<->	48.9	(0.5)	<->
～1,000万円未満	5.3	26.9	26.4	19.0	22.3	32.2	(4.4)	<->	45.4	(-6.3)	<->
1,000万円以上	4.6	30.3	27.3	18.9	19.0	34.9	(7.7)	<->	46.2	(-5.6)	<->

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(4) 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じますか。

(関連の政策分野：暮らしの安全を守る)

○ 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が65.4%で、『実感していない層』の割合(28.6%)より36.8ポイント高くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』が3番目に高く、『実感していない層』が3番目に低くなっています。

○ 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が5.2ポイント高く、『実感していない層』は4.4ポイント低くなっています。

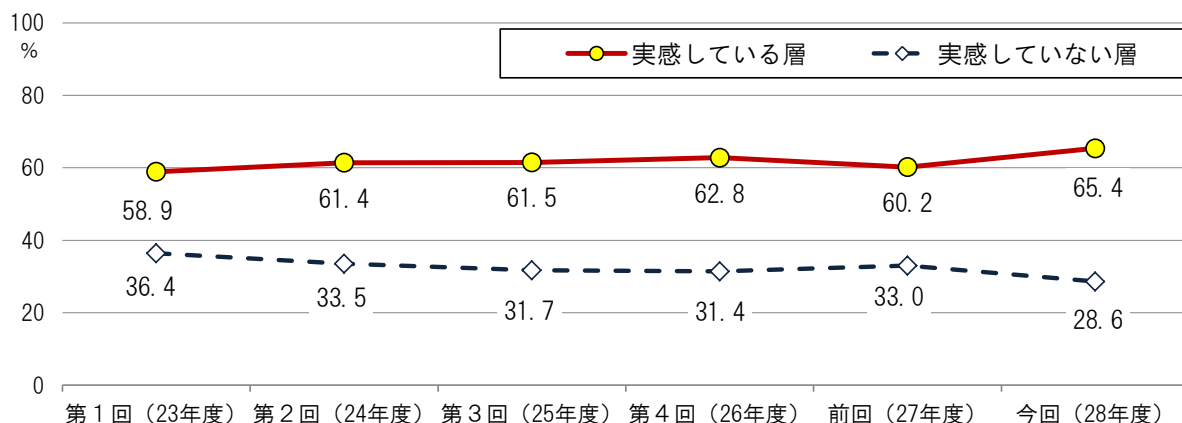
問2の15項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ最も大きくなっています。

○ 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が6.5ポイント高く、『実感していない層』は7.8ポイント低くなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)

- ・北勢の『実感している層』は前回調査より6.4ポイント、第1回調査より7.8ポイント高い。
- ・東紀州の『実感している層』は全体より12.4ポイント高く、前回調査より5.7ポイント高い。
- ・30歳代の『実感していない層』は全体より6.7ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より4.5ポイント高く、前回調査より6.6ポイント高い。

図表 2-2-8 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-9 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている(属性別)

	感じる層					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	口感じない	口わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	15.5	49.9	17.4	11.2	6.1	65.4	(5.2)	<6.5>	28.6	(-4.4)	<-7.8>
地域											
北勢	13.4	50.6	18.1	12.6	5.3	64.0	(6.4)	<7.8>	30.7	(-6.3)	<-9.6>
伊賀	16.0	48.2	20.0	8.7	7.2	64.2	(-3.5)	<2.3>	28.7	(2.2)	<-4.0>
中南勢	14.7	50.2	17.5	10.9	6.7	64.9	(6.4)	<7.3>	28.4	(-5.6)	<-7.6>
伊勢志摩	19.3	49.6	15.3	9.4	6.3	68.9	(5.7)	<5.6>	24.7	(-1.8)	<-6.9>
東紀州	30.5	47.3	7.9	8.4	5.9	77.8	(5.7)	<4.1>	16.3	(-5.5)	<-4.7>
性別											
男性	17.0	50.6	16.2	10.5	5.6	67.6	(7.3)	<7.1>	26.7	(-7.0)	<-9.0>
女性	14.0	49.6	18.7	11.7	6.0	63.6	(3.2)	<5.9>	30.4	(-2.4)	<-6.5>
年齢											
20歳代	18.2	44.3	17.2	14.8	5.5	62.5	(-)	<->	32.0	(-)	<->
30歳代	13.9	45.4	21.2	14.1	5.3	59.3	(2.4)	<-1.3>	35.3	(-4.0)	<-1.6>
40歳代	12.2	52.0	20.5	11.2	4.0	64.2	(5.2)	<6.3>	31.7	(-4.3)	<-8.2>
50歳代	12.8	53.6	17.9	10.3	5.5	66.4	(4.4)	<8.6>	28.2	(-4.6)	<-11.0>
60歳代	16.5	51.4	17.1	10.1	4.8	67.9	(4.5)	<9.3>	27.2	(-2.6)	<-9.0>
70歳以上	19.4	47.2	13.6	10.3	9.5	66.6	(6.4)	<7.1>	23.9	(-6.3)	<-7.7>
主な職業											
農林水産業	26.8	43.1	14.4	9.2	6.6	69.9	(6.6)	<4.2>	23.6	(-6.2)	<-2.2>
自営業・自由業	19.8	48.0	17.1	9.0	6.0	67.8	(3.0)	<8.3>	26.1	(-3.6)	<-10.8>
正規職員	14.0	53.3	18.1	10.7	8.9	67.3	(7.1)	<5.5>	28.8	(-6.9)	<-7.2>
パート・バイト・派遣	10.6	50.6	20.6	12.3	5.8	61.2	(3.9)	<5.9>	32.9	(-3.8)	<-8.2>
その他の職業	12.8	43.6	20.9	15.0	7.6	56.4	(1.5)	<-4.8>	35.9	(-2.7)	<3.7>
学生	23.3	41.1	16.4	13.7	5.4	64.4	(-2.2)	<3.3>	30.1	(0.1)	<-6.3>
専業主婦・主夫	14.8	50.6	18.5	10.9	5.1	65.4	(0.9)	<8.3>	29.4	(0.2)	<-8.4>
無職	18.6	48.5	13.5	11.1	8.3	67.1	(7.6)	<8.5>	24.6	(-6.2)	<-9.6>
配偶関係											
未婚	17.0	44.3	15.9	15.4	7.5	61.3	(2.4)	<4.9>	31.3	(-4.1)	<-8.1>
有配偶	15.3	51.3	17.8	10.2	5.4	66.6	(5.3)	<6.0>	28.0	(-4.6)	<-7.5>
離別・死別	15.4	48.9	15.9	12.0	7.9	64.3	(4.7)	<10.3>	27.9	(-4.5)	<-10.2>
世帯類型											
単独世帯	15.0	47.3	14.3	13.6	9.8	62.3	(5.5)	<5.3>	27.9	(-6.1)	<-7.1>
一世代世帯	16.4	50.0	16.3	11.8	5.5	66.4	(6.4)	<6.7>	28.1	(-5.1)	<-7.6>
二世帯世帯	15.0	50.7	18.7	10.6	5.1	65.7	(5.4)	<7.2>	29.3	(-4.5)	<-8.1>
三世帯世帯	15.2	50.0	19.3	9.3	6.2	65.2	(0.5)	<4.0>	28.6	(-1.4)	<-6.3>
世帯収入											
~100万円未満	15.5	38.6	18.5	17.6	9.9	54.1	(2.9)	<->	36.1	(1.9)	<->
~200万円未満	18.4	42.4	16.6	14.3	8.3	60.8	(6.4)	<->	30.9	(-4.0)	<->
~300万円未満	16.1	49.5	17.0	11.9	5.4	65.6	(5.8)	<->	28.9	(-3.0)	<->
~400万円未満	13.7	53.8	16.0	10.4	6.2	67.5	(3.4)	<->	26.4	(-4.9)	<->
~500万円未満	15.5	51.0	17.5	10.9	5.1	66.5	(4.0)	<->	28.4	(-4.5)	<->
~600万円未満	14.2	52.1	18.1	10.5	5.2	66.3	(2.9)	<->	28.6	(-5.3)	<->
~800万円未満	14.2	55.9	18.6	8.2	7.1	70.1	(9.6)	<->	26.8	(-7.4)	<->
~1,000万円未満	15.1	54.1	18.3	7.2	5.3	69.2	(4.7)	<->	25.5	(-5.4)	<->
1,000万円以上	15.4	54.6	18.9	7.8	4.3	70.0	(5.6)	<->	26.7	(-4.1)	<->

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(5) 身近な自然や環境が守られていると感じますか。

(関連の政策分野：環境を守る)

- 身近な自然や環境を守られているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が49.3%で、『実感していない層』の割合(41.7%)より7.6ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.4ポイント高く、『実感していない層』は0.2ポイント低くなっています。
- 前回調査において設問を変更したため、第1回調査との比較は行っていません。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・北勢の『実感していない層』は全体より2.1ポイント高い。
 - ・中南勢の『実感している層』は前回調査より3.2ポイント高い。
 - ・東紀州の『実感している層』は全体より7.4ポイント高い。
 - ・40歳代の『実感している層』は前回調査より3.7ポイント高い。
 - ・70歳以上の『実感していない層』は全体より5.7ポイント低い。
 - ・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より2.6ポイント高い。
 - ・世帯収入が600万円から800万円未満の層の『実感している層』は全体より3.8ポイント高く、前回調査より6.5ポイント高い。

図表 2-2-10 身近な自然や環境が守られている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	7.6	41.7	26.8	14.9	9.1	49.3	(1.4)	<->	41.7	(-0.2)	<->
地域											
北勢	6.2	41.2	28.1	15.7	8.7	47.4	(1.7)	<->	43.8	(-1.7)	<->
伊賀	8.3	44.8	26.4	11.1	9.4	53.1	(-2.0)	<->	37.5	(1.8)	<->
中南勢	7.5	42.7	25.6	14.5	9.6	50.2	(3.2)	<->	40.1	(-1.7)	<->
伊勢志摩	9.6	39.2	26.1	16.2	8.9	48.8	(-1.6)	<->	42.3	(5.6)	<->
東紀州	15.3	41.4	20.7	12.8	9.8	56.7	(2.4)	<->	33.5	(-3.0)	<->
性別											
男性	7.2	40.5	27.7	16.3	8.4	47.7	(1.9)	<->	44.0	(-1.3)	<->
女性	7.9	42.9	26.0	13.7	9.4	50.8	(1.0)	<->	39.7	(-0.3)	<->
年齢											
18歳から20歳代	8.6	38.8	24.1	18.2	10.3	47.4	(-)	<->	42.3	(-)	<->
30歳代	7.5	39.6	25.5	15.4	12.1	47.1	(-0.1)	<->	40.9	(-2.6)	<->
40歳代	5.8	44.3	27.9	14.9	7.5	49.6	(3.7)	<->	42.8	(-0.9)	<->
50歳代	6.4	40.5	29.0	15.0	9.1	46.9	(-0.4)	<->	44.0	(-0.7)	<->
60歳代	7.4	42.4	28.2	15.7	6.3	49.8	(1.0)	<->	43.9	(1.3)	<->
70歳以上	10.7	42.1	23.1	12.9	11.3	52.8	(1.5)	<->	36.0	(-1.5)	<->
主な職業											
農林水産業	13.7	35.9	24.8	18.3	7.2	49.6	(4.5)	<->	43.1	(-5.0)	<->
自営業・自由業	9.9	37.7	26.9	16.8	8.7	47.6	(-1.7)	<->	43.7	(0.3)	<->
正規職員	5.4	43.9	28.7	14.7	7.4	49.3	(2.7)	<->	43.4	(-2.1)	<->
パート・バイト・派遣	5.6	43.6	26.7	15.2	8.8	49.2	(2.1)	<->	41.9	(-1.7)	<->
その他の職業	6.0	35.0	30.8	18.8	9.4	41.0	(-3.3)	<->	49.6	(2.5)	<->
学生	6.8	38.4	20.5	19.2	15.0	45.2	(-1.5)	<->	39.7	(-3.7)	<->
専業主婦・主夫	9.3	42.6	25.7	13.7	8.8	51.9	(-0.2)	<->	39.4	(2.4)	<->
無職	9.7	41.3	24.7	13.3	11.1	51.0	(2.6)	<->	38.0	(-1.1)	<->
配偶関係											
未婚	7.4	35.0	27.2	18.4	12.0	42.4	(-0.2)	<->	45.6	(-1.1)	<->
有配偶	7.5	43.1	26.5	14.5	8.3	50.6	(1.2)	<->	41.0	(-0.6)	<->
離別・死別	8.3	41.0	27.0	13.7	10.0	49.3	(3.5)	<->	40.7	(-1.4)	<->
世帯類型											
単独世帯	7.7	37.2	28.1	15.5	11.5	44.9	(-0.2)	<->	43.6	(-0.5)	<->
一世代世帯	8.1	42.4	25.3	16.2	8.1	50.5	(0.5)	<->	41.5	(0.8)	<->
二世帯世帯	6.9	42.0	27.9	14.6	8.7	48.9	(1.5)	<->	42.5	(-0.3)	<->
三世帯世帯	7.9	44.0	25.9	12.7	9.6	51.9	(3.2)	<->	38.6	(-3.8)	<->
世帯収入											
~100万円未満	7.7	36.9	24.0	19.3	12.1	44.6	(2.9)	<->	43.3	(2.8)	<->
~200万円未満	8.6	38.8	23.8	18.8	10.0	47.4	(1.6)	<->	42.6	(-0.2)	<->
~300万円未満	7.9	38.2	29.9	15.7	8.4	46.1	(-1.7)	<->	45.6	(3.2)	<->
~400万円未満	7.2	43.1	27.0	13.0	9.7	50.3	(-0.6)	<->	40.0	(-0.9)	<->
~500万円未満	6.6	43.4	27.6	15.1	7.3	50.0	(-0.3)	<->	42.7	(1.3)	<->
~600万円未満	6.9	42.8	29.2	13.8	7.3	49.7	(1.2)	<->	43.0	(-2.4)	<->
~800万円未満	7.3	45.8	24.3	15.1	7.5	53.1	(6.5)	<->	39.4	(-4.4)	<->
~1,000万円未満	6.3	46.6	28.1	11.1	7.9	52.9	(0.3)	<->	39.2	(2.9)	<->
1,000万円以上	6.2	45.9	28.1	11.4	8.4	52.1	(-0.8)	<->	39.5	(-0.8)	<->

※前回調査において設問を変更したため、第1回調査との比較は行っていません。

問2－(6) 性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じますか。 (関連の政策分野：人権の尊重と多様性を認め合う社会)

- 性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が26.8%で、『実感していない層』の割合(55.5%)より28.7ポイント低くなっています。
問2の15項目の中では、『実感している層』が2番目に低く、『実感していない層』が2番目に高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.0ポイント高く、『実感していない層』は変わっていません。
- 前回調査において設問を変更したため、第1回調査との比較は行っていません。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・ 東紀州の『実感していない層』は全体より6.3ポイント低い。
 - ・ 40歳代の『実感していない層』は全体より6.0ポイント高い。
 - ・ 70歳以上の『実感している層』は全体より5.8ポイント高い。
 - ・ 農林水産業の『実感している層』は前回調査より6.7ポイント低い。
 - ・ 学生の『実感していない層』は全体より7.5ポイント低い。
 - ・ 世帯収入が600万円未満の層の『実感している層』は前回調査より低く、600万円以上の層の『実感している層』は前回調査より高い。

図表 2-2-11 性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できている

		実感している層					実感していない層					
		今回	(前回差)	<第1回差>	今回	(前回差)	<第1回差>					
		%	ポイント	ポイント	%	ポイント	ポイント					
		■感じる	□どちらかといえば感じる	□どちらかといえば感じない	□感じない	□わからない・不明						
全体		3.4	23.4	34.6	20.9	17.7	26.8	(1.0)	<->	55.5	(0.0)	<->
地域												
	北勢	2.6	23.6	35.0	22.1	16.7	26.2	(1.1)	<->	57.1	(0.1)	<->
	伊賀	4.3	21.7	36.7	20.0	17.3	26.0	(-1.8)	<->	56.7	(1.2)	<->
	中南勢	3.5	24.2	34.8	19.7	17.8	27.7	(2.2)	<->	54.5	(-0.3)	<->
	伊勢志摩	3.7	22.4	32.6	20.5	20.8	26.1	(0.6)	<->	53.1	(-0.1)	<->
	東紀州	6.9	23.2	30.0	19.2	20.7	30.1	(-1.7)	<->	49.2	(-2.1)	<->
性別												
	男性	3.4	24.6	34.2	22.2	15.5	28.0	(1.6)	<->	56.4	(-0.7)	<->
	女性	3.5	22.4	35.1	20.1	19.1	25.7	(0.3)	<->	55.2	(0.2)	<->
年齢												
	18歳から20歳代	3.8	30.2	25.1	24.4	16.5	34.0	(-)	<->	49.5	(-)	<->
	30歳代	4.0	21.2	35.0	24.2	15.6	25.2	(1.6)	<->	59.2	(-0.3)	<->
	40歳代	2.3	23.8	38.6	22.9	12.4	26.1	(1.0)	<->	61.5	(4.1)	<->
	50歳代	1.5	22.6	35.7	24.4	15.8	24.1	(4.4)	<->	60.1	(-8.8)	<->
	60歳代	3.2	20.3	38.6	21.7	16.2	23.5	(-2.4)	<->	60.3	(5.6)	<->
	70歳以上	5.5	27.1	27.9	13.6	25.8	32.6	(0.2)	<->	41.5	(-2.3)	<->
主な職業												
	農林水産業	5.2	21.6	36.6	17.0	19.6	26.8	(-6.7)	<->	53.6	(1.0)	<->
	自営業・自由業	4.4	23.4	34.9	22.5	14.9	27.8	(4.4)	<->	57.4	(-5.0)	<->
	正規職員	2.3	25.2	36.3	22.8	13.4	27.5	(2.2)	<->	59.1	(-1.2)	<->
	パート・バイト・派遣	1.7	22.7	37.7	21.5	16.3	24.4	(1.0)	<->	59.2	(-1.5)	<->
	その他の職業	2.6	20.5	27.8	31.6	17.5	23.1	(-0.5)	<->	59.4	(-2.0)	<->
	学生	5.5	26.0	24.7	23.3	20.5	31.5	(-5.2)	<->	48.0	(-0.4)	<->
	専業主婦・主夫	3.4	20.9	34.4	19.4	21.9	24.3	(-2.0)	<->	53.8	(2.6)	<->
	無職	5.3	23.6	31.5	17.1	22.6	28.9	(0.6)	<->	48.6	(1.7)	<->
配偶関係												
	未婚	4.0	22.3	30.6	27.8	15.2	26.3	(1.8)	<->	58.4	(0.2)	<->
	有配偶	3.2	24.0	36.0	19.9	16.9	27.2	(1.3)	<->	55.9	(-0.8)	<->
	離別・死別	3.5	21.7	30.4	20.4	23.9	25.2	(-1.9)	<->	50.8	(-0.2)	<->
世帯類型												
	単独世帯	3.8	19.7	28.6	24.6	23.8	23.0	(-2.8)	<->	53.2	(2.8)	<->
	一世代世帯	3.8	24.2	34.5	19.1	18.4	28.0	(2.2)	<->	53.6	(0.2)	<->
	二世帯世帯	3.0	23.3	36.5	22.0	15.2	26.3	(0.8)	<->	58.5	(0.4)	<->
	三世帯世帯	2.9	26.2	34.4	19.7	16.8	29.1	(1.5)	<->	54.1	(-3.0)	<->
世帯収入												
	～100万円未満	6.9	22.3	28.3	22.7	19.8	29.2	(-0.1)	<->	51.0	(6.2)	<->
	～200万円未満	4.5	19.7	31.5	22.5	21.8	24.2	(-1.5)	<->	54.0	(3.0)	<->
	～300万円未満	2.9	23.6	35.6	18.8	19.2	26.5	(-0.2)	<->	54.4	(1.3)	<->
	～400万円未満	3.4	23.5	35.9	20.1	17.2	26.9	(-0.1)	<->	56.0	(-1.6)	<->
	～500万円未満	2.1	21.2	38.5	22.6	15.6	23.3	(-1.5)	<->	61.1	(3.5)	<->
	～600万円未満	3.0	22.9	35.3	23.3	15.6	25.9	(-1.4)	<->	58.6	(0.5)	<->
	～800万円未満	2.9	27.4	34.0	22.4	13.3	30.3	(5.3)	<->	56.4	(-2.5)	<->
	～1,000万円未満	2.6	26.9	37.5	19.0	13.9	29.5	(3.7)	<->	56.5	(-4.0)	<->
	1,000万円以上	3.0	25.9	39.7	18.9	12.4	28.9	(6.3)	<->	58.6	(-3.3)	<->

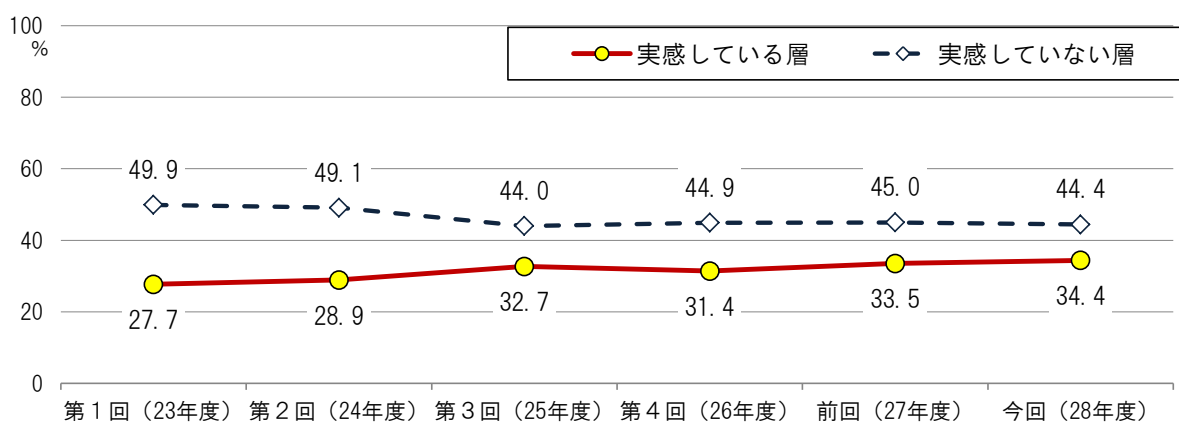
※前回調査において設問を変更したため、第1回調査との比較は行っていません。

問2－(7) 子どものためになる教育が行われていると感じますか。

(関連の政策分野：学びの充実)

- 子どものためになる教育が行われているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が34.4%で、『実感していない層』の割合(44.4%)より10.0ポイント低くなっています。また、「わからない・不明」の割合(21.2%)が高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.9ポイント高く、『実感していない層』は0.6ポイント低くなっています。
- 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が6.7ポイント高く、『実感していない層』は5.5ポイント低くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・ 東紀州の『実感していない層』は全体より2.4ポイント高い。
 - ・ 50歳代の『実感している層』は全体より2.7ポイント低いが、第1回調査より10.2ポイント高い。
 - ・ 学生の『実感している層』は全体より9.5ポイント高く、第1回調査より11.4ポイント高い。
 - ・ 専業主婦・主夫の『実感していない層』は全体より6.3ポイント低い。
 - ・ 未婚の『実感している層』は全体より8.5ポイント低い。
 - ・ 世帯年収1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より7.5ポイント高い。

図表 2-2-12 子どものためになる教育が行われている(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-13 子どものためになる教育が行われている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	3.5	30.9	27.9	16.5	21.2	34.4	(0.9)	<6.7>	44.4	(-0.6)	<-5.5>
地域											
北勢	3.2	31.2	28.3	16.8	20.5	34.4	(1.1)	<6.6>	45.1	(0.5)	<-5.6>
伊賀	3.4	27.1	31.1	14.7	23.7	30.5	(-5.2)	<4.1>	45.8	(-0.5)	<-2.2>
中南勢	3.4	32.4	26.7	15.6	21.9	35.8	(2.1)	<6.7>	42.3	(-3.7)	<-6.8>
伊勢志摩	3.7	32.4	27.0	17.3	19.6	36.1	(2.2)	<9.9>	44.3	(2.2)	<-6.7>
東紀州	6.9	23.6	27.6	19.2	22.6	30.5	(0.5)	<5.9>	46.8	(-2.8)	<-0.1>
性別											
男性	3.8	30.3	29.7	17.4	18.8	34.1	(2.1)	<7.4>	47.1	(-1.6)	<-7.4>
女性	3.2	31.6	26.5	15.7	23.1	34.8	(-0.1)	<6.3>	42.2	(-0.5)	<-3.9>
年齢											
18歳から20歳代	2.7	34.7	25.4	16.2	20.9	37.4	(-)	<->	41.6	(-)	<->
30歳代	3.5	29.5	27.7	17.2	22.2	33.0	(0.4)	<2.5>	44.9	(-2.5)	<-5.4>
40歳代	3.2	35.7	27.9	19.0	14.1	38.9	(2.3)	<8.3>	46.9	(0.4)	<-8.2>
50歳代	2.7	29.0	31.7	18.5	18.2	31.7	(-0.5)	<10.2>	50.2	(-1.6)	<-9.7>
60歳代	2.9	30.3	28.2	16.4	22.4	33.2	(1.2)	<9.1>	44.6	(-1.4)	<-6.4>
70歳以上	5.3	29.9	25.0	12.8	27.0	35.2	(-2.4)	<1.4>	37.8	(1.8)	<-0.2>
主な職業											
農林水産業	3.9	34.6	27.5	17.6	16.3	38.5	(2.6)	<-1.4>	45.1	(-3.0)	<4.7>
自営業・自由業	4.6	28.0	28.8	19.8	18.8	32.6	(2.6)	<3.6>	48.6	(-1.5)	<-4.1>
正規職員	3.3	31.1	30.9	16.9	17.7	34.4	(0.2)	<10.2>	47.8	(-0.4)	<-10.4>
パート・バイト・派遣	1.6	33.0	27.9	17.0	20.5	34.6	(3.4)	<7.9>	44.9	(-5.7)	<-8.4>
その他の職業		26.1	28.2	22.2	20.1	29.5	(0.7)	<6.4>	50.4	(-1.7)	<-0.2>
学生	5.5	38.4	28.8	13.7	13.7	43.9	(7.3)	<11.4>	42.5	(-5.8)	<-8.2>
専業主婦・主夫	3.4	35.1	24.4	13.7	23.3	38.5	(-1.0)	<7.4>	38.1	(1.3)	<-4.9>
無職	4.8	28.0	25.6	14.5	27.1	32.8	(-0.9)	<4.7>	40.1	(1.2)	<-3.4>
配偶関係											
未婚	2.4	23.5	26.5	18.6	29.0	25.9	(0.6)	<5.6>	45.1	(-1.1)	<-7.6>
有配偶	3.4	33.1	28.8	16.2	18.6	36.5	(1.2)	<7.1>	45.0	(-1.0)	<-5.5>
離別・死別	5.0	26.2	24.2	16.3	28.2	31.2	(-0.8)	<5.8>	40.5	(0.0)	<-5.0>
世帯類型											
単独世帯	4.9	22.2	22.5	18.7	31.6	27.1	(-0.6)	<5.2>	41.2	(-2.2)	<-5.6>
一世代世帯	3.9	28.9	27.3	16.6	23.2	32.8	(0.7)	<8.5>	43.9	(0.7)	<-6.6>
二世帯世帯	2.7	33.3	28.8	16.2	19.0	36.0	(0.8)	<7.3>	45.0	(-1.1)	<-6.6>
三世帯世帯	4.9	35.0	30.8	14.7	15.0	39.5	(2.4)	<3.7>	45.5	(-2.7)	<-1.2>
世帯収入											
~100万円未満	3.9	28.3	21.0	20.6	26.2	32.2	(3.7)	<->	41.6	(-2.8)	<->
~200万円未満	4.3	24.5	25.6	18.6	27.0	28.8	(-2.3)	<->	44.2	(2.6)	<->
~300万円未満	3.8	30.0	27.3	16.0	23.0	33.8	(1.4)	<->	43.3	(-1.5)	<->
~400万円未満	3.8	29.4	30.2	16.1	20.4	33.2	(0.5)	<->	46.3	(0.2)	<->
~500万円未満	2.3	31.9	28.5	17.5	19.8	34.2	(-0.8)	<->	46.0	(1.3)	<->
~600万円未満	2.0	34.1	27.2	17.4	19.4	36.1	(2.4)	<->	44.6	(-3.4)	<->
~800万円未満	3.4	35.3	28.4	15.5	17.4	38.7	(1.4)	<->	43.9	(-4.6)	<->
~1,000万円未満	2.9	32.0	33.4	15.1	16.6	34.9	(-1.4)	<->	48.5	(1.6)	<->
1,000万円以上	4.1	37.8	31.9	14.6	11.7	41.9	(4.6)	<->	46.5	(2.3)	<->

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(8) 結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っていると感じますか。
(関連の政策分野：希望がかなう少子化対策の推進)

- 結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が45.7%で、『実感していない層』の割合(37.5%)より8.2ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.4ポイント高く、『実感していない層』は2.0ポイント低くなっています。
- 前回調査において設問を変更したため、第1回調査との比較は行っていません。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・男性の『実感している層』は全体より1.5ポイント低く、女性の『実感している層』は全体より1.9ポイント高い。
 - ・男性の『実感している層』は前回調査より4.8ポイント高い。
 - ・18歳から20歳代の『実感している層』は全体より7.6ポイント低い。
 - ・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より8.3ポイント高い。
 - ・学生の『実感している層』は全体より12.8ポイント低く、前回調査より10.5ポイント低い。
 - ・未婚の『実感している層』は全体より24.4ポイント低い。
 - ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より7.0ポイント低い。
 - ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より11.1ポイント高い。

図表 2-2-14 結婚・妊娠・子育てなどの希望がない、子どもが豊かに育っている(属性別)

		実感している層					実感していない層					
		感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	口感じない	口わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
	全体	9.2	36.5	23.1	14.4	16.9	45.7	(2.4)	<->	37.5	(-2.0)	<->
地域												
	北勢	10.0	37.1	22.9	13.9	16.1	47.1	(2.0)	<->	36.8	(-1.9)	<->
	伊賀	8.7	35.6	25.4	13.9	16.4	44.3	(3.9)	<->	39.3	(-4.6)	<->
	中南勢	8.4	37.5	22.3	13.7	18.0	45.9	(3.1)	<->	36.0	(-2.9)	<->
	伊勢志摩	8.8	36.4	22.9	16.4	15.5	45.2	(4.1)	<->	39.3	(0.0)	<->
	東紀州	8.9	29.1	23.2	19.2	19.7	38.0	(-2.4)	<->	42.4	(0.2)	<->
性別												
	男性	7.4	36.8	24.6	14.9	16.3	44.2	(4.8)	<->	39.5	(-3.6)	<->
	女性	10.9	36.7	21.9	13.8	16.7	47.6	(1.2)	<->	35.7	(-1.3)	<->
年齢												
	18歳から20歳代	8.2	29.9	19.6	13.7	28.5	38.1	(-)	<->	33.3	(-)	<->
	30歳代	13.0	39.4	17.8	13.0	16.9	52.4	(2.6)	<->	30.8	(-4.8)	<->
	40歳代	11.4	41.0	20.7	15.2	11.7	52.4	(3.4)	<->	35.9	(-0.3)	<->
	50歳代	6.6	36.3	25.0	16.3	15.9	42.9	(2.3)	<->	41.3	(-6.0)	<->
	60歳代	8.4	36.0	26.7	14.6	14.3	44.4	(3.4)	<->	41.3	(-1.9)	<->
	70歳以上	9.4	35.3	22.5	12.1	20.7	44.7	(-0.5)	<->	34.6	(0.8)	<->
主な職業												
	農林水産業	11.1	35.9	27.5	14.4	11.1	47.0	(1.2)	<->	41.9	(-0.9)	<->
	自営業・自由業	10.7	34.1	23.4	15.8	16.0	44.8	(1.2)	<->	39.2	(-2.2)	<->
	正規職員	8.0	38.9	23.0	13.9	16.1	46.9	(5.3)	<->	36.9	(-6.1)	<->
	パート・バイト・派遣	10.0	37.4	24.5	13.8	14.3	47.4	(3.9)	<->	38.3	(-4.2)	<->
	その他の職業	6.0	32.9	23.9	21.4	15.8	38.9	(-1.3)	<->	45.3	(1.4)	<->
	学生	4.1	28.8	19.2	11.0	37.0	32.9	(-10.5)	<->	30.2	(-4.8)	<->
	専業主婦・主夫	13.4	40.6	19.1	13.5	13.4	54.0	(-0.5)	<->	32.6	(1.3)	<->
	無職	7.9	34.0	23.2	14.0	20.9	41.9	(3.8)	<->	37.2	(-0.3)	<->
配偶関係												
	未婚	2.9	18.4	23.1	19.1	36.4	21.3	(2.0)	<->	42.2	(-7.6)	<->
	有配偶	10.7	39.8	23.2	12.9	13.4	50.5	(2.0)	<->	36.1	(-2.1)	<->
	離別・死別	7.2	34.9	21.7	18.1	18.0	42.1	(1.7)	<->	39.8	(1.2)	<->
世帯類型												
	単独世帯	6.3	25.5	23.2	18.0	26.9	31.8	(5.2)	<->	41.2	(-4.4)	<->
	一世代世帯	9.5	35.9	23.1	13.7	17.9	45.4	(0.4)	<->	36.8	(-0.8)	<->
	二世帯世帯	8.8	37.7	24.3	14.1	15.2	46.5	(1.2)	<->	38.4	(-1.7)	<->
	三世帯世帯	11.8	43.7	19.8	12.8	11.9	55.5	(8.9)	<->	32.6	(-6.3)	<->
世帯収入												
	~100万円未満	8.2	30.5	25.3	15.9	20.2	38.7	(1.0)	<->	41.2	(3.5)	<->
	~200万円未満	9.5	30.9	21.6	18.4	19.5	40.4	(2.3)	<->	40.0	(0.8)	<->
	~300万円未満	7.3	33.8	26.2	14.3	18.5	41.1	(3.5)	<->	40.5	(-3.5)	<->
	~400万円未満	8.9	33.4	22.7	17.3	17.7	42.3	(-1.6)	<->	40.0	(-0.2)	<->
	~500万円未満	6.9	42.5	24.3	13.2	13.0	49.4	(4.0)	<->	37.5	(-0.9)	<->
	~600万円未満	8.5	39.6	25.6	12.2	14.0	48.1	(0.3)	<->	37.8	(-3.3)	<->
	~800万円未満	11.9	41.6	19.0	14.5	13.0	53.5	(4.8)	<->	33.5	(-5.6)	<->
	~1,000万円未満	9.1	39.4	22.8	14.2	14.5	48.5	(0.8)	<->	37.0	(-5.0)	<->
	1,000万円以上	12.7	44.1	24.9	8.4	10.0	56.8	(7.5)	<->	33.3	(-3.6)	<->

※前回調査において設問を変更したため、第1回調査との比較は行っていません。

問2－(9) スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じますか。

(関連の政策分野：スポーツの推進)

- スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が41.8%で、『実感していない層』の割合(42.7%)より0.9ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.5ポイント高く、『実感していない層』は1.1ポイント高くなっています。
問2の15項目の中では、『実感していない層』の増加幅が最も大きくなっています。
- 前回調査において設問を変更したため、第1回調査との比較は行っていません。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・伊賀の『実感している層』は全体より4.3ポイント低い。
 - ・中南勢の『実感している層』は前回調査より3.6ポイント高い。
 - ・18歳から20歳代の『実感している層』は全体より5.0ポイント高い。
 - ・30歳代の『実感している層』は全体より4.1ポイント低い。
 - ・70歳以上の『実感していない層』は全体より6.7ポイント低い。
 - ・学生の『実感している層』は全体より13.0ポイント高い。
 - ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より5.3ポイント低い。
 - ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より10.9ポイント高い。

図表 2-2-15 スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っている(属性別)

						実感している層			実感していない層		
■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明						今回	(前回差)	<第1回差>	今回	(前回差)	<第1回差>
						%	ポイント	ポイント	%	ポイント	ポイント
全体	5.4	36.4	28.6	14.1	15.5	41.8	(0.5)	<->	42.7	(1.1)	<->
地域											
北勢	5.9	37.7	27.6	14.0	14.8	43.6	(0.0)	<->	41.6	(2.4)	<->
伊賀	5.1	32.4	31.5	14.3	16.8	37.5	(-2.5)	<->	45.8	(-0.8)	<->
中南勢	4.6	37.7	29.2	12.9	15.6	42.3	(3.6)	<->	42.1	(-1.1)	<->
伊勢志摩	4.0	35.3	29.2	15.6	15.9	39.3	(-1.6)	<->	44.8	(4.4)	<->
東紀州	8.4	31.5	27.1	17.2	15.7	39.9	(2.5)	<->	44.3	(-5.2)	<->
性別											
男性	4.8	37.9	29.9	15.0	12.4	42.7	(1.0)	<->	44.9	(0.1)	<->
女性	5.9	35.2	27.5	13.4	18.0	41.1	(-0.1)	<->	40.9	(1.4)	<->
年齢											
18歳から20歳代	7.6	39.2	22.3	15.5	15.4	46.8	(-)	<->	37.8	(-)	<->
30歳代	4.4	33.3	30.0	15.0	17.2	37.7	(0.5)	<->	45.0	(-1.5)	<->
40歳代	5.0	37.1	30.1	16.6	11.2	42.1	(0.7)	<->	46.7	(2.3)	<->
50歳代	4.9	35.4	30.2	14.4	15.1	40.3	(2.6)	<->	44.6	(-3.7)	<->
60歳代	4.2	37.3	30.0	14.6	13.9	41.5	(-0.1)	<->	44.6	(2.7)	<->
70歳以上	7.4	36.8	25.2	10.8	19.8	44.2	(-2.5)	<->	36.0	(3.4)	<->
主な職業											
農林水産業	5.9	33.3	30.7	16.3	13.7	39.2	(-1.3)	<->	47.0	(2.8)	<->
自営業・自由業	7.2	38.7	25.5	15.2	13.3	45.9	(2.3)	<->	40.7	(-1.4)	<->
正規職員	3.7	37.5	31.9	14.3	12.6	41.2	(0.8)	<->	46.2	(-0.2)	<->
パート・バイト・派遣	4.6	34.6	31.9	13.3	15.6	39.2	(0.5)	<->	45.2	(-0.1)	<->
その他の職業	4.7	30.8	31.6	16.7	16.2	35.5	(0.6)	<->	48.3	(0.0)	<->
学生	9.6	45.2	16.4	15.1	13.7	54.8	(4.8)	<->	31.5	(-5.2)	<->
専業主婦・主夫	8.0	36.0	26.2	14.3	15.5	44.0	(-2.4)	<->	40.5	(5.2)	<->
無職	5.6	37.4	24.1	13.3	19.5	43.0	(1.3)	<->	37.4	(0.6)	<->
配偶関係											
未婚	4.5	33.2	26.5	17.2	18.6	37.7	(1.5)	<->	43.7	(-1.8)	<->
有配偶	5.5	38.3	28.8	13.8	13.5	43.8	(1.2)	<->	42.6	(0.5)	<->
離別・死別	5.3	30.4	28.9	12.8	22.5	35.7	(-3.4)	<->	41.7	(3.0)	<->
世帯類型											
単独世帯	4.4	30.7	28.1	15.9	20.9	35.1	(-3.4)	<->	44.0	(3.6)	<->
一世代世帯	6.3	35.4	27.6	15.0	15.6	41.7	(-1.2)	<->	42.6	(3.1)	<->
二世帯世帯	4.8	37.5	29.3	13.8	14.7	42.3	(1.6)	<->	43.1	(-0.5)	<->
三世帯世帯	5.7	40.1	29.7	11.8	12.7	45.8	(2.9)	<->	41.5	(-1.1)	<->
世帯収入											
~100万円未満	4.3	32.2	26.6	18.0	18.9	36.5	(-0.8)	<->	44.6	(6.5)	<->
~200万円未満	5.9	31.8	25.9	17.7	18.6	37.7	(2.0)	<->	43.6	(4.2)	<->
~300万円未満	4.9	36.8	27.5	14.3	16.6	41.7	(1.1)	<->	41.8	(0.4)	<->
~400万円未満	5.8	35.7	30.4	14.0	14.1	41.5	(-1.4)	<->	44.4	(2.2)	<->
~500万円未満	5.0	35.9	29.7	14.2	15.1	40.9	(-0.4)	<->	43.9	(0.7)	<->
~600万円未満	4.9	34.3	34.7	13.0	13.1	39.2	(-1.2)	<->	47.7	(1.1)	<->
~800万円未満	5.6	39.5	27.7	13.5	13.8	45.1	(1.0)	<->	41.2	(-3.5)	<->
~1,000万円未満	3.6	43.0	29.3	14.4	9.6	46.6	(-3.7)	<->	43.7	(6.3)	<->
1,000万円以上	5.1	47.6	30.5	6.8	10.0	52.7	(7.9)	<->	37.3	(-5.0)	<->

※前回調査において設問を変更したため、第1回調査との比較は行っていません。

問2－(10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じますか。
 (関連の政策分野：地域の活力の向上)

○ 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が73.5%で、『実感していない層』の割合(17.9%)より55.6ポイント高くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』が2番目に高く、『実感していない層』が2番目に低くなっています。

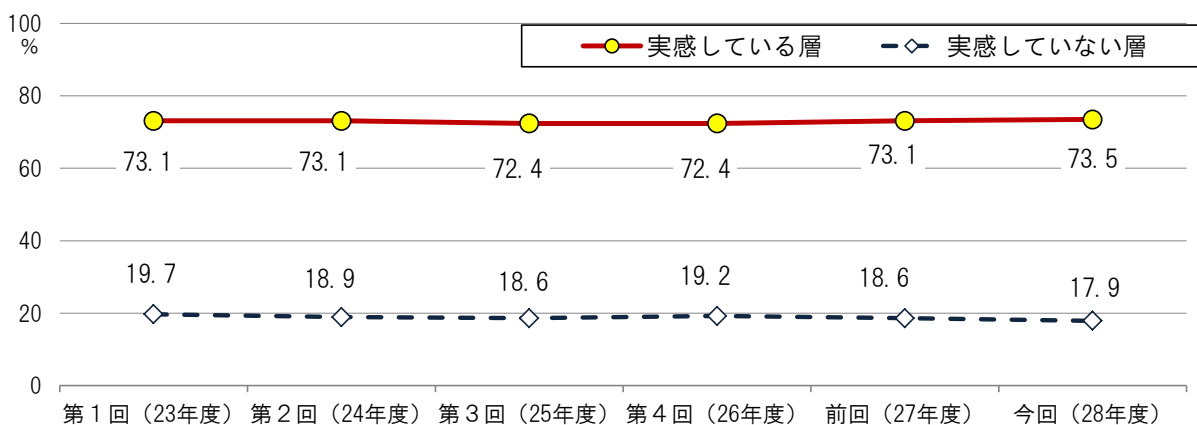
○ 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.4ポイント高く、『実感していない層』は0.7ポイント低くなっています。

○ 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.4ポイント高く、『実感していない層』は1.8ポイント低くなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感していない層』は全体より5.5ポイント高い。
- ・伊勢志摩の『実感していない層』は前回調査より5.9ポイント高い。
- ・60歳代の『実感している層』は前回調査より1.9ポイント高い
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より5.4ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は全体より7.7ポイント低く、前回調査より12.5ポイント低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より3.6ポイント高い。

図表 2-2-16 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-17 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい(属性別)

		実感している層					実感していない層					
		感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	口感じない	口わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
	全体	33.0	40.5	10.5	7.4	8.6	73.5	(0.4)	<0.4>	17.9	(-0.7)	<-1.8>
地域												
	北勢	32.6	42.7	9.4	6.6	8.7	75.3	(0.6)	<1.2>	16.0	(-2.1)	<-3.9>
	伊賀	26.7	41.8	13.4	10.0	8.1	68.5	(0.7)	<1.0>	23.4	(-2.1)	<-1.3>
	中南勢	33.8	40.2	10.1	7.2	8.7	74.0	(1.2)	<0.8>	17.3	(-0.7)	<-1.7>
	伊勢志摩	36.9	33.3	12.8	9.0	8.0	70.2	(-3.8)	<-3.4>	21.8	(5.9)	<4.1>
	東紀州	34.5	39.4	11.3	6.9	7.8	73.9	(5.7)	<0.7>	18.2	(-2.7)	<-0.6>
性別												
	男性	33.3	41.2	10.9	6.6	8.1	74.5	(-0.5)	<-1.5>	17.5	(-1.0)	<-0.4>
	女性	32.6	40.4	10.2	8.3	8.5	73.0	(0.9)	<2.2>	18.5	(-0.5)	<-3.0>
年齢												
	18歳から20歳代	33.7	38.1	11.7	10.3	6.2	71.8	(-)	<->	22.0	(-)	<->
	30歳代	32.1	40.3	10.1	6.8	10.8	72.4	(-1.7)	<2.6>	16.9	(-0.6)	<-5.8>
	40歳代	29.9	39.9	13.0	8.7	8.5	69.8	(0.8)	<1.0>	21.7	(0.2)	<-2.4>
	50歳代	28.0	40.2	12.7	9.5	9.6	68.2	(-1.6)	<-2.1>	22.2	(-0.8)	<0.4>
	60歳代	33.3	43.8	9.4	7.0	6.5	77.1	(1.9)	<1.6>	16.4	(-1.2)	<-3.0>
	70歳以上	40.1	38.8	7.7	4.9	8.5	78.9	(0.3)	<0.4>	12.6	(-1.7)	<-2.0>
主な職業												
	農林水産業	39.9	35.3	12.4	3.3	9.1	75.2	(-1.9)	<-10.3>	15.7	(-1.1)	<5.3>
	自営業・自由業	37.3	39.4	8.2	7.4	7.6	76.7	(0.1)	<-0.1>	15.6	(-1.7)	<-1.9>
	正規職員	30.2	43.8	11.4	7.0	7.6	74.0	(-0.1)	<0.4>	18.4	(-0.7)	<-1.2>
	パート・バイト・派遣	27.0	43.1	11.4	9.3	9.1	70.1	(1.4)	<0.9>	20.7	(-1.5)	<-3.7>
	その他の職業	35.9	33.3	12.4	8.1	10.2	69.2	(-6.1)	<-6.5>	20.5	(1.4)	<4.1>
	学生	32.9	32.9	12.3	9.6	12.3	65.8	(-12.5)	<-3.1>	21.9	(10.2)	<1.1>
	専業主婦・主夫	33.9	41.0	9.6	8.2	7.3	74.9	(0.6)	<5.4>	17.8	(0.5)	<-4.3>
	無職	37.8	37.7	9.4	6.3	8.8	75.5	(2.0)	<0.6>	15.7	(-2.0)	<-2.5>
配偶関係												
	未婚	31.4	38.8	10.5	8.7	10.5	70.2	(-1.1)	<-2.4>	19.2	(-1.6)	<0.1>
	有配偶	33.1	41.0	10.7	7.3	8.0	74.1	(-0.3)	<0.3>	18.0	(-0.3)	<-2.0>
	離別・死別	34.4	39.3	9.6	7.1	9.6	73.7	(2.7)	<0.9>	16.7	(-2.1)	<-2.7>
世帯類型												
	単独世帯	30.2	38.2	10.8	10.3	10.5	68.4	(3.1)	<0.0>	21.1	(-4.9)	<-2.6>
	一世代世帯	32.7	41.2	10.7	7.2	8.2	73.9	(-0.3)	<0.5>	17.9	(-0.1)	<-2.8>
	二世帯世帯	31.4	42.2	10.5	7.8	8.1	73.6	(-0.5)	<1.3>	18.3	(0.1)	<-2.1>
	三世帯世帯	40.4	36.8	9.3	6.2	7.3	77.2	(1.3)	<-2.8>	15.5	(-1.6)	<1.9>
世帯収入												
	~100万円未満	29.6	35.6	12.9	11.2	10.8	65.2	(2.9)	<->	24.1	(0.5)	<->
	~200万円未満	36.3	37.2	10.4	8.6	7.5	73.5	(3.1)	<->	19.0	(-1.1)	<->
	~300万円未満	34.8	38.5	11.5	7.7	7.5	73.3	(-0.9)	<->	19.2	(-0.8)	<->
	~400万円未満	33.1	41.3	8.9	7.8	8.9	74.4	(1.2)	<->	16.7	(-2.7)	<->
	~500万円未満	30.2	41.7	12.2	8.3	7.6	71.9	(-5.0)	<->	20.5	(5.4)	<->
	~600万円未満	32.1	42.8	10.5	6.9	7.7	74.9	(1.9)	<->	17.4	(-2.9)	<->
	~800万円未満	32.1	43.9	9.4	6.9	7.7	76.0	(2.9)	<->	16.3	(-3.7)	<->
	~1,000万円未満	31.5	44.0	12.0	4.3	8.2	75.5	(-0.5)	<->	16.3	(-0.6)	<->
	1,000万円以上	34.1	43.0	11.1	4.3	7.6	77.1	(-2.1)	<->	15.4	(1.7)	<->

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(11) 三重県産の農林水産物を買いたいと感じますか。

(関連の政策分野：農林水産業)

○ 三重県産の農林水産物を買いたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が83.8%で、『実感していない層』の割合(9.1%)より74.7ポイント高くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』が最も高く、『実感していない層』が最も低くなっています。

○ 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.7ポイント低く、『実感していない層』は1.1ポイント高くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』の減少幅と『実感していない層』の増加幅が最も大きくなっています。

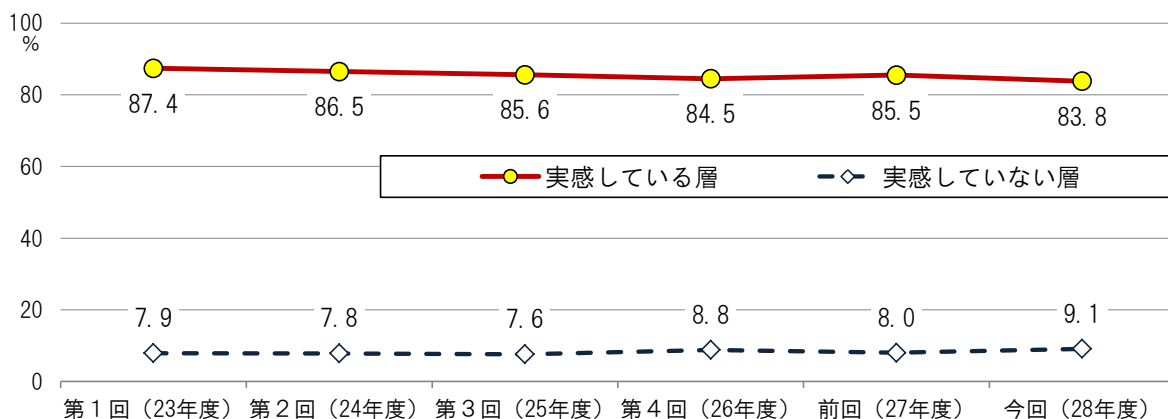
○ 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.6ポイント低く、『実感していない層』が1.2ポイント高くなっています。

第1回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の減少幅と『実感していない層』の増加幅が最も大きくなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)

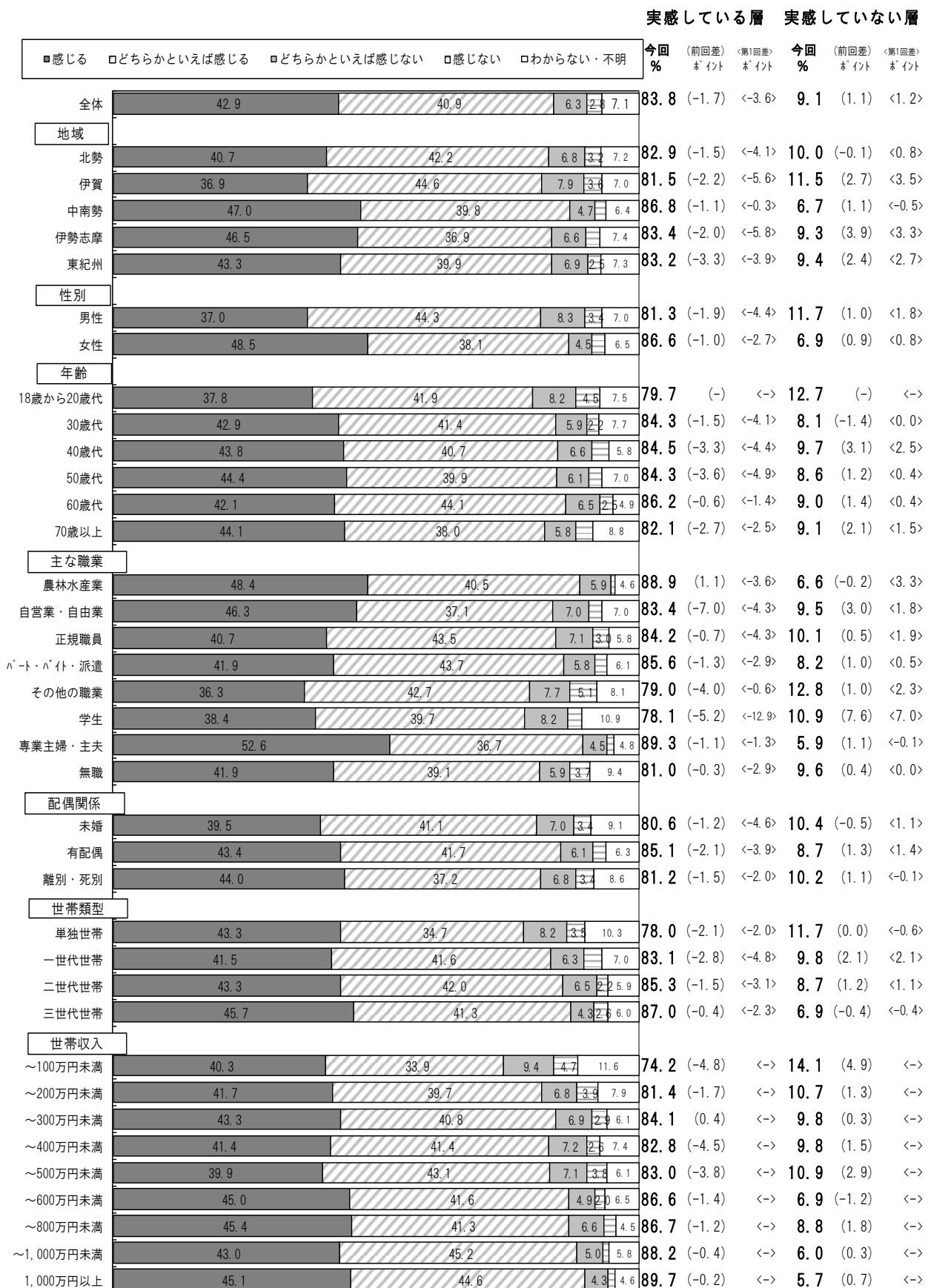
- ・ 東紀州の『実感している層』は前回調査より3.3ポイント低い。
- ・ 18歳から20歳代の『実感している層』は全体より4.1ポイント低い。
- ・ 自営業・自由業の『実感している層』は前回調査より7.0ポイント低い。
- ・ 学生の『実感していない層』は全体より1.8ポイント高く、前回調査より7.6ポイント高い。

図表 2-2-18 三重県産の農林水産物を買いたい(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-19 三重県産の農林水産物を買いたい(属性別)



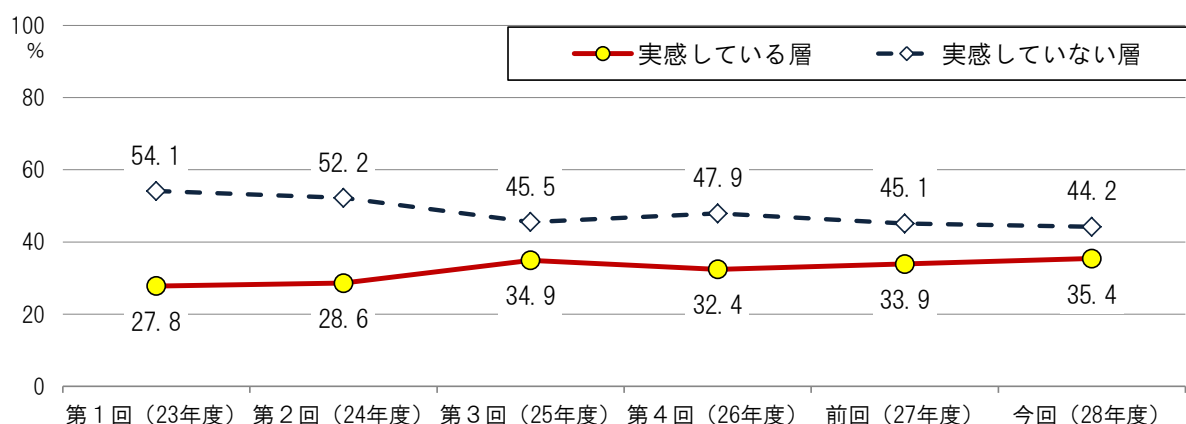
※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(12) 県内の産業活動が活発であると感じますか。

(関連の政策分野：強じんて多様な産業)

- 県内の産業活動が活発であるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 35.4%で、『実感していない層』の割合 (44.2%) より 8.8 ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 1.5 ポイント高く、『実感していない層』は 0.9 ポイント低くなっています。
- 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 7.6 ポイント高く、『実感していない層』は 9.9 ポイント低くなっています。
第1回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ3番目に大きくなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴 (全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等) は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・北勢の『実感している層』は全体より 5.8 ポイント、第1回調査より 10.0 ポイント高い。
 - ・東紀州の『実感している層』は全体より 16.7 ポイント低く、前回調査より 7.4 ポイント低い。
 - ・女性は男性より『実感していない層』が 12.5 ポイント低く、「わからない・不明」が 7.9 ポイント高い。
 - ・30歳代の『実感していない層』は第1回調査より 17.4 ポイント低い。
 - ・60歳代の『実感していない層』は全体より 5.7 ポイント高い。
 - ・正規職員の『実感している層』は第1回調査より 12.9 ポイント高い。
 - ・学生の『実感していない層』は全体より 9.9 ポイント低い。

図表 2-2-20 県内の産業活動が活発である(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-21 県内の産業活動が活発である(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	□感じる	□どちらかといえば感じる	□どちらかといえば感じない	□感じない	□わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	4.5	30.9	32.1	12.1	20.5	35.4	(1.5)	<7.6>	44.2	(-0.9)	<-9.9>
地域											
北勢	5.4	35.8	29.2	9.5	20.0	41.2	(3.0)	<10.0>	38.7	(-2.7)	<-13.0>
伊賀	2.4	27.9	33.7	13.0	23.0	30.3	(-1.8)	<8.4>	46.7	(1.8)	<-9.0>
中南勢	4.4	28.6	33.8	11.7	21.4	33.0	(1.7)	<5.6>	45.5	(-3.2)	<-8.1>
伊勢志摩	3.5	25.1	36.9	18.0	16.5	28.6	(-0.3)	<6.4>	54.9	(6.6)	<-5.4>
東紀州	3.4	15.3	34.5	22.2	24.6	18.7	(-7.4)	<-5.8>	56.7	(4.5)	<-3.2>
性別											
男性	3.9	29.2	35.6	15.2	16.1	33.1	(-0.7)	<7.8>	50.8	(-0.4)	<-11.4>
女性	5.1	32.6	29.2	9.1	24.0	37.7	(3.3)	<7.5>	38.3	(-2.5)	<-8.9>
年齢											
18歳から20歳代	6.5	33.0	20.6	11.7	28.1	39.5	(-)	<->	32.3	(-)	<->
30歳代	6.0	32.4	27.8	11.4	22.3	38.4	(0.7)	<9.5>	39.2	(-3.9)	<-17.4>
40歳代	5.1	34.9	30.4	13.7	16.0	40.0	(2.3)	<13.0>	44.1	(-0.1)	<-14.8>
50歳代	4.5	31.0	34.8	12.5	17.2	35.5	(2.2)	<9.4>	47.3	(-3.7)	<-12.4>
60歳代	3.7	27.3	37.2	12.7	19.1	31.0	(0.0)	<5.4>	49.9	(1.7)	<-5.8>
70歳以上	3.8	30.7	30.6	9.8	25.1	34.5	(0.8)	<3.6>	40.4	(-0.5)	<-5.1>
主な職業											
農林水産業	4.6	32.7	34.6	15.7	12.4	37.3	(-0.9)	<3.5>	50.3	(4.5)	<-0.9>
自営業・自由業	4.0	28.6	32.8	16.0	18.6	32.6	(-3.4)	<7.6>	48.8	(-0.3)	<-11.9>
正規職員	4.8	34.4	33.3	12.8	14.7	39.2	(3.5)	<12.9>	46.1	(-3.6)	<-15.7>
パート・バイト・派遣	5.8	29.6	32.3	10.0	22.5	35.1	(-0.4)	<5.0>	42.3	(-2.0)	<-10.9>
その他の職業	3.8	29.9	30.8	16.2	19.2	33.7	(-1.3)	<8.7>	47.0	(0.3)	<-7.6>
学生	4.1	34.2	23.3	11.0	27.4	38.3	(-1.7)	<3.2>	34.3	(-0.7)	<-19.0>
専業主婦・主夫	3.7	32.1	28.7	8.9	26.6	35.8	(0.8)	<4.1>	37.6	(-1.6)	<-7.8>
無職	3.8	28.1	33.0	11.2	23.9	31.9	(2.8)	<6.0>	44.2	(0.1)	<-5.5>
配偶関係											
未婚	5.7	29.4	26.2	12.1	26.5	35.1	(2.9)	<8.1>	38.3	(-8.4)	<-17.9>
有配偶	4.3	32.2	33.2	12.3	18.1	36.5	(1.5)	<8.1>	45.5	(-0.3)	<-9.4>
離別・死別	4.6	26.4	31.4	10.9	26.8	31.0	(-1.1)	<5.3>	42.3	(-0.5)	<-6.7>
世帯類型											
単独世帯	2.8	22.0	32.6	13.8	28.8	24.8	(-5.5)	<-1.1>	46.4	(0.6)	<-5.6>
一世代世帯	4.5	29.9	34.0	11.8	19.9	34.4	(2.3)	<7.4>	45.8	(0.9)	<-10.0>
二世代世帯	4.7	32.5	31.9	11.9	19.0	37.2	(1.1)	<9.8>	43.8	(-1.5)	<-11.0>
三世代世帯	5.6	34.2	28.6	11.6	20.0	39.8	(3.3)	<6.6>	40.2	(-5.1)	<-11.3>
世帯収入											
~100万円未満	3.0	22.7	33.0	12.9	28.3	25.7	(-6.4)	<->	45.9	(7.0)	<->
~200万円未満	4.7	27.2	30.2	14.5	23.4	31.9	(0.2)	<->	44.7	(3.4)	<->
~300万円未満	3.7	27.0	34.6	11.5	23.1	30.7	(0.4)	<->	46.1	(-3.2)	<->
~400万円未満	4.3	29.1	33.1	14.9	18.6	33.4	(-2.5)	<->	48.0	(2.1)	<->
~500万円未満	5.6	32.1	32.3	10.6	19.5	37.7	(1.5)	<->	42.9	(-1.6)	<->
~600万円未満	3.6	35.9	33.7	10.8	16.0	39.5	(0.6)	<->	44.5	(-0.8)	<->
~800万円未満	4.1	35.3	31.5	13.5	15.7	39.4	(6.0)	<->	45.0	(-5.3)	<->
~1,000万円未満	4.8	32.9	33.4	12.0	16.9	37.7	(-1.1)	<->	45.4	(2.2)	<->
1,000万円以上	7.0	38.4	33.2	9.2	12.1	45.4	(6.4)	<->	42.4	(-2.2)	<->

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(13) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じますか。

(関連の政策分野：世界に開かれた三重)

○ 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が36.4%で、『実感していない層』の割合(46.1%)より9.7ポイント低くなっています。

○ 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.9ポイント高く、『実感していない層』は0.9ポイント低くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』の増加幅は3番目に大きくなっています。

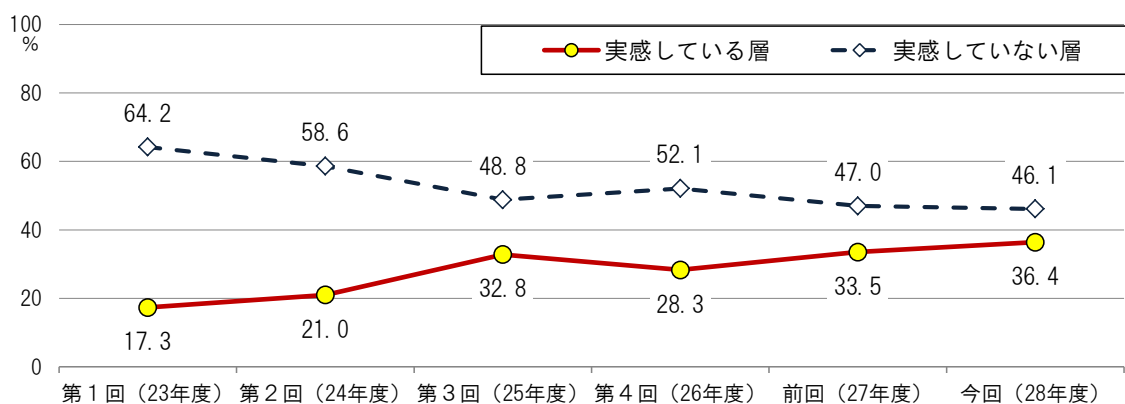
○ 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が19.1ポイント高く、『実感していない層』は18.1ポイント低くなっています。

第1回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ最も大きくなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感していない層』は全体より5.3ポイント高く、前回調査より8.9ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感している層』は、前回調査より13.6ポイント高い。
- ・自営業・自由業の『実感している層』は前回調査より5.3ポイント高く、第1回調査より22.9ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は、前回調査より19.9ポイント低い。

図表 2-2-22 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-23 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる(属性別)

	実感している層					実感していない層					
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント					
全体	5.4	31.0	29.0	17.1	17.5	36.4	(2.9)	<19.1>	46.1	(-0.9)	<-18.1>
地域											
北勢	5.5	31.9	28.9	17.3	16.5	37.4	(3.9)	<20.2>	46.2	(-2.1)	<-19.2>
伊賀	5.1	32.0	26.2	18.6	18.1	37.1	(5.9)	<22.8>	44.8	(-4.6)	<-21.7>
中南勢	5.3	32.2	29.8	14.7	18.0	37.5	(2.8)	<18.5>	44.5	(-1.9)	<-17.3>
伊勢志摩	5.8	26.4	31.3	20.1	16.5	32.2	(-1.9)	<14.9>	51.4	(8.9)	<-13.4>
東紀州	4.4	27.6	27.1	17.2	23.6	32.0	(2.0)	<18.2>	44.3	(-1.8)	<-16.9>
性別											
男性	4.6	28.5	31.9	20.0	14.9	33.1	(0.8)	<17.2>	51.9	(-0.2)	<-16.9>
女性	6.2	33.3	26.7	14.7	19.1	39.5	(4.8)	<20.9>	41.4	(-2.2)	<-19.3>
年齢											
18歳から20歳代	11.3	31.6	24.1	20.6	12.3	42.9	(-)	<->	44.7	(-)	<->
30歳代	6.4	33.9	28.0	17.0	14.7	40.3	(2.9)	<22.5>	45.0	(-3.9)	<-25.1>
40歳代	5.1	35.1	29.8	18.1	11.9	40.2	(2.0)	<23.1>	47.9	(2.7)	<-21.4>
50歳代	5.4	30.6	30.3	18.0	15.7	36.0	(3.3)	<22.0>	48.3	(-4.5)	<-24.2>
60歳代	4.1	29.4	31.3	17.1	18.2	33.5	(3.8)	<17.3>	48.4	(-1.5)	<-15.0>
70歳以上	5.3	28.8	26.7	14.9	24.3	34.1	(13.6)	<13.0>	41.6	(-13.2)	<-9.1>
主な職業											
農林水産業	7.2	28.1	25.5	18.3	20.9	35.3	(7.0)	<13.2>	43.8	(-13.4)	<-17.2>
自営業・自由業	5.0	33.5	28.4	18.1	15.0	38.5	(5.3)	<22.9>	46.5	(-4.0)	<-21.1>
正規職員	6.0	32.9	31.5	18.3	11.4	38.9	(2.9)	<23.4>	49.8	(-1.4)	<-22.9>
パート・バイト・派遣	4.1	32.7	27.7	17.3	18.2	36.8	(-0.4)	<19.5>	45.0	(0.1)	<-20.9>
その他の職業	4.7	24.4	33.3	20.9	16.6	29.1	(-3.8)	<15.3>	54.2	(3.8)	<-14.9>
学生	9.6	28.8	26.0	21.9	13.7	38.4	(-19.9)	<18.9>	47.9	(16.2)	<-19.7>
専業主婦・主夫	5.9	33.9	26.9	14.1	19.3	39.8	(6.6)	<22.0>	41.0	(-3.2)	<-21.0>
無職	5.6	25.9	29.2	15.9	23.4	31.5	(3.2)	<12.0>	45.1	(0.7)	<-8.8>
配偶関係											
未婚	7.4	27.3	29.8	20.2	15.2	34.7	(-4.3)	<17.2>	50.0	(5.3)	<-19.1>
有配偶	5.1	32.4	29.5	16.7	16.3	37.5	(4.3)	<20.4>	46.2	(-2.4)	<-19.2>
離別・死別	5.6	27.7	25.7	16.6	24.5	33.3	(4.1)	<14.5>	42.3	(-2.8)	<-11.8>
世帯類型											
単独世帯	4.7	22.5	28.3	19.7	24.8	27.2	(-1.2)	<10.1>	48.0	(1.1)	<-11.1>
一世帯世帯	5.2	29.3	29.0	18.1	18.5	34.5	(3.2)	<18.9>	47.1	(0.0)	<-18.1>
二世帯世帯	5.8	32.5	30.1	16.7	14.9	38.3	(2.6)	<20.3>	46.8	(-0.9)	<-19.0>
三世帯世帯	5.3	36.5	27.4	14.9	16.0	41.8	(5.1)	<22.2>	42.3	(-4.1)	<-20.6>
世帯収入											
~100万円未満	5.6	24.5	26.2	18.9	24.9	30.1	(3.5)	<->	45.1	(1.1)	<->
~200万円未満	4.8	27.5	27.2	17.7	22.7	32.3	(3.0)	<->	44.9	(1.7)	<->
~300万円未満	5.2	26.8	29.6	18.3	20.0	32.0	(0.3)	<->	47.9	(0.7)	<->
~400万円未満	4.0	29.6	30.5	18.4	17.5	33.6	(-1.2)	<->	48.9	(-0.7)	<->
~500万円未満	5.4	31.8	31.8	16.7	14.5	37.2	(1.4)	<->	48.5	(3.3)	<->
~600万円未満	5.7	35.7	29.8	15.0	13.8	41.4	(7.3)	<->	44.8	(-7.0)	<->
~800万円未満	6.7	34.8	29.6	16.3	12.6	41.5	(3.6)	<->	45.9	(-2.1)	<->
~1,000万円未満	5.5	35.8	29.8	16.8	12.1	41.3	(2.8)	<->	46.6	(0.0)	<->
1,000万円以上	4.9	38.6	32.7	15.1	8.7	43.5	(7.4)	<->	47.8	(-4.3)	<->

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(14) 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じますか。

(関連の政策分野：雇用の確保と多様な働き方)

○ 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が21.0%で、『実感していない層』の割合(63.4%)より42.4ポイント低くなっています。問2の15項目の中では、『実感している層』が最も低く、『実感していない層』が最も高くなっています。

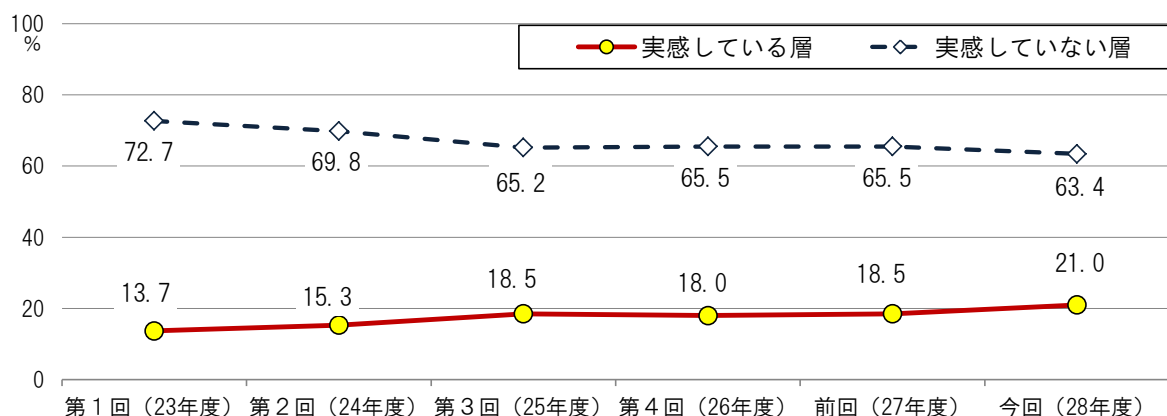
○ 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.5ポイント高く、『実感していない層』は2.1ポイント低くなっています。

○ 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が7.3ポイント高く、『実感していない層』は9.3ポイント低くなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)

- ・ 東紀州の『実感していない層』は全体より7.1ポイント高いが、前回調査より3.4ポイント低い。
- ・ 40歳代の『実感していない層』は第1回調査より15.1ポイント低い。
- ・ 正規職員の『実感している層』は全体より3.5ポイント高い。
- ・ 学生の『実感している層』は全体より8.6ポイント低く、前回調査より19.2ポイント低い。
- ・ 世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より16.5ポイント高い。

図表 2-2-24 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-25 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	20	19.0	33.8	29.6	15.6	21.0	(2.5)	<7.3>	63.4	(-2.1)	<-9.3>
地域											
北勢	23	22.9	32.6	26.8	15.3	25.2	(4.4)	<9.3>	59.4	(-4.2)	<-11.9>
伊賀	15	12.8	36.2	33.9	15.6	14.3	(-4.0)	<5.0>	70.1	(1.7)	<-4.1>
中南勢	16	18.6	36.1	26.4	17.3	20.2	(2.4)	<6.0>	62.5	(-2.8)	<-8.4>
伊勢志摩	13	12.4	33.5	39.4	13.4	13.7	(-1.2)	<4.0>	72.9	(5.6)	<-6.0>
東紀州	30	11.8	29.6	40.9	14.7	14.8	(3.5)	<5.0>	70.5	(-3.4)	<-7.7>
性別											
男性	19	19.6	35.8	29.6	13.1	21.5	(2.5)	<7.3>	65.4	(-1.9)	<-10.6>
女性	19	18.7	32.2	29.8	17.4	20.6	(2.2)	<7.3>	62.0	(-2.5)	<-8.4>
年齢											
18歳から20歳代	27	21.0	30.6	29.2	16.5	23.7	(-)	<->	59.8	(-)	<->
30歳代	24	18.3	33.7	32.6	13.0	20.7	(0.6)	<4.7>	66.3	(-3.1)	<-7.0>
40歳代	15	20.9	34.5	30.7	12.4	22.4	(0.6)	<9.8>	65.2	(-1.4)	<-15.1>
50歳代	18	19.0	34.8	33.5	10.9	20.8	(4.9)	<9.7>	68.3	(-4.7)	<-13.1>
60歳代	15	18.0	36.0	30.6	13.9	19.5	(4.8)	<7.1>	66.6	(-3.0)	<-6.7>
70歳以上	24	18.6	30.9	23.0	25.2	21.0	(-10.2)	<5.2>	53.9	(12.2)	<-7.5>
主な職業											
農林水産業	7	24.2	25.5	35.9	13.7	24.9	(5.8)	<4.7>	61.4	(-8.8)	<-2.9>
自営業・自由業	30	19.2	32.0	30.9	14.8	22.2	(2.9)	<9.0>	62.9	(-8.0)	<-12.3>
正規職員	1	22.4	37.0	27.7	10.8	24.5	(0.9)	<8.6>	64.7	(-0.7)	<-11.8>
パート・アルバイト・派遣	0	17.2	34.0	34.0	12.7	19.2	(3.6)	<7.9>	68.0	(-4.6)	<-11.1>
その他の職業	6	17.9	37.2	33.8	8.5	20.5	(5.1)	<5.3>	71.0	(-5.1)	<0.6>
学生	4	11.0	32.9	26.0	28.8	12.4	(-19.2)	<-3.2>	58.9	(7.3)	<-6.1>
専業主婦・主夫	1	18.2	34.8	26.7	19.2	19.3	(2.5)	<6.5>	61.5	(-2.8)	<-10.0>
無職	5	16.8	30.7	27.7	23.3	18.3	(1.6)	<5.8>	58.4	(1.0)	<-8.4>
配偶関係											
未婚	4	15.7	32.8	31.9	17.2	18.1	(-2.0)	<4.4>	64.7	(0.0)	<-10.0>
有配偶	9	20.3	34.8	29.2	13.8	22.2	(4.0)	<8.3>	64.0	(-3.4)	<-9.9>
離別・死別	0	15.4	29.3	30.3	23.0	17.4	(-1.3)	<4.8>	59.6	(1.3)	<-7.1>
世帯類型											
単独世帯	6	15.7	28.3	29.3	24.1	18.3	(-1.4)	<4.8>	57.6	(0.5)	<-9.3>
一世代世帯	9	19.7	33.1	28.9	16.4	21.6	(4.2)	<7.6>	62.0	(-2.2)	<-10.0>
二世帯世帯	7	18.5	35.8	30.6	13.4	20.2	(1.4)	<7.7>	66.4	(-2.2)	<-9.9>
三世帯世帯	0	22.8	33.6	27.1	14.6	24.8	(3.2)	<7.0>	60.7	(-4.8)	<-7.9>
世帯収入											
~100万円未満	1	10.7	27.5	36.5	23.2	12.8	(-3.9)	<->	64.0	(8.5)	<->
~200万円未満	3	13.2	29.7	36.5	18.3	15.5	(0.9)	<->	66.2	(2.4)	<->
~300万円未満	5	16.3	34.2	32.5	15.5	17.8	(2.9)	<->	66.7	(-2.6)	<->
~400万円未満	2	16.7	35.0	31.6	15.5	17.9	(1.8)	<->	66.6	(-3.8)	<->
~500万円未満		20.5	34.4	30.7	12.7	22.2	(3.0)	<->	65.1	(-1.6)	<->
~600万円未満	4	18.5	38.3	28.6	13.3	19.9	(0.4)	<->	66.9	(-6.3)	<->
~800万円未満	6	23.4	36.0	26.2	11.7	26.0	(5.4)	<->	62.2	(-3.6)	<->
~1,000万円未満	6	22.8	37.5	23.1	13.9	25.4	(-0.3)	<->	60.6	(-0.8)	<->
1,000万円以上	1	35.9	32.4	19.5	10.6	37.5	(8.1)	<->	51.9	(-6.4)	<->

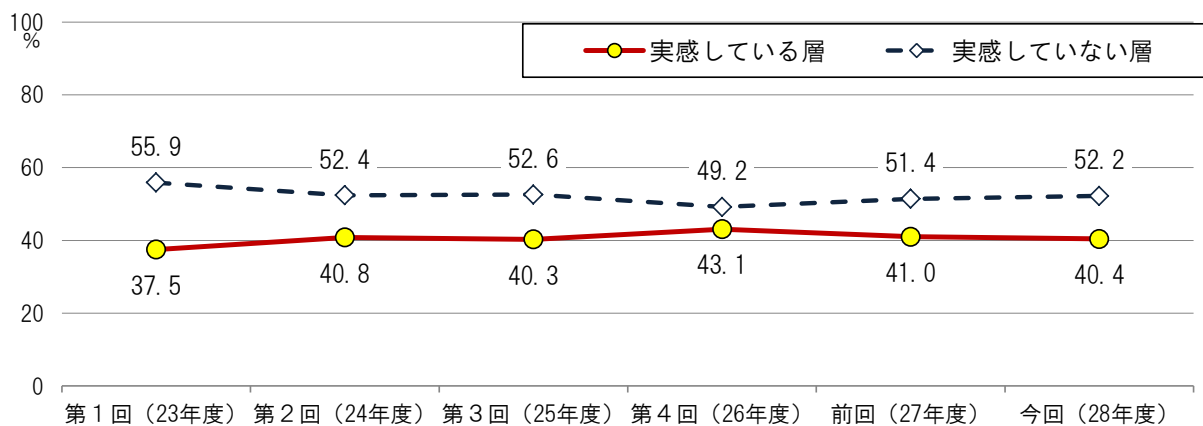
※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2－(15) 道路や公共交通機関等が整っていると感じますか。

(関連の政策分野：安心と活力を生み出す基盤)

- 道路や公共交通機関等が整っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が40.4%で、『実感していない層』の割合(52.2%)より11.8ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.6ポイント低く、『実感していない層』は0.8ポイント高くなっています。
問2の15項目の中では、『実感している層』の減少幅が2番目に大きく、『実感していない層』の増加幅が3番目に大きくなっています。
- 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.9ポイント高く、『実感していない層』は3.7ポイント低くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・北勢の『実感している層』は全体より3.1ポイント高い。
 - ・伊賀の『実感していない層』は全体より10.1ポイント高い。
 - ・東紀州の『実感していない層』は第1回調査より24.2ポイント低い。
 - ・50歳代の『実感している層』は全体より2.3ポイント低い。
 - ・学生の『実感していない層』は前回調査より5.4ポイント高い。

図表 2-2-26 道路や公共交通機関等が整っている(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-27 道路や公共交通機関等が整っている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント					
全体	5.1	35.3	28.4	23.8	7.3	40.4	(-0.6)	<2.9>	52.2	(0.8)	(-3.7)
地域						40.4	(-0.6)	<2.9>	52.2	(0.8)	(-3.7)
北勢	5.4	38.1	27.5	22.2	6.8	43.5	(-1.9)	<1.2>	49.7	(1.4)	(-2.6)
伊賀	2.4	27.5	31.8	30.5	7.7	29.9	(-0.1)	<4.4>	62.3	(-2.3)	(-5.8)
中南勢	5.2	36.1	28.3	22.7	7.7	41.3	(0.0)	<1.4>	51.0	(1.1)	(-1.1)
伊勢志摩	4.7	31.9	31.4	25.1	6.9	36.6	(1.1)	<5.9>	56.5	(2.7)	(-4.6)
東紀州	7.9	31.5	23.6	28.6	8.3	39.4	(2.9)	<20.7>	52.2	(-3.9)	(-24.2)
性別						39.8	(-1.6)	<2.6>	52.6	(2.5)	(-2.1)
男性	5.5	35.9	28.0	24.3	6.3	41.4	(0.9)	<3.5>	52.3	(-1.6)	(-5.2)
女性	4.7	35.1	28.8	23.8	7.6	39.8	(-1.6)	<2.6>	52.6	(2.5)	(-2.1)
年齢						42.1	(-1.6)	<2.3>	47.2	(1.9)	(-0.7)
18歳から20歳代	5.5	37.1	27.5	23.4	6.5	42.6	(-)	<->	50.9	(-)	<->
30歳代	6.4	34.2	24.9	26.7	7.7	40.6	(0.4)	<3.1>	51.6	(-4.2)	(-8.1)
40歳代	4.4	35.0	29.5	26.0	5.1	39.4	(-2.3)	<3.6>	55.5	(3.6)	(-3.5)
50歳代	3.7	34.4	30.5	25.0	6.4	38.1	(0.7)	<2.3>	55.5	(-2.5)	(-4.6)
60歳代	4.4	36.7	29.5	23.9	5.5	41.1	(-0.1)	<3.6>	53.4	(2.6)	(-3.0)
70歳以上	7.0	35.1	26.4	20.8	10.8	42.1	(-1.6)	<2.3>	47.2	(1.9)	(-0.7)
主な職業						35.3	(-2.1)	<-1.3>	58.9	(3.9)	(2.6)
農林水産業	5.9	29.4	30.1	28.8	5.9	43.6	(-0.2)	<1.5>	49.6	(-0.5)	(-2.6)
自営業・自由業	5.5	38.1	25.0	24.6	6.9	40.2	(0.5)	<1.6>	55.8	(0.3)	(-2.6)
正規職員	4.5	35.7	31.5	24.3	4.1	38.9	(-1.0)	<2.3>	53.1	(-0.1)	(-5.2)
パート・バイト・派遣	4.0	34.9	29.3	23.8	8.0	41.0	(1.2)	<8.2>	50.5	(-4.0)	(-8.8)
その他の職業	4.7	36.3	21.4	29.1	8.5	38.3	(-10.0)	<-0.7>	52.1	(5.4)	(-6.4)
学生	6.8	31.5	28.8	23.3	9.5	40.9	(-1.5)	<6.4>	51.7	(1.3)	(-6.1)
専業主婦・主夫	4.5	36.4	27.1	24.6	7.5	41.4	(-0.6)	<4.0>	49.2	(1.7)	(-2.9)
無職	6.8	34.6	27.4	21.8	9.3	39.5	(-2.4)	<0.5>	51.8	(-1.5)	(-3.7)
配偶関係						41.0	(-0.1)	<3.4>	52.5	(0.4)	(-4.1)
未婚	5.8	33.7	27.2	24.6	8.7	38.4	(-2.9)	<2.0>	52.4	(5.0)	(-0.8)
有配偶	5.1	35.9	28.8	23.7	6.5	35.3	(-5.8)	<0.4>	54.4	(3.3)	(0.0)
離別・死別	5.0	33.4	28.5	23.9	9.1	41.5	(0.3)	<4.0>	51.3	(0.4)	(-4.8)
世帯類型						40.7	(-0.8)	<2.6>	53.0	(1.1)	(-3.4)
単独世帯	3.7	31.6	27.9	26.5	10.3	40.4	(-0.2)	<1.7>	52.8	(-0.6)	(-2.3)
一世代世帯	5.6	35.9	28.3	23.0	7.2	36.1	(-6.0)	<->	51.6	(6.8)	<->
二世帯世帯	4.6	36.1	28.0	25.0	6.2	37.2	(-3.5)	<->	54.2	(5.6)	<->
三世帯世帯	6.2	34.2	31.6	21.2	6.8	39.3	(-1.7)	<->	54.0	(2.8)	<->
世帯収入						40.0	(-3.4)	<->	53.6	(3.1)	<->
~100万円未満	4.3	31.8	25.8	25.8	12.5	43.4	(4.5)	<->	51.2	(-4.2)	<->
~200万円未満	5.2	32.0	30.6	23.6	8.6	40.7	(-4.9)	<->	53.2	(2.9)	<->
~300万円未満	3.9	35.4	28.9	25.1	6.7	42.6	(3.2)	<->	52.9	(-3.0)	<->
~400万円未満	6.1	33.9	30.4	23.2	6.5	40.6	(-1.4)	<->	53.6	(1.6)	<->
~500万円未満	6.1	37.3	26.7	24.5	5.4	46.0	(3.1)	<->	50.6	(-1.0)	<->
~600万円未満	3.2	37.5	28.2	25.0	6.2	36.1	(-6.0)	<->	51.6	(6.8)	<->
~800万円未満	6.0	36.6	28.0	24.9	4.5	37.2	(-3.5)	<->	54.2	(5.6)	<->
~1,000万円未満	3.8	36.8	28.4	25.2	5.8	39.3	(-1.7)	<->	54.0	(2.8)	<->
1,000万円以上	4.9	41.1	30.3	20.3	3.6	40.6	(-1.4)	<->	53.6	(1.6)	<->

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

3. 県民の皆さんの実感や状況

平成 27 年度に策定した「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」で設定した施策の成果をあらわす指標（県民指標）の一部については、県民の皆さんの実感や状況で成果を測ることとしており、その実感や状況をみえ県民意識調査で把握します。

みえ県民意識調査で把握する県民指標の一覧については、以下のとおりです。

※問い毎の集計結果は 48 ページから 63 ページに記載

問番号	県民指標	関連する県の施策
問 3	人権が尊重されている社会になっていると感じる県民の割合	人権が尊重される社会づくり
問 4	あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じる県民の割合	あらゆる分野における女性活躍の推進
問 5	多文化共生の社会になっていると感じる県民の割合	多文化共生社会づくり
問 6	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	少子化対策を進めるための環境づくり
問 7	成人の週 1 回以上の運動・スポーツ実施率	地域スポーツと障がい者スポーツの推進
問 8	地域活動等を行っている県民の割合	協創のネットワークづくり
問 9	魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると感じる県民の割合	農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出
問 10	得たいと思う県情報が得られていると感じる県民の割合	広聴広報の充実

➤ 県民の皆さんの実感や状況

問3 県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっていると感じますか。

(関連する県の施策：人権が尊重される社会づくり)

- 県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が39.2%で、『実感していない層』の割合(32.7%)より6.5ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.7ポイント高く、『実感していない層』が0.1ポイント低くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・伊賀の『実感している層』は全体より2.3ポイント低く、前回調査より5.8ポイント低い。
 - ・男性の『実感している層』は全体より3.6ポイント高く、女性より6.7ポイント高い。
 - ・30歳代の『実感している層』は全体より7.3ポイント低いが、前回調査より1.2ポイント高い。
 - ・70歳以上の『実感している層』は全体より8.9ポイント高いが、前回調査より0.1ポイント低い。
 - ・パート・バイト・派遣の『実感していない層』は全体より1.6ポイント高く、前回より3.8ポイント低い。
 - ・農林水産業の『実感している層』は全体より8.5ポイント高いが、前回調査より1.2ポイント低い。
 - ・未婚の『実感している層』は全体より4.9ポイント低いが、前回調査より2.7ポイント高い。

図表 2-3-1 県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層		実感していない層	
	5.2	34.0	19.9	12.8	28.1	%	(前回差) ポイント	%	(前回差) ポイント
地域									
全体	5.2	34.0	19.9	12.8	28.1	39.2	(0.7)	32.7	(-0.1)
北勢	5.0	34.1	19.3	12.6	28.9	39.1	(1.2)	31.9	(-1.8)
伊賀	4.1	32.8	21.5	14.5	27.2	36.9	(-5.8)	36.0	(4.6)
中南勢	5.5	34.7	20.1	12.4	27.2	40.2	(2.5)	32.5	(-0.4)
伊勢志摩	4.7	33.5	20.1	13.9	27.8	38.2	(-1.0)	34.0	(3.7)
東紀州	7.9	38.4	21.7	8.9	23.2	46.3	(8.5)	30.6	(-1.6)
性別									
男性	5.9	36.9	20.4	12.8	24.1	42.8	(3.1)	33.2	(-1.5)
女性	4.5	31.6	19.4	12.8	31.7	36.1	(-1.4)	32.2	(0.8)
年齢									
18歳から20歳代	4.8	30.2	16.5	11.0	37.4	35.0	(-)	27.5	(-)
30歳代	4.4	27.5	18.7	16.1	33.3	31.9	(1.2)	34.8	(-3.0)
40歳代	3.2	29.7	21.6	16.1	29.4	32.9	(1.8)	37.7	(1.6)
50歳代	4.7	33.5	20.6	15.5	25.6	38.2	(2.2)	36.1	(-2.1)
60歳代	4.7	36.3	21.8	11.1	26.2	41.0	(-1.3)	32.9	(1.5)
70歳以上	8.2	39.9	17.0	8.6	26.3	48.1	(-0.1)	25.6	(1.8)
主な職業									
農林水産業	5.9	41.8	18.3	10.5	23.5	47.7	(-1.2)	28.8	(-0.2)
自営業・自由業	7.4	32.0	19.6	14.3	26.7	39.4	(2.3)	33.9	(-2.5)
正規職員	3.7	36.1	21.3	13.0	25.9	39.8	(4.7)	34.3	(-3.7)
パート・バイト・派遣	3.4	31.3	20.8	13.5	31.0	34.7	(2.6)	34.3	(-3.8)
その他の職業	6.4	23.9	21.4	18.4	29.9	30.3	(-6.3)	39.8	(2.8)
学生	6.8	38.4	16.4	5.5	32.9	45.2	(-8.1)	21.9	(1.9)
専業主婦・主夫	4.8	30.8	20.0	11.2	33.2	35.6	(-7.3)	31.2	(6.1)
無職	7.3	37.3	17.6	11.5	26.3	44.6	(0.8)	29.1	(2.3)
配偶関係									
未婚	5.2	29.1	18.9	14.6	32.2	34.3	(2.7)	33.5	(-1.4)
有配偶	5.4	35.4	20.4	12.0	26.9	40.8	(0.9)	32.4	(-0.4)
離別・死別	4.5	31.8	18.6	14.3	30.8	36.3	(-1.9)	32.9	(1.4)
世帯類型									
単独世帯	4.4	27.9	23.2	14.8	29.7	32.3	(-5.0)	38.0	(5.7)
一世代世帯	6.5	36.8	19.1	11.5	26.1	43.3	(2.0)	30.6	(-0.2)
二世帯世帯	4.5	33.3	19.9	13.8	28.5	37.8	(0.6)	33.7	(-0.0)
三世帯世帯	5.1	35.9	19.7	10.1	29.2	41.0	(2.8)	29.8	(-5.8)
世帯収入									
～100万円未満	6.4	30.0	19.3	18.0	26.2	36.4	(3.5)	37.3	(3.9)
～200万円未満	6.1	34.9	19.9	15.0	24.2	41.0	(3.6)	34.9	(3.0)
～300万円未満	4.3	34.5	19.4	13.3	28.5	38.8	(-4.2)	32.7	(2.3)
～400万円未満	6.3	35.6	23.3	11.2	23.7	41.9	(-2.1)	34.5	(4.0)
～500万円未満	3.1	35.8	20.7	11.5	29.0	38.9	(0.1)	32.2	(-1.9)
～600万円未満	4.7	33.1	19.5	13.4	29.2	37.8	(1.9)	32.9	(-2.6)
～800万円未満	5.4	34.1	22.3	13.2	25.0	39.5	(4.2)	35.5	(-1.7)
～1,000万円未満	5.3	38.7	17.3	10.8	27.7	44.2	(2.8)	28.1	(-5.7)
1,000万円以上	5.4	40.3	21.6	8.9	23.8	45.7	(5.3)	30.5	(-1.4)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

問4 あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じますか。

(関連する県の施策：あらゆる分野における女性活躍の推進)

- あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が39.9%で、『実感していない層』の割合(41.8%)より1.9ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.5ポイント高く、『実感していない層』は同率となっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・ 東紀州の『実感している層』は全体より3.9ポイント低く、前回調査より2.3ポイント低い。
 - ・ 男性の『実感している層』は全体より1.8ポイント高く、女性より3.4ポイント高い。
 - ・ 70歳以上の『実感している層』は全体より4.9ポイント高く、前回調査より2.9ポイント高い。
 - ・ 専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より2.7ポイント低いが、前回調査よりも1.0ポイント高い。
 - ・ 学生の『実感していない層』は全体より10.3ポイント低いが、前回調査より3.1ポイント高い。
 - ・ 有配偶の『実感している層』は全体より1.1ポイント高く、前回調査より1.6ポイント高い。
 - ・ 世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より7.4ポイント高く、前回調査より6.7ポイント高い。

図表 2-3-2 あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいる(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層		実感していない層	
	5.6	34.3	24.9	16.9	18.2	%	(前回差) ポイント	%	(前回差) ポイント
全体	5.6	34.3	24.9	16.9	18.2	39.9	(0.5)	41.8	(0.0)
地域									
北勢	5.5	35.2	25.1	16.6	17.5	40.7	(1.6)	41.7	(-0.2)
伊賀	5.6	33.9	25.8	16.9	17.7	39.5	(-0.7)	42.7	(2.5)
中南勢	5.3	35.2	24.6	16.7	18.2	40.5	(0.3)	41.3	(0.0)
伊勢志摩	5.5	32.3	24.5	18.0	19.8	37.8	(-0.4)	42.5	(-0.2)
東紀州	8.4	27.6	26.1	19.2	18.7	36.0	(-2.3)	45.3	(-1.2)
性別									
男性	6.6	35.1	25.2	16.6	16.5	41.7	(-0.6)	41.8	(1.0)
女性	4.6	33.7	25.0	17.3	19.5	38.3	(0.9)	42.3	(-0.5)
年齢									
18歳から20歳代	8.2	35.7	19.6	14.1	22.3	43.9	(-)	33.7	(-)
30歳代	6.4	28.4	26.0	22.9	16.3	34.8	(-4.4)	48.9	(4.7)
40歳代	4.2	34.6	25.4	19.9	15.8	38.8	(1.2)	45.3	(1.2)
50歳代	5.3	35.1	28.2	16.5	14.9	40.4	(3.3)	44.7	(-4.0)
60歳代	4.4	32.7	27.6	17.5	17.7	37.1	(-0.7)	45.1	(0.4)
70歳以上	7.1	37.7	19.6	12.3	23.3	44.8	(2.9)	31.9	(-1.4)
主な職業									
農林水産業	4.6	37.9	22.9	15.0	19.6	42.5	(-1.7)	37.9	(0.5)
自営業・自由業	5.7	38.5	22.5	16.0	17.4	44.2	(2.5)	38.5	(-3.8)
正規職員	5.8	35.1	28.2	17.6	13.3	40.9	(-3.4)	45.8	(3.4)
パート・バイト・派遣	4.5	34.5	25.1	18.7	17.3	39.0	(2.3)	43.8	(-2.1)
その他の職業	5.6	30.8	24.8	21.4	17.5	36.4	(-2.2)	46.2	(2.3)
学生	9.6	35.6	24.7	6.8	23.3	45.2	(-8.2)	31.5	(3.1)
専業主婦・主夫	3.9	33.3	25.0	16.6	21.2	37.2	(1.0)	41.6	(-2.2)
無職	6.6	32.2	22.4	15.1	23.7	38.8	(1.8)	37.5	(0.1)
配偶関係									
未婚	6.3	32.8	24.3	15.4	21.2	39.1	(-2.6)	39.7	(1.8)
有配偶	5.5	35.5	25.2	17.4	16.4	41.0	(1.6)	42.6	(-1.1)
離別・死別	6.1	30.0	23.4	16.0	24.5	36.1	(-2.0)	39.4	(1.4)
世帯類型									
単独世帯	6.1	28.8	23.2	16.9	25.0	34.9	(-4.6)	40.1	(3.2)
一世代世帯	5.6	34.9	24.7	17.3	17.5	40.5	(1.6)	42.0	(0.2)
二世代世帯	4.9	33.9	26.3	17.5	17.4	38.8	(-0.9)	43.8	(0.6)
三世代世帯	6.3	39.9	22.9	13.6	17.2	46.2	(6.1)	36.5	(-5.7)
世帯収入									
～100万円未満	5.2	30.0	17.2	18.9	28.8	35.2	(0.3)	36.1	(0.0)
～200万円未満	6.3	32.2	21.5	19.1	21.0	38.5	(4.7)	40.6	(1.2)
～300万円未満	4.8	32.7	26.3	16.4	19.7	37.5	(-3.6)	42.7	(2.7)
～400万円未満	6.7	31.6	27.1	17.9	16.6	38.3	(-2.8)	45.0	(2.6)
～500万円未満	3.8	37.3	26.4	16.3	16.1	41.1	(1.9)	42.7	(-1.6)
～600万円未満	3.6	37.3	25.4	20.3	13.4	40.9	(1.4)	45.7	(0.0)
～800万円未満	6.3	35.7	26.5	16.3	15.2	42.0	(1.4)	42.8	(-3.0)
～1,000万円未満	6.5	37.5	27.4	14.9	13.7	44.0	(0.6)	42.3	(-2.3)
1,000万円以上	6.5	40.8	28.6	14.3	9.7	47.3	(6.7)	42.9	(-0.3)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

問5 外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっていると感じますか。

(関連する県の施策：多文化共生社会づくり)

- 外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が30.0%で、『実感していない層』の割合(42.8%)より12.8ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.9ポイント高く、『実感していない層』が0.2ポイント高くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・伊勢志摩の『実感している層』は全体より4.5ポイント低いが、前回調査より1.1ポイント高い。
 - ・男性の『実感していない層』は全体より5.8ポイント高く、女性より10.7ポイント高い。
 - ・18歳から20歳代の『実感している層』は全体より18.1ポイント高い。
 - ・50歳代の『実感していない層』は全体より3.5ポイント高いが、前回調査より5.9ポイント低い。
 - ・農林水産業の『実感している層』は全体より3.2ポイント低いが、前回調査より4.6ポイント高い。
 - ・未婚の『実感している層』は全体より6.3ポイント高く、前回調査より1.9ポイント高い。
 - ・世帯収入が800～1000万円未満の層の『実感している層』は全体より4.9ポイント高く、前回調査より3.8ポイント高い。

図表 2-3-3 外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっている(属性別)

					実感している層		実感していない層		
■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					%	(前回差) ポイント	%	(前回差) ポイント	
全体	3.6	26.4	23.8	19.0	27.3	30.0	(0.9)	42.8	(0.2)
地域									
北勢	3.7	27.3	24.9	18.4	25.5	31.0	(0.8)	43.3	(0.8)
伊賀	2.8	29.8	21.8	16.9	28.6	32.6	(0.1)	38.7	(-2.7)
中南勢	4.0	25.4	23.8	19.7	27.1	29.4	(0.6)	43.5	(0.1)
伊勢志摩	3.1	22.4	22.7	20.6	31.1	25.5	(1.1)	43.3	(2.0)
東紀州	3.0	24.1	24.1	17.7	31.0	27.1	(1.0)	41.8	(-2.6)
性別									
男性	3.2	24.9	26.5	22.1	23.4	28.1	(2.3)	48.6	(-0.6)
女性	4.1	27.7	21.5	16.4	30.4	31.8	(0.3)	37.9	(-0.2)
年齢									
18歳から20歳代	6.9	41.2	19.2	11.3	21.3	48.1	(-)	30.5	(-)
30歳代	4.2	29.7	21.2	20.1	24.7	33.9	(-2.4)	41.3	(1.6)
40歳代	2.2	29.4	23.5	20.6	24.2	31.6	(-2.0)	44.1	(3.4)
50歳代	4.7	25.9	27.2	19.1	23.1	30.6	(5.9)	46.3	(-5.9)
60歳代	3.0	23.0	24.8	20.3	28.7	26.0	(1.5)	45.1	(0.1)
70歳以上	3.5	22.5	22.4	17.7	33.8	26.0	(0.1)	40.1	(1.2)
主な職業									
農林水産業	5.2	21.6	25.5	18.3	29.4	26.8	(4.6)	43.8	(-0.5)
自営業・自由業	4.2	23.4	22.9	24.6	25.0	27.6	(-2.3)	47.5	(2.4)
正規職員	3.1	28.4	26.8	20.9	20.9	31.5	(0.4)	47.7	(-0.9)
パート・バイト・派遣	3.8	29.9	21.9	16.8	27.6	33.7	(-0.4)	38.7	(-1.8)
その他の職業	2.5	20.1	24.8	24.4	28.2	22.7	(-4.2)	49.2	(4.1)
学生	9.6	43.8	21.9	5.5	19.2	53.4	(-1.6)	27.4	(2.4)
専業主婦・主夫	3.5	25.7	23.4	15.3	32.1	29.3	(-0.7)	38.7	(3.3)
無職	3.4	22.6	22.5	18.0	33.5	26.0	(4.5)	40.5	(-2.5)
配偶関係									
未婚	5.2	31.1	20.9	17.2	25.8	36.3	(1.9)	38.1	(-3.0)
有配偶	3.4	26.3	25.2	19.3	25.9	29.7	(1.2)	44.5	(0.5)
離別・死別	3.4	23.5	19.2	19.2	34.8	26.9	(-0.2)	38.4	(-0.7)
世帯類型									
単独世帯	3.7	21.1	20.6	19.7	34.9	24.8	(-3.6)	40.3	(-1.5)
一世代世帯	3.5	23.7	23.7	20.2	28.9	27.2	(0.2)	43.9	(2.9)
二世代世帯	3.7	28.1	23.8	18.9	25.5	31.8	(1.1)	42.7	(-1.7)
三世代世帯	3.7	30.2	27.2	15.8	23.1	33.9	(4.1)	43.0	(0.1)
世帯収入									
～100万円未満	5.2	22.7	16.3	20.6	35.2	27.9	(-0.7)	36.9	(-1.6)
～200万円未満	4.5	21.5	20.2	19.9	34.0	26.0	(-1.4)	40.1	(0.2)
～300万円未満	3.0	24.9	24.5	18.7	29.0	27.9	(1.8)	43.2	(1.9)
～400万円未満	3.1	23.9	25.2	19.6	28.3	27.0	(-2.9)	44.8	(1.8)
～500万円未満	3.6	24.8	25.3	20.0	26.2	28.4	(-1.4)	45.3	(0.1)
～600万円未満	2.4	29.4	29.2	18.1	20.9	31.8	(2.6)	47.3	(-0.4)
～800万円未満	4.2	28.4	27.2	19.0	21.0	32.6	(-1.3)	46.2	(2.6)
～1,000万円未満	3.6	31.3	24.3	18.0	22.9	34.9	(3.8)	42.3	(-5.1)
1,000万円以上	3.2	30.8	28.9	17.8	19.1	34.0	(6.8)	46.7	(0.5)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

問6 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。

(関連する県の施策：少子化対策を進めるための環境づくり)

- 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が52.1%で、『実感していない層』の割合(33.4%)より18.7ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.3ポイント低く、『実感していない層』が2.3ポイント高くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・伊勢志摩の『実感していない層』は全体より2.6ポイント高く、前回調査より2.2ポイント高い。
 - ・女性の『実感している層』は全体より2.1ポイント高く、男性より4.9ポイント高い。
 - ・50歳代の『実感している層』は全体より4.6ポイント低いが、前回調査より2.0ポイント高い。
 - ・正規職員の『実感している層』は全体より4.4ポイント低いが、前回調査より0.7ポイント高い。
 - ・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より6.0ポイント高いが、前回調査より4.6ポイント低い。
 - ・有配偶の『実感している層』は全体より2.5ポイント高いが、前回調査よりも0.8ポイント低い。
 - ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より2.3ポイント高く、前回調査よりも3.7ポイント高い。

図表 2-3-4 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる ▨どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層	実感していない層
						%(前回差ポイント)	%(前回差ポイント)
全体	11.0	41.1	19.7	13.7	14.6	52.1 (-1.3)	33.4 (2.3)
地域							
北勢	10.2	42.7	19.6	12.9	14.6	52.9 (-0.9)	32.5 (1.9)
伊賀	10.7	42.0	18.5	13.4	15.5	52.7 (-2.6)	31.9 (0.6)
中南勢	11.0	39.8	20.2	14.3	14.8	50.8 (-2.9)	34.5 (4.3)
伊勢志摩	11.9	39.2	20.5	15.5	12.8	51.1 (0.5)	36.0 (2.2)
東紀州	15.3	37.9	18.7	13.8	14.3	53.2 (0.6)	32.5 (0.3)
性別							
男性	9.5	39.8	21.8	15.3	13.6	49.3 (-0.7)	37.1 (2.6)
女性	12.1	42.1	18.1	12.3	15.5	54.2 (-1.6)	30.4 (1.7)
年齢							
18歳から20歳代	12.0	39.9	17.5	12.4	18.2	51.9 (-)	29.9 (-)
30歳代	9.7	40.1	18.5	17.6	14.1	49.8 (-3.6)	36.1 (4.8)
40歳代	10.1	41.4	21.3	14.5	12.7	51.5 (-1.6)	35.8 (3.5)
50歳代	8.2	39.3	21.8	15.5	15.2	47.5 (2.0)	37.3 (-0.9)
60歳代	10.0	40.5	21.0	13.5	15.0	50.5 (-3.4)	34.5 (3.1)
70歳以上	15.5	43.8	16.5	9.8	14.4	59.3 (-2.1)	26.3 (2.9)
主な職業							
農林水産業	15.0	45.1	17.0	14.4	8.5	60.1 (0.6)	31.4 (3.9)
自営業・自由業	9.1	41.5	19.2	16.8	13.3	50.6 (-1.9)	36.0 (1.7)
正規職員	7.8	39.9	23.6	15.2	13.4	47.7 (0.7)	38.8 (1.2)
パート・バイト・派遣	10.6	40.3	19.6	13.9	15.6	50.9 (-2.0)	33.5 (0.8)
その他の職業	8.5	38.0	18.8	17.5	17.1	46.5 (-3.5)	36.3 (3.8)
学生	16.4	42.5	11.0	13.7	16.4	58.9 (2.3)	24.7 (-3.7)
専業主婦・主夫	13.9	44.2	17.5	9.6	14.8	58.1 (-4.6)	27.1 (3.1)
無職	14.1	40.5	17.6	11.3	16.4	54.6 (0.2)	28.9 (2.2)
配偶関係							
未婚	8.9	31.4	17.0	15.9	26.8	40.3 (-1.0)	32.9 (0.4)
有配偶	11.1	43.5	20.2	13.3	11.9	54.6 (-0.8)	33.5 (1.8)
離別・死別	12.4	36.8	19.6	13.5	17.8	49.2 (-5.8)	33.1 (5.2)
世帯類型							
単独世帯	9.8	35.1	17.6	15.7	21.8	44.9 (0.3)	33.3 (-0.1)
一世帯世帯	10.5	41.6	19.3	13.4	15.3	52.1 (-4.4)	32.7 (4.5)
二世帯世帯	10.5	40.8	20.7	14.5	13.5	51.3 (-1.6)	35.2 (2.8)
三世帯世帯	13.3	47.2	18.9	10.2	10.4	60.5 (5.4)	29.1 (-3.0)
世帯収入							
~100万円未満	10.3	33.9	18.0	16.7	21.0	44.2 (-9.3)	34.7 (4.9)
~200万円未満	14.0	38.6	14.3	15.0	18.1	52.6 (-2.7)	29.3 (3.8)
~300万円未満	10.6	41.2	18.2	14.3	15.7	51.8 (-1.6)	32.5 (2.9)
~400万円未満	10.7	42.5	19.6	13.0	14.2	53.2 (0.6)	32.6 (2.3)
~500万円未満	10.9	45.0	19.8	11.8	12.5	55.9 (-0.9)	31.6 (0.1)
~600万円未満	8.3	40.8	26.6	14.4	9.9	49.1 (-3.8)	41.0 (7.7)
~800万円未満	11.4	41.4	21.2	15.5	10.3	52.8 (0.7)	36.7 (0.5)
~1,000万円未満	7.9	45.7	21.6	10.8	14.0	53.6 (-1.5)	32.4 (-1.6)
1,000万円以上	10.3	44.1	23.2	13.5	8.9	54.4 (3.7)	36.7 (1.4)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問7 1週間にどのくらい運動やスポーツを実施していますか。

(関連する県の施策：地域スポーツと障がい者スポーツの推進)

- 1週間にどのくらい運動やスポーツを実施しているかの状況については、『週に1回以上』の割合が44.3%で、『週に1回未満』の割合(53.6%)より9.3ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『週に1回以上』が3.1ポイント低く、『週に1回未満』が4.1ポイント高くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・伊賀の『週に1回以上』は全体より7.6ポイント低く、前回調査より7.6ポイント低い。
 - ・男性の『週に1回以上』は全体より1.9ポイント高く、女性より4.1ポイント高い。
 - ・30歳代の『週に1回未満』は全体より16.0ポイント高く、前回調査より6.9ポイント高い。
 - ・70歳以上の『週に1回以上』は全体より11.0ポイント高いが、前回調査より2.5ポイント低い。
 - ・学生の『週に1回以上』は全体より0.8ポイント高く、前回調査より5.1ポイント高い。
 - ・未婚の『週に1回未満』は全体より6.1ポイント高く、前回調査より4.0ポイント高い。
 - ・世帯収入が100~200万円未満の層の『週に1回未満』は全体より7.8ポイント低く、前回調査より1.1ポイント低い。

図表 2-3-5 1週間にどのくらい運動やスポーツを実施しているか(属性別)

□毎日 □週に5~6回 □週に3~4回 □週に1~2回 □月に1~2回 □運動していない □わからない・不明

	週に1回以上						週に1回未満			
	8.8	6.7	11.9	16.9	11.8	41.8	2.1	44.3 (-3.1)	53.6 (4.1)	
地域										
全体	8.8	6.7	11.9	16.9	11.8	41.8	2.1	44.3 (-3.1)	53.6 (4.1)	
北勢	8.6	6.8	11.9	18.2	12.1	40.7	1.8	45.5 (-2.6)	52.8 (3.6)	
伊賀	6.0	4.4	11.9	14.3	13.6	47.8	1.9	36.7 (-7.6)	61.4 (8.7)	
中南勢	9.2	7.0	11.5	17.5	11.0	41.5	2.3	45.2 (-3.3)	52.5 (4.4)	
伊勢志摩	8.3	7.4	11.7	15.5	11.8	43.1	2.4	42.9 (-1.9)	54.9 (3.7)	
東紀州	17.2	8.4	13.3	11.8	10.3	37.4	1.8	50.7 (4.6)	47.7 (-3.6)	
性別										
男性	9.3	7.7	12.2	17.0	13.4	38.4	2.1	46.2 (-3.4)	51.8 (4.6)	
女性	8.1	5.7	11.2	17.1	10.5	45.5	1.9	42.1 (-3.6)	56.0 (4.4)	
年齢										
18歳から20歳代	5.5	4.1	8.9	13.4	21.3	45.0	1.7	31.9 (-)	66.3 (-)	
30歳代	4.3	1.6	2.2	14.5	15.4	54.2	2.1	28.2 (-6.6)	69.6 (6.9)	
40歳代	5.9	4.2	7.5	17.4	13.6	49.2	2.2	35.0 (-2.8)	62.8 (2.3)	
50歳代	7.1	6.5	9.8	17.4	10.5	47.7	1.1	40.8 (-2.7)	58.2 (3.7)	
60歳代	9.6	8.3	14.8	19.7	11.0	35.6	1.1	52.4 (-4.4)	46.6 (5.7)	
70歳以上	14.2	9.1	16.7	15.3	8.6	32.4	3.6	55.3 (-2.5)	41.0 (4.5)	
主な職業										
農林水産業	8.5	7.2	7.2	14.4	9.2	51.6	2.0	37.3 (-7.7)	60.8 (11.2)	
自営業・自由業	7.8	5.9	12.0	16.0	12.6	44.2	1.8	41.7 (-3.5)	56.8 (4.9)	
正規職員	4.9	5.7	8.6	17.1	15.7	46.8	1.2	36.3 (-6.4)	62.5 (6.5)	
パート・バイト・派遣	7.6	5.2	11.7	18.9	10.0	45.1	1.6	43.4 (3.2)	55.1 (-2.0)	
その他の職業	10.7	8.0	7.3	14.5	15.0	46.6	3.0	35.5 (-9.6)	61.6 (9.6)	
学生	9.6	6.8	6.8	21.9	24.7	26.0	4.1	45.1 (5.1)	50.7 (-5.9)	
専業主婦・主夫	9.4	6.4	12.1	22.6	9.3	39.4	0.7	50.5 (-3.5)	48.7 (4.1)	
無職	14.1	10.4	17.5	13.5	8.6	32.1	3.7	55.5 (-1.4)	40.7 (2.6)	
配偶関係										
未婚	7.1	6.0	9.2	15.2	15.5	44.2	2.8	37.5 (-4.1)	59.7 (4.0)	
有配偶	9.0	6.6	11.8	17.5	12.0	41.5	1.6	44.9 (-4.1)	53.5 (4.6)	
離別・死別	9.5	7.5	14.5	15.5	8.2	41.8	3.0	47.0 (0.2)	50.0 (3.0)	
世帯類型										
単独世帯	12.2	9.1	11.5	15.0	9.1	40.0	3.1	47.8 (-4.4)	49.1 (6.4)	
一世代世帯	10.8	8.8	13.8	17.5	11.1	35.8	2.3	50.9 (-2.4)	46.9 (2.8)	
二世帯世帯	7.3	5.4	10.4	17.0	12.9	45.6	1.4	40.1 (-4.1)	58.5 (4.5)	
三世帯世帯	6.5	4.6	11.6	17.3	12.5	46.0	1.4	40.0 (-3.5)	58.5 (6.8)	
世帯収入										
~100万円未満	9.9	6.4	12.0	15.0	8.6	42.5	5.6	43.3 (-2.7)	51.1 (5.1)	
~200万円未満	11.4	11.1	14.7	13.6	7.5	38.3	3.4	50.8 (2.9)	45.8 (-1.1)	
~300万円未満	10.7	7.3	13.2	15.2	11.0	41.1	1.6	46.4 (-5.8)	52.1 (7.7)	
~400万円未満	10.0	6.1	14.7	16.9	9.8	41.4	1.1	47.7 (-1.2)	51.2 (2.2)	
~500万円未満	7.5	5.6	12.0	15.8	12.2	45.8	1.2	40.9 (-6.5)	58.0 (7.3)	
~600万円未満	7.3	5.3	12.0	18.1	12.0	44.2	1.1	42.7 (-2.5)	56.2 (2.4)	
~800万円未満	6.4	5.3	10.2	18.7	14.3	44.4	0.8	40.6 (-5.0)	58.7 (6.5)	
~1,000万円未満	8.4	6.0	6.7	21.4	16.3	39.7	1.8	42.5 (-5.8)	56.0 (5.5)	
1,000万円以上	6.5	7.8	10.3	20.8	15.4	38.4	0.8	45.4 (-3.3)	53.8 (4.5)	

※「週に1回以上」の割合・・・「毎日」から「週に1~2回」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「週に1回未満」の割合・・・「月に1~2回」と「運動していない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問8 NPO活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加されていますか。
(関連する県の施策：協創のネットワークづくり)

- NPO活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加しているかどうかの実感については、『肯定的回答』の割合が20.4%で、『否定的回答』の割合(76.6%)より56.2ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『肯定的回答』が0.7ポイント高く、『否定的回答』が0.2ポイント低くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・ 東紀州の『肯定的回答』は全体より10.2ポイント高く、前回調査より11.9ポイント高い。
 - ・ 男性の『肯定的回答』は全体より2.6ポイント高く、女性より5.2ポイント高い。
 - ・ 18歳から20歳代の『肯定的回答』は全体より10.5ポイント低い。
 - ・ 60歳代の『肯定的回答』は全体より4.8ポイント高く、前回調査より2.9ポイント高い。
 - ・ 農林水産業の『肯定的回答』は全体より14.9ポイント高く、前回調査より3.2ポイント高い。
 - ・ 未婚の『否定的回答』は全体より7.2ポイント高いが、前回調査より2.2ポイント低い。
 - ・ 世帯収入が500～600万円未満の層の『肯定的回答』は全体より1.8ポイント低く、前回調査より2.9ポイント低い。

図表 2-3-6 NPO活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加している(属性別)

	肯定的回答					否定的回答					
	■している	□どちらかといえばしている	□どちらかといえばしていない	□していない	□わからない・不明	%	(前回差)	ポイント	%	(前回差)	ポイント
全体	8.8	11.6	11.6	65.0	2.9	20.4	(0.7)		76.6	(-0.2)	
地域											
北勢	7.3	10.7	11.4	67.8	2.8	18.0	(0.8)		79.2	(-0.4)	
伊賀	9.6	15.6	12.4	59.1	3.2	25.2	(-1.8)		71.5	(0.9)	
中南勢	9.1	11.6	11.3	65.3	2.7	20.7	(-0.2)		76.6	(1.3)	
伊勢志摩	10.9	10.9	13.3	61.4	3.5	21.8	(0.9)		74.7	(-0.1)	
東紀州	14.8	15.8	11.8	56.2	1.5	30.6	(11.9)		68.0	(-9.8)	
性別											
男性	10.1	12.9	12.9	61.3	2.8	23.0	(-0.5)		74.2	(1.3)	
女性	7.5	10.3	10.4	69.0	2.8	17.8	(1.1)		79.4	(-0.7)	
年齢											
18歳から20歳代	2.7	7.2	6.2	80.1	3.8	9.9	(-)		86.3	(-)	
30歳代	6.0	10.1	9.5	71.4	2.9	16.1	(4.0)		80.9	(-3.3)	
40歳代	5.6	7.8	11.9	72.3	2.5	13.4	(-3.2)		84.2	(3.8)	
50歳代	9.0	10.8	12.0	66.1	2.0	19.8	(0.1)		78.1	(-0.2)	
60歳代	11.2	14.0	10.6	62.2	1.9	25.2	(2.9)		72.8	(-2.4)	
70歳以上	11.0	14.2	14.6	55.7	4.5	25.2	(-1.2)		70.3	(2.2)	
主な職業											
農林水産業	15.7	19.6	13.7	49.0	2.0	35.3	(3.2)		62.7	(0.8)	
自営業・自由業	11.4	12.2	11.6	62.1	2.7	23.6	(-3.5)		73.7	(3.4)	
正規職員	6.9	9.9	12.3	68.8	2.2	16.8	(0.4)		81.1	(-0.6)	
パート・バイト・派遣	7.6	10.7	11.2	68.3	2.3	18.3	(1.5)		79.5	(-0.7)	
その他の職業	9.4	11.1	11.1	66.2	2.1	20.5	(2.6)		77.3	(0.9)	
学生	2.7	15.1	6.8	69.9	5.5	17.8	(9.5)		76.7	(-8.3)	
専業主婦・主夫	8.6	11.4	10.0	67.4	2.6	20.0	(0.9)		77.4	(-0.6)	
無職	10.2	13.0	11.9	60.5	4.4	23.2	(0.6)		72.4	(-0.3)	
配偶関係											
未婚	4.4	7.0	6.5	77.3	4.9	11.4	(0.2)		83.8	(-2.2)	
有配偶	9.7	12.7	12.6	62.6	2.3	22.4	(1.3)		75.2	(-0.8)	
離別・死別	8.2	9.6	11.0	67.5	3.6	17.8	(-2.1)		78.5	(4.2)	
世帯類型											
単独世帯	8.9	9.4	9.6	66.7	5.4	18.3	(0.9)		76.3	(-1.4)	
一世帯世帯	8.8	13.7	11.7	62.6	3.2	22.5	(2.0)		74.3	(-1.7)	
二世帯世帯	7.8	10.5	11.1	68.1	2.5	18.3	(-0.3)		79.2	(0.5)	
三世帯世帯	11.6	12.2	14.2	60.8	1.1	23.8	(0.9)		75.0	(1.7)	
世帯収入											
~100万円未満	8.2	10.3	10.7	63.9	6.8	18.5	(1.5)		74.6	(-1.2)	
~200万円未満	7.0	12.7	11.3	64.8	4.3	19.7	(2.0)		76.1	(-0.7)	
~300万円未満	8.9	13.8	10.8	63.6	2.8	22.7	(1.9)		74.4	(-1.1)	
~400万円未満	10.4	14.7	11.8	61.7	1.4	25.1	(1.8)		73.5	(-0.8)	
~500万円未満	8.0	10.8	12.5	66.7	2.0	18.8	(0.1)		79.2	(0.3)	
~600万円未満	10.7	7.9	14.8	64.9	1.8	18.6	(-2.9)		79.7	(3.8)	
~800万円未満	8.1	11.6	11.1	67.5	1.8	19.7	(3.0)		78.6	(-1.8)	
~1,000万円未満	7.2	12.0	12.0	66.3	2.4	19.2	(-0.3)		78.3	(-0.6)	
1,000万円以上	11.4	13.8	10.5	63.8	0.6	25.2	(3.1)		74.3	(-1.6)	

※「肯定的回答」の割合・・・「している」と「どちらかといえばしている」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「否定的回答」の割合・・・「していない」と「どちらかといえばしていない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問9 魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると感じますか。

(関連する県の施策：農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出)

- 魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が45.2%で、『実感していない層』の割合(34.9%)より10.3ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.1ポイント高く、『実感していない層』が1.3ポイント低くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・伊勢志摩の『実感している層』は全体より3.5ポイント高いが、前回調査より1.7ポイント低い。
 - ・女性の『実感している層』は全体より4.1ポイント高く、男性より7.9ポイント高い。
 - ・40歳代の『実感している層』は全体より4.8ポイント高く、前回調査より0.4ポイント高い。
 - ・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より6.1ポイント高く、前回調査より4.5ポイント高い。
 - ・単独世帯の『実感している層』は全体より4.9ポイント低いが、前回調査より5.0ポイント高い。
 - ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感していない層』は全体より3.0ポイント高く、前回調査より2.7ポイント高い。

図表 2-3-7 魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されている(属性別)

		実感している層					実感していない層		
		%					%		
		ポイント					ポイント		
		(前回差)					(前回差)		
		%					%		
■感じる □どちらかといえば感じる ▨どちらかといえば感じない ▩感じない ◻わからない・不明									
全体	8.1	37.1	19.5	15.4	19.9	45.2	(3.1)	34.9	(-1.3)
地域									
北勢	7.8	35.1	20.4	16.5	20.1	42.9	(4.5)	36.9	(-1.5)
伊賀	6.4	34.7	19.0	18.3	21.7	41.1	(1.3)	37.3	(-0.6)
中南勢	9.7	39.0	19.5	13.0	18.8	48.7	(3.4)	32.5	(-1.9)
伊勢志摩	6.8	41.9	18.3	14.2	18.9	48.7	(-1.7)	32.5	(2.1)
東紀州	7.9	39.9	15.8	14.8	21.7	47.8	(7.8)	30.6	(-8.9)
性別									
男性	6.8	34.6	22.2	19.4	17.0	41.4	(2.7)	41.6	(-1.7)
女性	9.5	39.8	17.2	11.7	21.8	49.3	(4.6)	28.9	(-2.2)
年齢									
18歳から20歳代	10.0	35.7	16.2	10.0	28.2	45.7	(-)	26.2	(-)
30歳代	9.0	37.5	16.7	13.9	22.8	46.5	(2.6)	30.6	(-3.0)
40歳代	8.9	41.1	18.2	14.9	16.8	50.0	(0.4)	33.1	(1.8)
50歳代	8.3	38.3	20.5	15.5	17.5	46.6	(2.8)	36.0	(-3.0)
60歳代	7.2	37.5	21.9	17.2	16.2	44.7	(6.0)	39.1	(-3.4)
70歳以上	8.1	33.5	19.2	15.7	23.5	41.6	(3.1)	34.9	(0.5)
主な職業									
農林水産業	7.2	43.8	19.6	12.4	17.0	51.0	(9.0)	32.0	(-6.1)
自営業・自由業	10.1	36.2	20.6	17.1	16.0	46.3	(2.1)	37.7	(-2.0)
正規職員	7.3	38.7	21.1	16.5	16.4	46.0	(1.3)	37.6	(-0.2)
パート・アルバイト・派遣	9.7	39.6	16.6	12.8	21.3	49.3	(6.8)	29.4	(-6.7)
その他の職業	5.1	35.5	22.2	19.7	17.5	40.6	(1.2)	41.9	(5.0)
学生	13.7	30.1	24.7	5.5	26.0	43.8	(0.5)	30.2	(-3.1)
専業主婦・主夫	10.3	41.0	16.8	11.4	20.5	51.3	(4.5)	28.2	(-1.2)
無職	6.7	32.1	20.3	17.3	23.6	38.8	(2.8)	37.6	(0.1)
配偶関係									
未婚	9.5	33.7	18.9	13.8	24.1	43.2	(1.4)	32.7	(-1.7)
有配偶	8.1	38.0	20.3	15.4	18.2	46.1	(3.0)	35.7	(-1.9)
離別・死別	6.8	36.8	15.5	16.3	24.6	43.6	(4.6)	31.8	(-0.3)
世帯類型									
単独世帯	8.0	32.3	19.0	16.6	24.1	40.3	(5.0)	35.6	(-0.1)
一世代世帯	8.2	37.2	18.8	16.3	19.5	45.4	(6.6)	35.1	(-4.2)
二世帯世帯	8.1	38.3	20.1	14.9	18.6	46.4	(1.0)	35.0	(0.1)
三世帯世帯	9.0	39.2	19.5	13.6	18.7	48.2	(3.2)	33.1	(-1.3)
世帯収入									
～100万円未満	6.9	29.6	15.9	17.6	30.0	36.5	(0.8)	33.5	(2.5)
～200万円未満	7.0	32.7	17.0	20.6	22.7	39.7	(4.8)	37.6	(0.6)
～300万円未満	7.9	36.8	20.8	16.1	18.5	44.7	(5.4)	36.9	(-1.1)
～400万円未満	8.3	37.7	20.7	17.2	16.1	46.0	(1.2)	37.9	(-0.3)
～500万円未満	5.9	42.2	17.0	14.2	20.6	48.1	(1.7)	31.2	(-4.3)
～600万円未満	8.1	38.7	23.5	13.8	16.0	46.8	(2.7)	37.3	(0.1)
～800万円未満	9.5	42.2	18.0	14.2	16.1	51.7	(5.9)	32.2	(-6.1)
～1,000万円未満	9.9	38.9	22.6	12.3	16.3	48.8	(2.5)	34.9	(-2.8)
1,000万円以上	7.8	40.3	23.8	14.1	14.0	48.1	(1.3)	37.9	(2.7)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問 10 得たいと思う県の情報が、得られていると感じますか。

(関連する県の施策：広聴広報の充実)

- 得たいと思う県の情報が、得られているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が30.0%で、『実感していない層』の割合(49.4%)より19.4ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.2ポイント低く、『実感していない層』が0.6ポイント高くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・ 東紀州の『実感している層』は全体より1.0ポイント低いが、前回調査より4.7ポイント高くなっている。
 - ・ 女性の『実感している層』は全体より1.0ポイント高く、男性より2.1ポイント高い。
 - ・ 30歳代の『実感していない層』は全体より2.9ポイント低く、前回調査より4.8ポイント低くなっている。
 - ・ 70歳以上の『実感している層』は全体より5.5ポイント高いが、前回調査より1.7ポイント低くなっている。
 - ・ パート・バイト・派遣の『実感している層』は全体より1.5ポイント低いが、前回調査より3.0ポイント高くなっている。
 - ・ 学生の『実感している層』は全体より2.6ポイント低く、前回調査より10.9ポイント低い。
 - ・ 世帯収入が800万円～1,000万円未満の層の『実感している層』は全体より4.4ポイント高く、前回調査より2.7ポイント高い。

図表 2-3-8 得たいと思う県の情報が、得られている(属性別)

					実感している層		実感していない層		
■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					%	(前回差) ポイント	%	(前回差) ポイント	
全体	3.3	26.7	28.3	21.1	20.6	30.0	(-0.2)	49.4	(0.6)
地域									
北勢	3.6	27.6	26.9	20.4	21.6	31.2	(1.2)	47.3	(-1.5)
伊賀	2.6	22.0	30.3	24.3	20.8	24.6	(-1.3)	54.6	(1.6)
中南勢	3.3	28.8	29.7	20.2	18.0	32.1	(0.1)	49.9	(1.4)
伊勢志摩	2.7	23.6	29.5	22.9	21.4	26.3	(-6.1)	52.4	(7.5)
東紀州	4.4	24.6	26.6	21.2	23.2	29.0	(4.7)	47.8	(-6.1)
性別									
男性	2.9	26.0	31.0	23.9	16.2	28.9	(-1.6)	54.9	(3.9)
女性	3.6	27.4	26.1	18.9	23.9	31.0	(1.2)	45.0	(-2.5)
年齢									
18歳から20歳代	4.8	24.4	23.4	19.9	27.5	29.2	(-)	43.3	(-)
30歳代	3.8	24.5	22.3	24.2	25.0	28.3	(3.1)	46.5	(-4.8)
40歳代	2.8	26.9	30.2	22.1	18.0	29.7	(-0.1)	52.3	(4.6)
50歳代	2.4	24.6	29.8	22.3	21.0	27.0	(-2.3)	52.1	(-1.2)
60歳代	2.5	26.7	32.4	20.9	17.5	29.2	(1.7)	53.3	(0.7)
70歳以上	5.0	30.5	25.2	18.8	20.6	35.5	(-1.7)	44.0	(2.3)
主な職業									
農林水産業	2.0	27.5	35.3	17.6	17.7	29.5	(-4.1)	52.9	(7.8)
自営業・自由業	2.5	26.7	27.2	23.4	20.2	29.2	(-1.8)	50.6	(-1.0)
正規職員	2.6	26.0	31.0	23.0	17.3	28.6	(0.6)	54.0	(1.8)
パート・バイト・派遣	3.0	25.5	26.3	22.8	22.4	28.5	(3.0)	49.1	(-4.4)
その他の職業	1.7	21.8	30.3	25.6	20.5	23.5	(-5.4)	55.9	(8.4)
学生	1.4	26.0	30.1	12.3	30.1	27.4	(-10.9)	42.4	(-0.9)
専業主婦・主夫	4.6	32.1	27.6	15.2	20.5	36.7	(1.9)	42.8	(-0.4)
無職	4.7	27.3	26.9	19.3	21.8	32.0	(-0.7)	46.2	(0.8)
配偶関係									
未婚	2.9	23.6	25.7	20.9	26.8	26.5	(-0.8)	46.6	(-1.0)
有配偶	3.5	28.0	29.5	20.8	18.3	31.5	(0.5)	50.3	(0.4)
離別・死別	2.4	24.2	24.0	23.5	25.8	26.6	(-3.7)	47.5	(2.2)
世帯類型									
単独世帯	2.8	23.2	27.6	23.7	22.7	26.0	(-3.8)	51.3	(4.4)
一世代世帯	3.7	28.0	28.9	21.5	18.0	31.7	(1.9)	50.4	(0.3)
二世代世帯	3.1	26.8	28.0	21.2	20.9	29.9	(-0.8)	49.2	(-0.1)
三世代世帯	3.4	27.1	30.3	18.4	20.7	30.5	(0.3)	48.7	(0.7)
世帯収入									
～100万円未満	3.9	23.6	21.5	23.2	27.9	27.5	(-1.0)	44.7	(0.3)
～200万円未満	3.0	23.3	27.2	25.4	21.1	26.3	(-2.6)	52.6	(4.2)
～300万円未満	3.1	24.0	28.7	23.0	21.2	27.1	(-4.5)	51.7	(3.9)
～400万円未満	3.8	29.6	29.9	19.9	16.7	33.4	(3.9)	49.8	(-0.4)
～500万円未満	2.6	29.2	26.2	22.6	19.4	31.8	(0.1)	48.8	(-2.0)
～600万円未満	4.3	26.6	33.1	19.7	16.2	30.9	(0.3)	52.8	(2.1)
～800万円未満	3.8	28.1	27.5	20.9	19.6	31.9	(1.1)	48.4	(-3.1)
～1,000万円未満	3.1	31.3	32.2	18.5	14.9	34.4	(2.7)	50.7	(1.3)
1,000万円以上	2.2	28.9	32.4	19.2	17.3	31.1	(-0.3)	51.6	(-1.1)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

4. ご家族に関すること

これまでの調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなえられるようにしていくことが必要であるとしています。また、県民の意識などの変化を継続的に把握することも重要です。

ここでは、「結婚に対する考え方」、「理想の子どもの数と現実」、「結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについての考え方」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
結婚経験	あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。 (問11)
結婚に対する考え方	(問11で「未婚」、「既婚・死別」、「既婚・離別」と回答した方へ) ・今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。 (1) いずれ結婚するつもり (2) 結婚するつもりはない (問13)
理想の子どもの数	・あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。 (問14)
子どもの数	・お子さんは何人いらっしゃいますか。 (お子さんがいらっしゃる方へ) ・お子さんの年齢をご記入ください。 (問15)
(参考集計) 子どもの数の理想と現実のギャップ	・理想の子どもの数(問14)と現在の子どもの数(問15)との関係
結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについての考え方	・結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、次の例の中からあなた自身のお考えとして賛成できるものすべてに○をつけてください。 (問17)
家事や育児・子どもの世話、介護などの時間	・あなたは1日の中で、家事(炊事、洗たく、そうじなど)や育児・子どもの世話、介護などにどのくらい時間をかけていますか。平日と休日に分けてお答えください。 (問18)

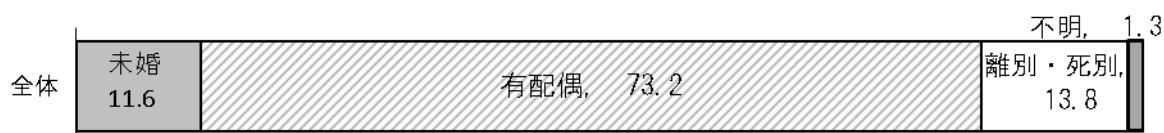
あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。

問 1 1

➤ 結婚経験

- 回答者の配偶関係は、「未婚」が 11.6%、「有配偶」が 73.2%、「離別・死別」が 13.8%となっています。

図表 2-4-1 配偶関係



今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。問 1 3

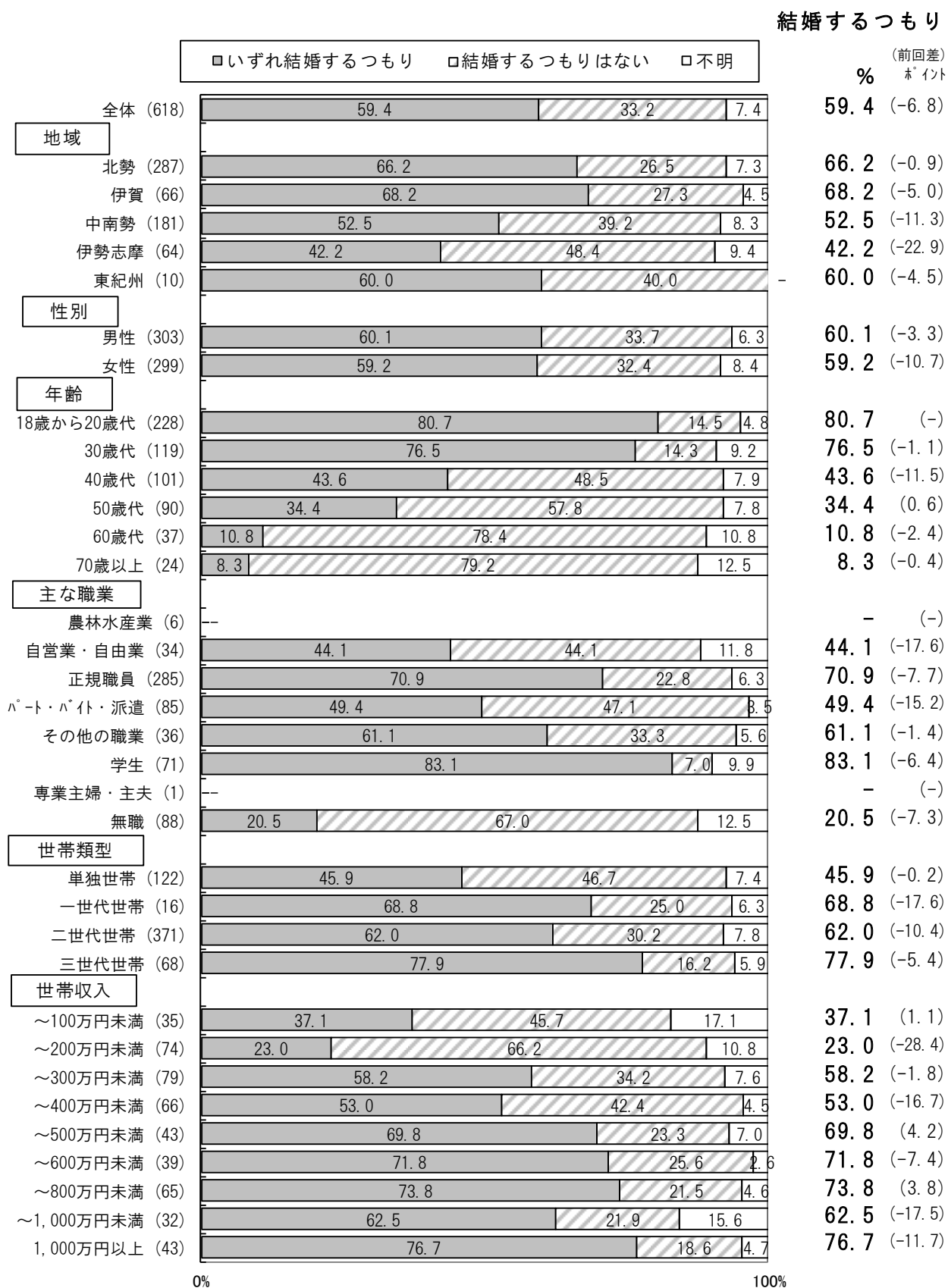
➤ 結婚に対する考え方

- 未婚の方または離別・死別した方に対して、結婚に対する考え方を質問したところ、未婚は「いずれ結婚するつもり」が 59.4%、「結婚するつもりはない」が 33.2%となっています。離別・死別は「いずれ結婚するつもり」が 11.0%、「結婚するつもりはない」が 77.0%となっています。
- 未婚も離別・死別も「いずれ結婚するつもり」が第3回調査及び前回調査より低くなっています。
- 「未婚」における属性や属性項目の主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）
 - ・年齢（10歳階級）別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、20歳代（80.7%）、30歳代（76.5%）は全体より高い。
 - ・主な職業別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、学生（83.1%）及び正規職員（70.9%）は全体より高い。

図表 2-4-2 結婚に対する考え方



図表 2-4-3 「未婚」の結婚に対する考え方(属性別)



※ () 内はサンプル数です。

※農林水産業及び専業主婦・主夫はサンプル数が少ないため、非表示としています。

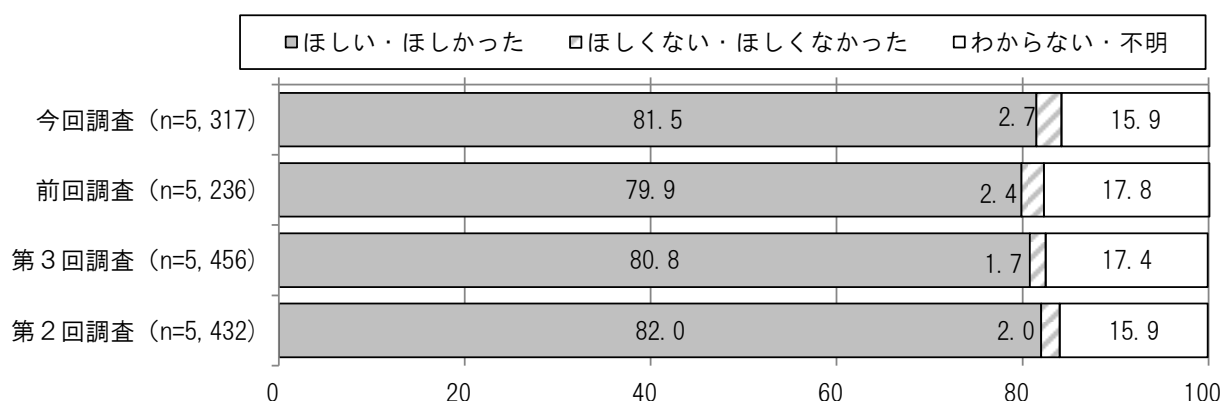
あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は()に人数も記入してください。)

問14

➤ **子どもを希望する割合**

- 子どもの希望を質問したところ、「子どもがほしい・ほしかった」の割合は 81.5%で、前回調査より 1.6 ポイント高くなっています。

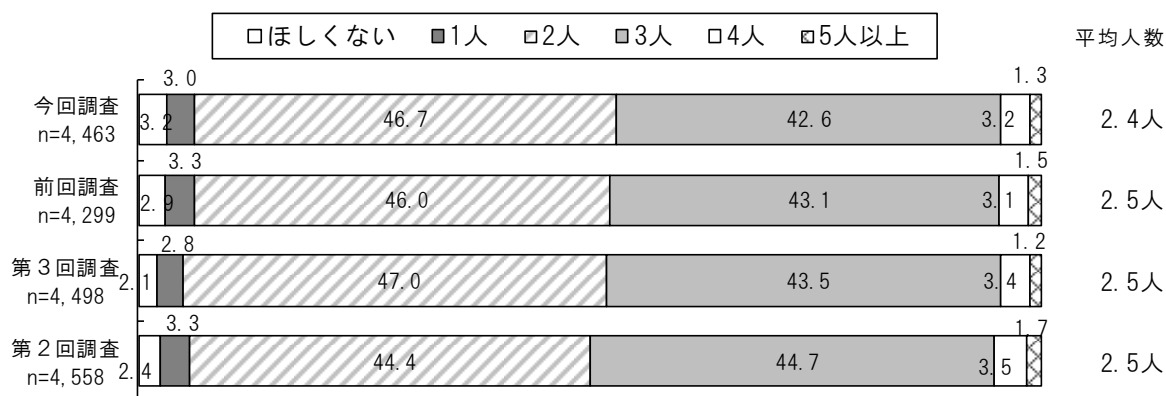
図表 2-4-4 子どもを希望する割合



➤ **理想の子どもの数**

- 理想の子どもの数について、「2人」の割合が 46.7%で最も高く、次いで「3人」(42.6%)となっています。前回調査と比較すると「0人(ほしくない、ほしくなかった)」及び「2人」などの割合が高くなった一方、「1人」、「3人」、「5人以上」の割合は低くなっています。理想の子どもの数の平均は 2.4 人で、前回調査より 0.1 人少なくなっています。

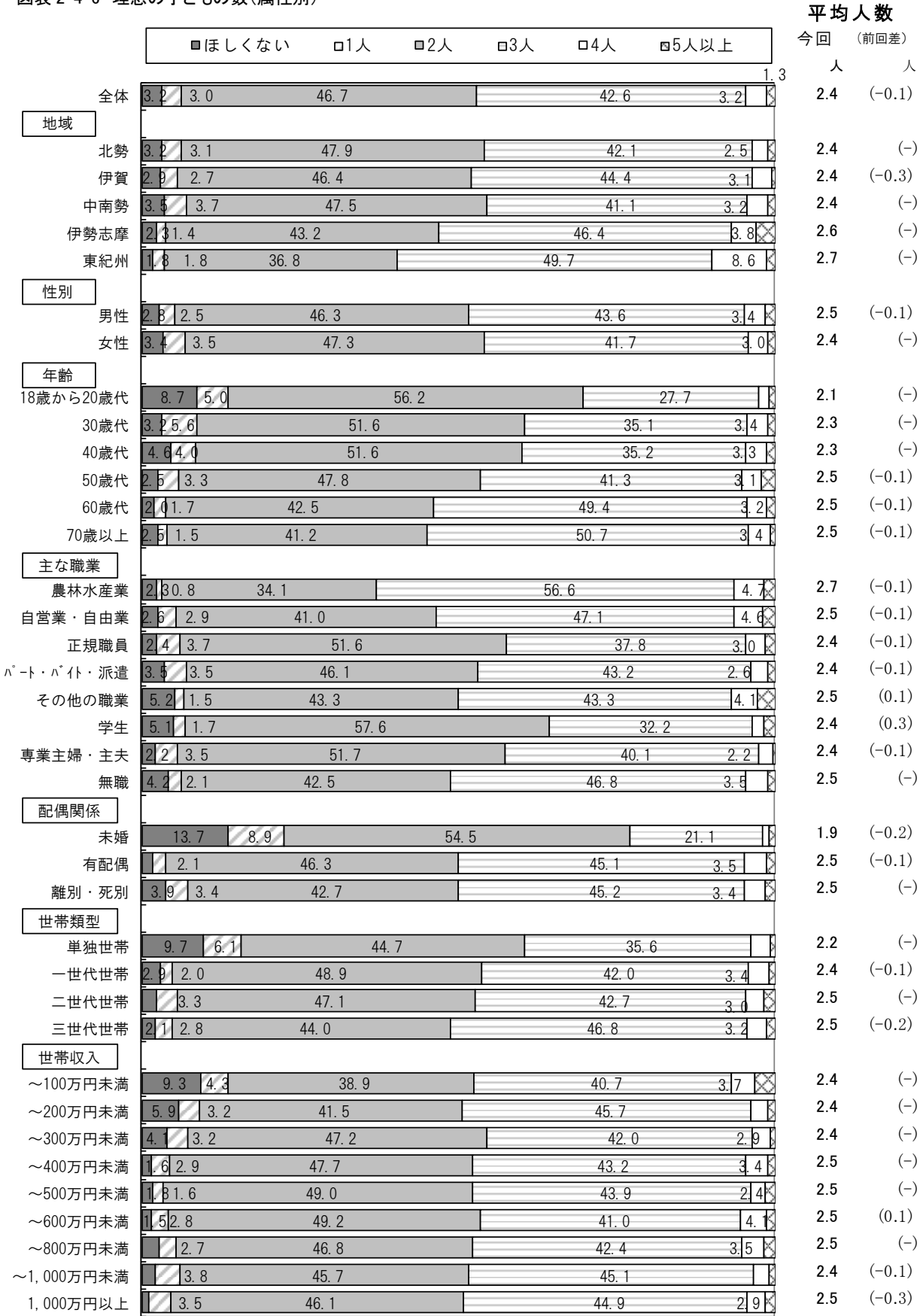
図表 2-4-5 理想の子どもの数の推移



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。

※平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

図表 2-4-6 理想の子どもの数(属性性別)



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。
 ※平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

お子さんは何人いらっしゃいますか。いない方は「0」とお答えください。

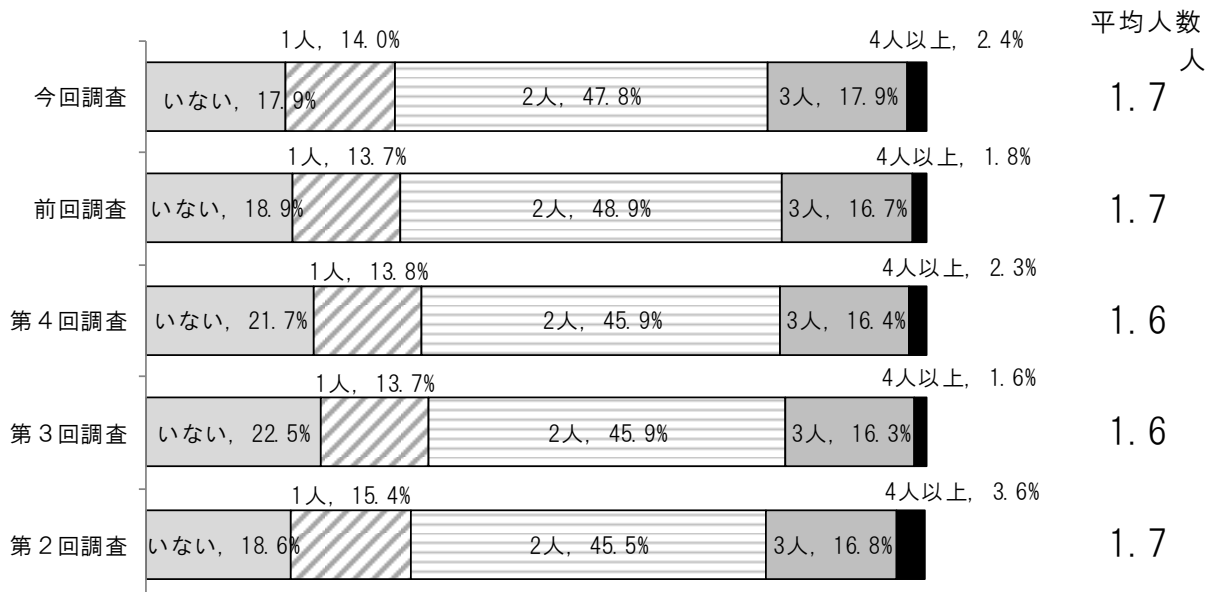
問 15

➤ 子どもの数

○ 実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が47.8%、「いない」と「3人」が17.9%、「1人」が14.0%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.7人で前回調査と同数になっています。

図表 2-4-7 子どもの数



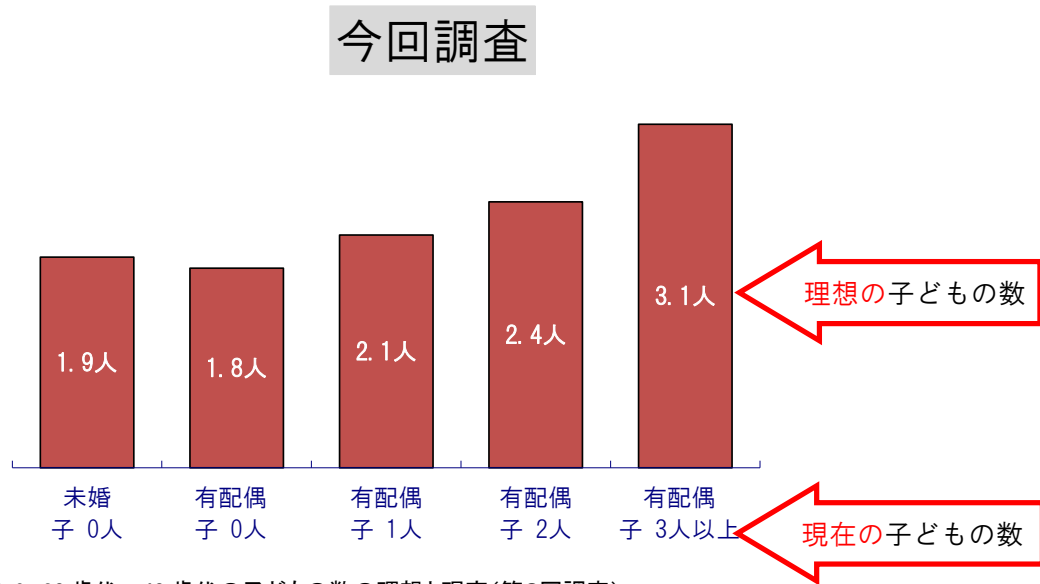
※「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出しています。

子どもの数の理想と現実のギャップ (参考集計)

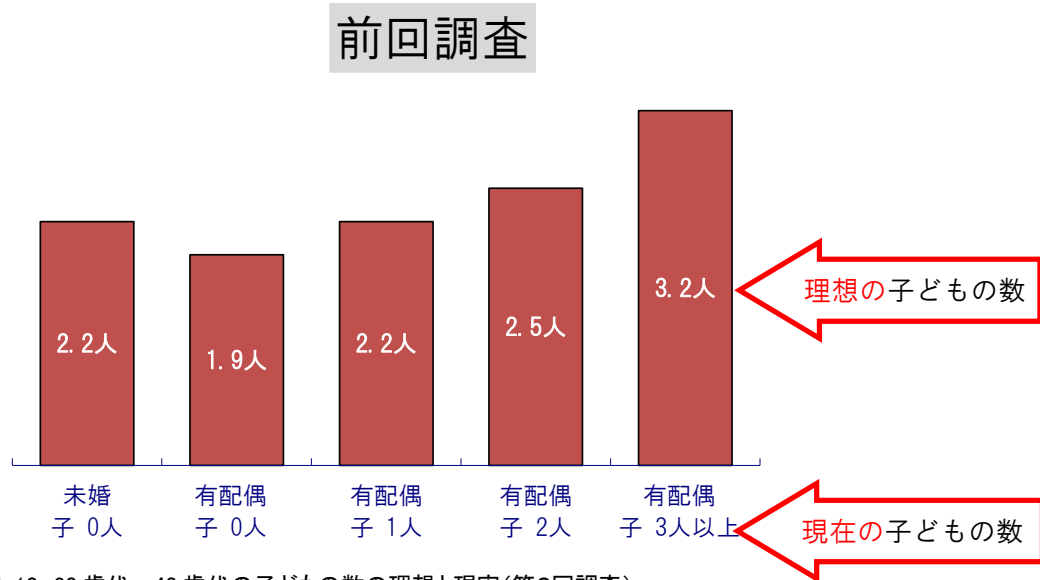
○ 20歳代～40歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもいない層は1.9人、有配偶で子どもがいない層は1.8人、有配偶で子ども1人の層は2.1人、有配偶で子ども2人の層は2.4人、有配偶で子ども3人以上の層は3.1人で、実際の子どもの数は理想の数より少なく、前回調査と同様の結果となっています。

前回調査と比べると理想の子どもの数は、未婚で子どもがいない層で0.3人、有配偶で子ども0人、有配偶で子ども1人、有配偶で子ども2人、有配偶で子ども3人以上の層で、それぞれ0.1人ずつ減少しています。

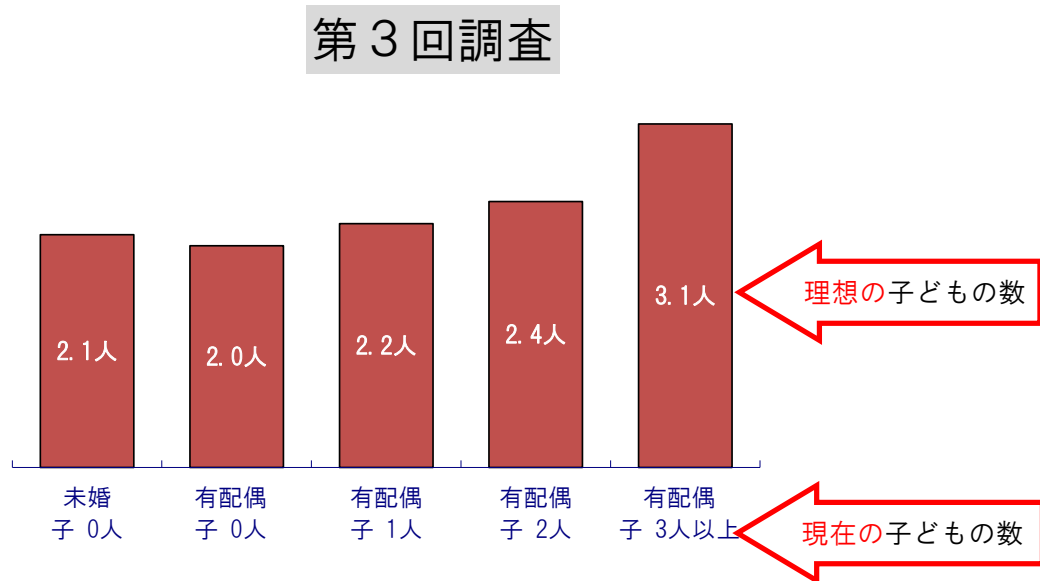
図表 2-4-8 20 歳代～40 歳代の子ども数の理想と現実(今回調査)



図表 2-4-9 20 歳代～40 歳代の子ども数の理想と現実(第3回調査)



図表 2-4-10 20 歳代～40 歳代の子ども数の理想と現実(第2回調査)



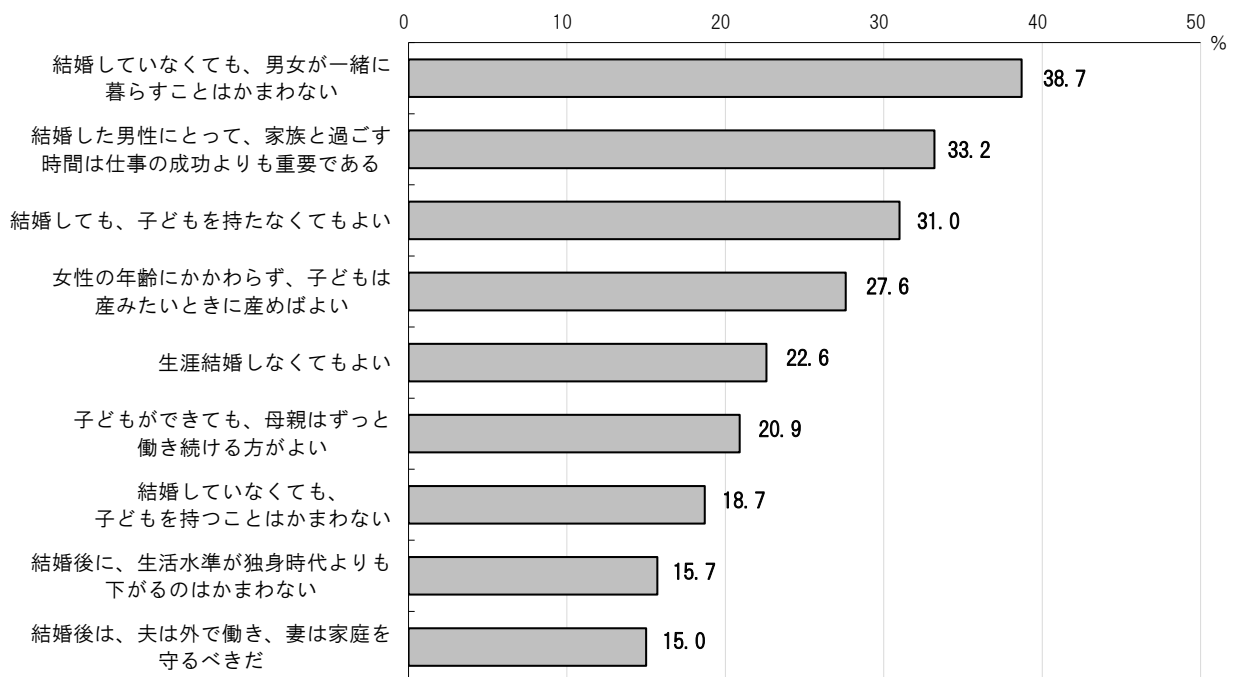
結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、次の例の中からあなた自身のお考えとして賛成できるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)
 ※本問では、賛成・反対の立場が取りやすいよう断定的な表現を用いています。
 また、必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

問17

➤ 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについての考え方

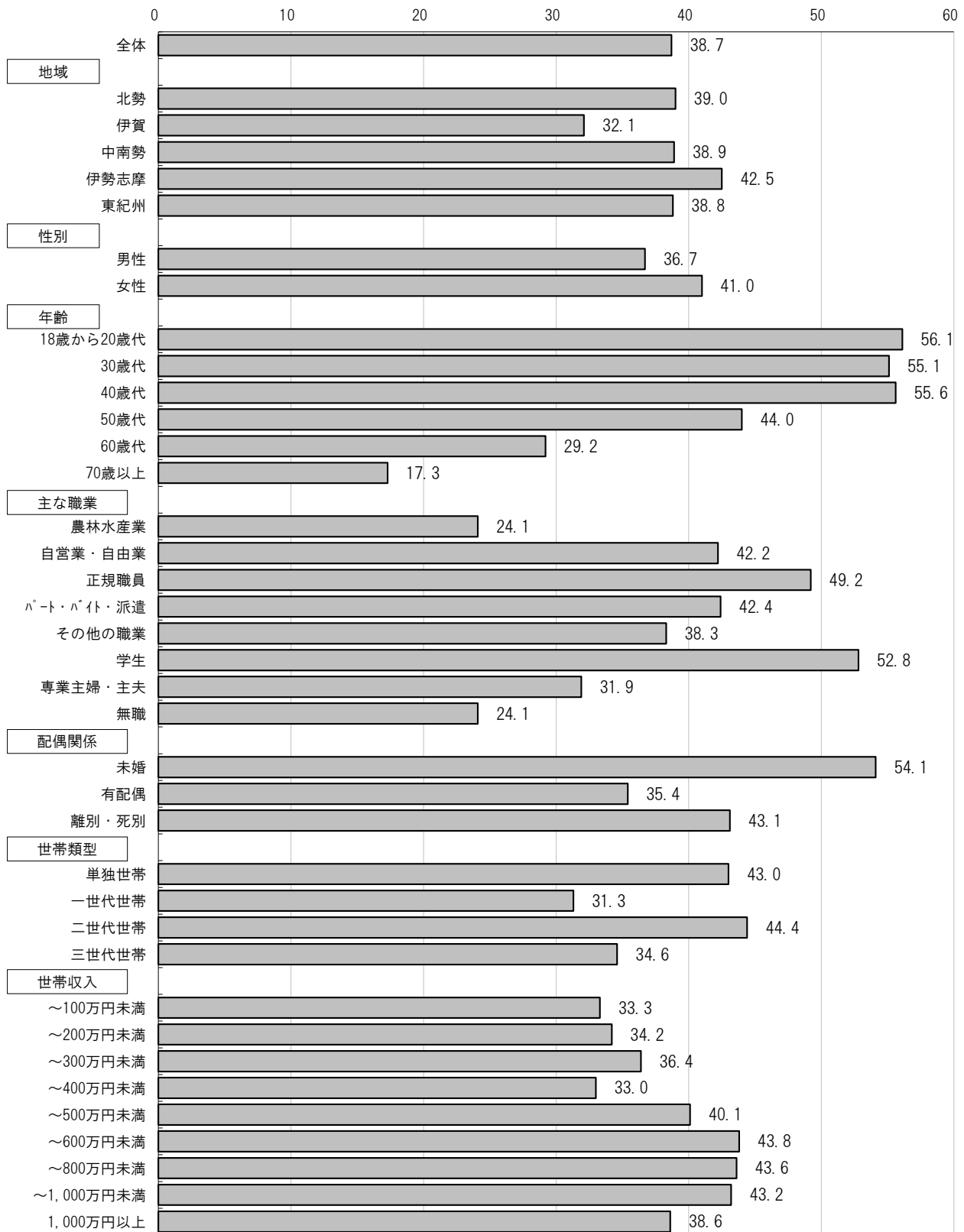
- 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについて、賛成できる考え方を質問したところ、「結婚してなくても、男女が一緒に暮らすことはかまわない」の割合が38.7%と最も高く、次いで「結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要である」(33.2%)、「結婚しても、子どもを持たなくてもよい」(31.0%)の順となっています。
- 属性別における主な特徴は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・男性は、「結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要である」、「結婚後に、生活水準が独身時代よりも下がるのはかまわない」、「結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」の割合が女性より5ポイント以上高い。
 - ・女性は、「結婚しても、子どもを持たなくてもよい」、「生涯結婚しなくてもよい」の割合が男性より5ポイント以上高い。

図表 2-4-11 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについて、賛成できる考え方

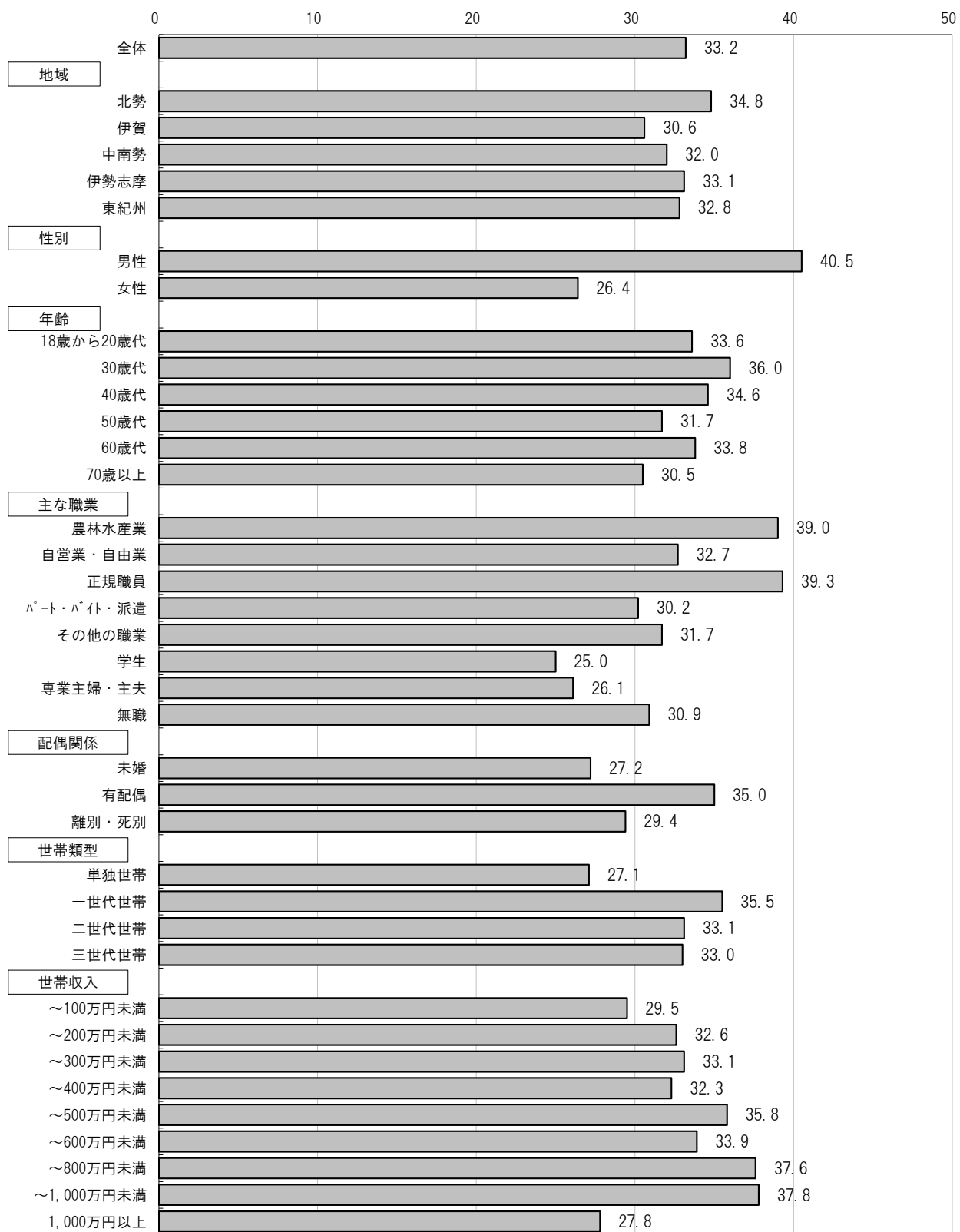


図表 2-4-12 「結婚してなくても、男女が一緒に暮らすことはかまわない」に賛成できる割合(属性別)

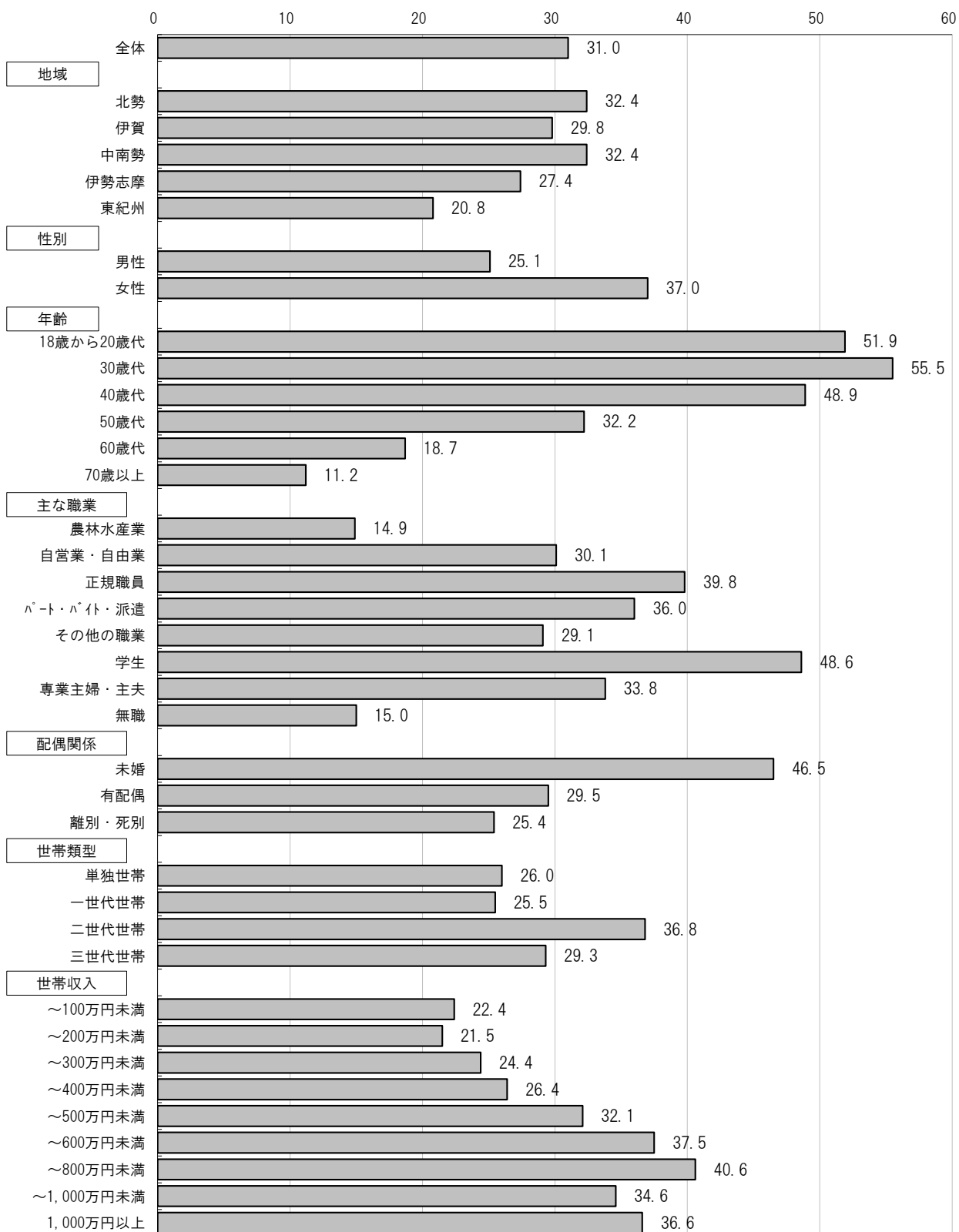
(%)



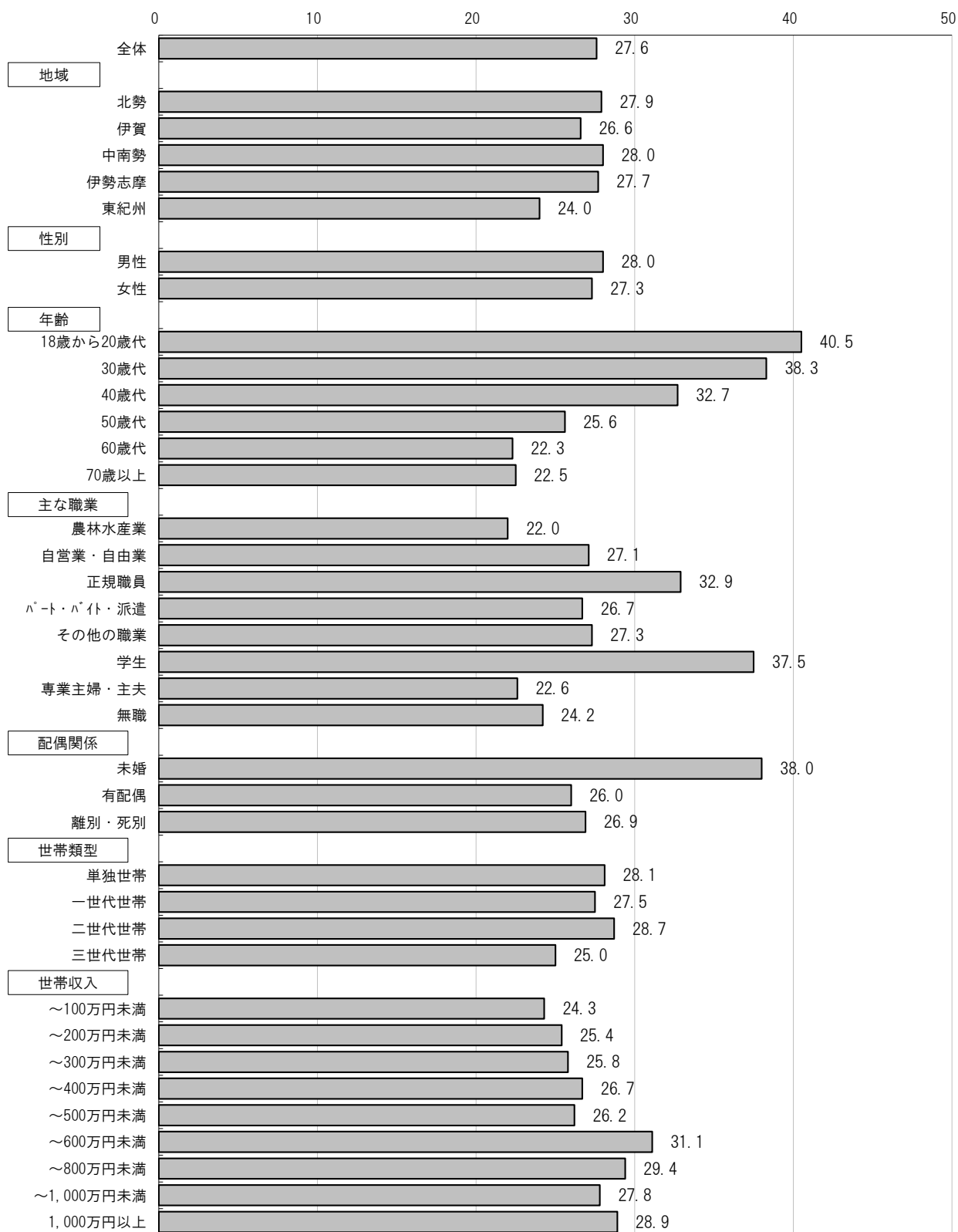
図表 2-4-13 「結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要である」に賛成できる割合（属性別） (%)



図表 2-4-14 「結婚しても、子どもを持たなくてもよい」に賛成できる割合(属性別) (%)

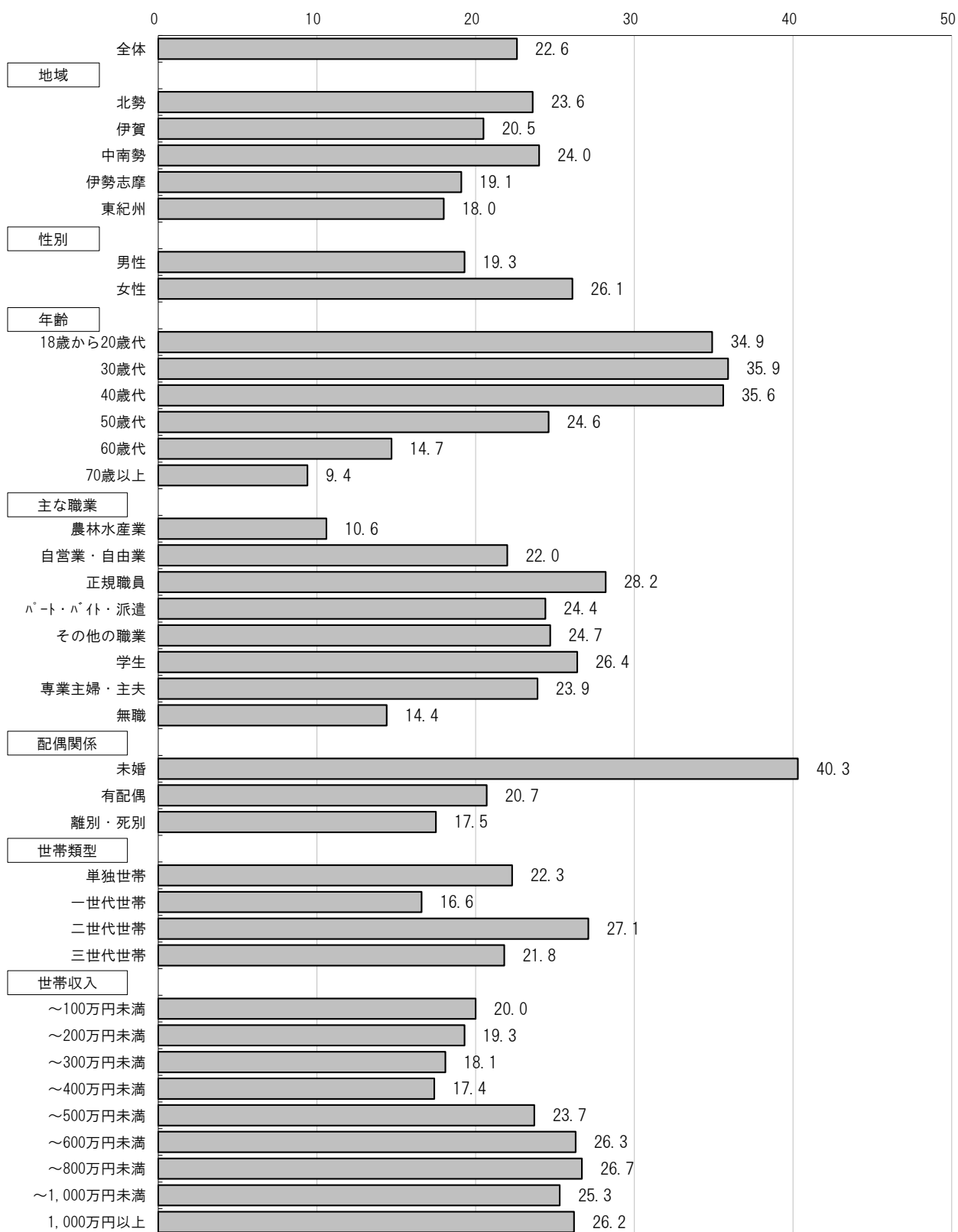


図表 2-4-15 「女性の年齢にかかわらず、子どもは産みたいときに産めばよい」に賛成できる割合(属性別) (%)



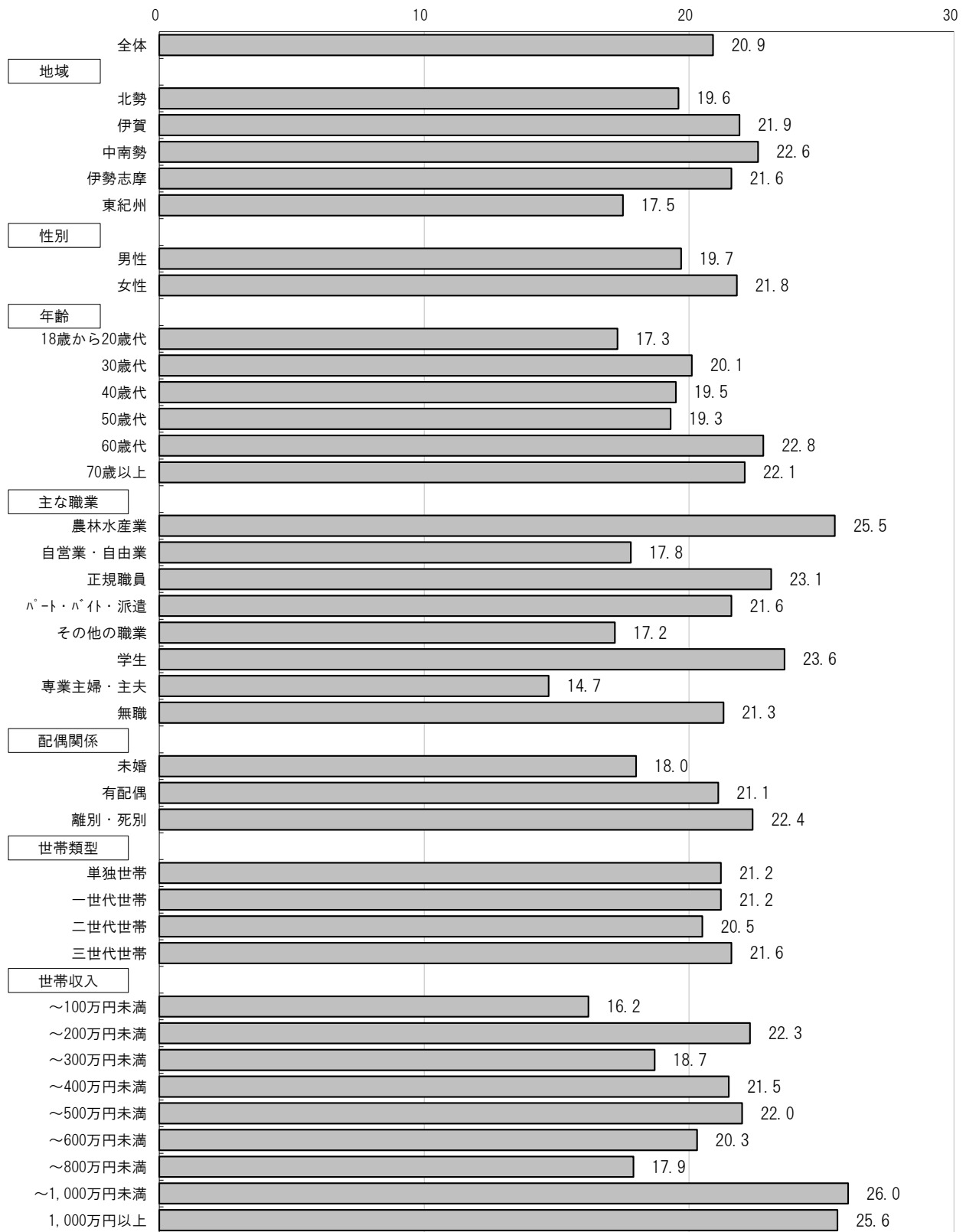
図表 2-4-16 「生涯結婚しなくてもよい」に賛成できる割合(属性別)

(%)



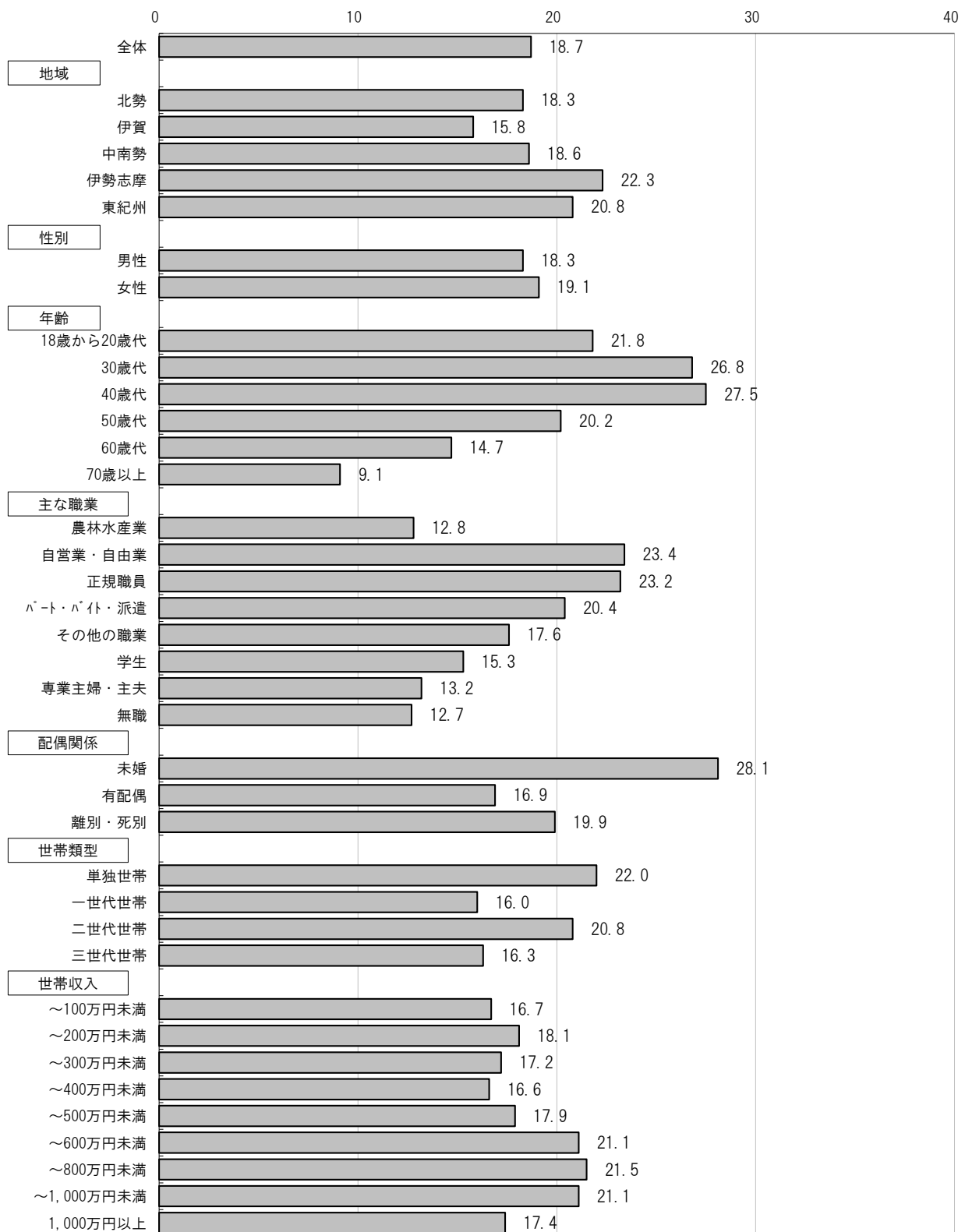
図表 2-4-17 「子どもができて、母親はずっと働き続ける方がよい」に賛成できる割合(属性別)

(%)



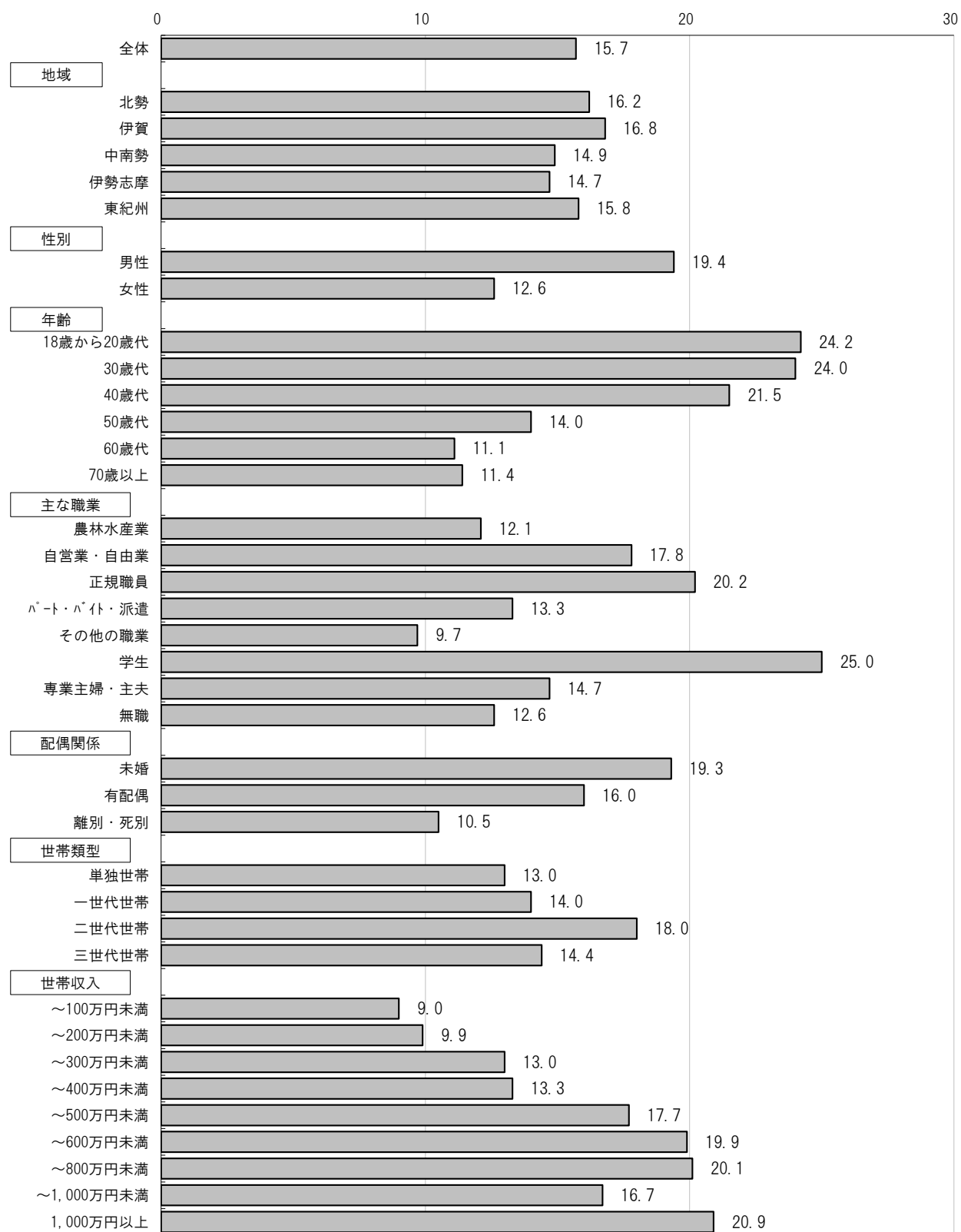
図表 2-4-18 「結婚してなくても、子どもを持つことはかまわない」に賛成できる割合(属性別)

(%)



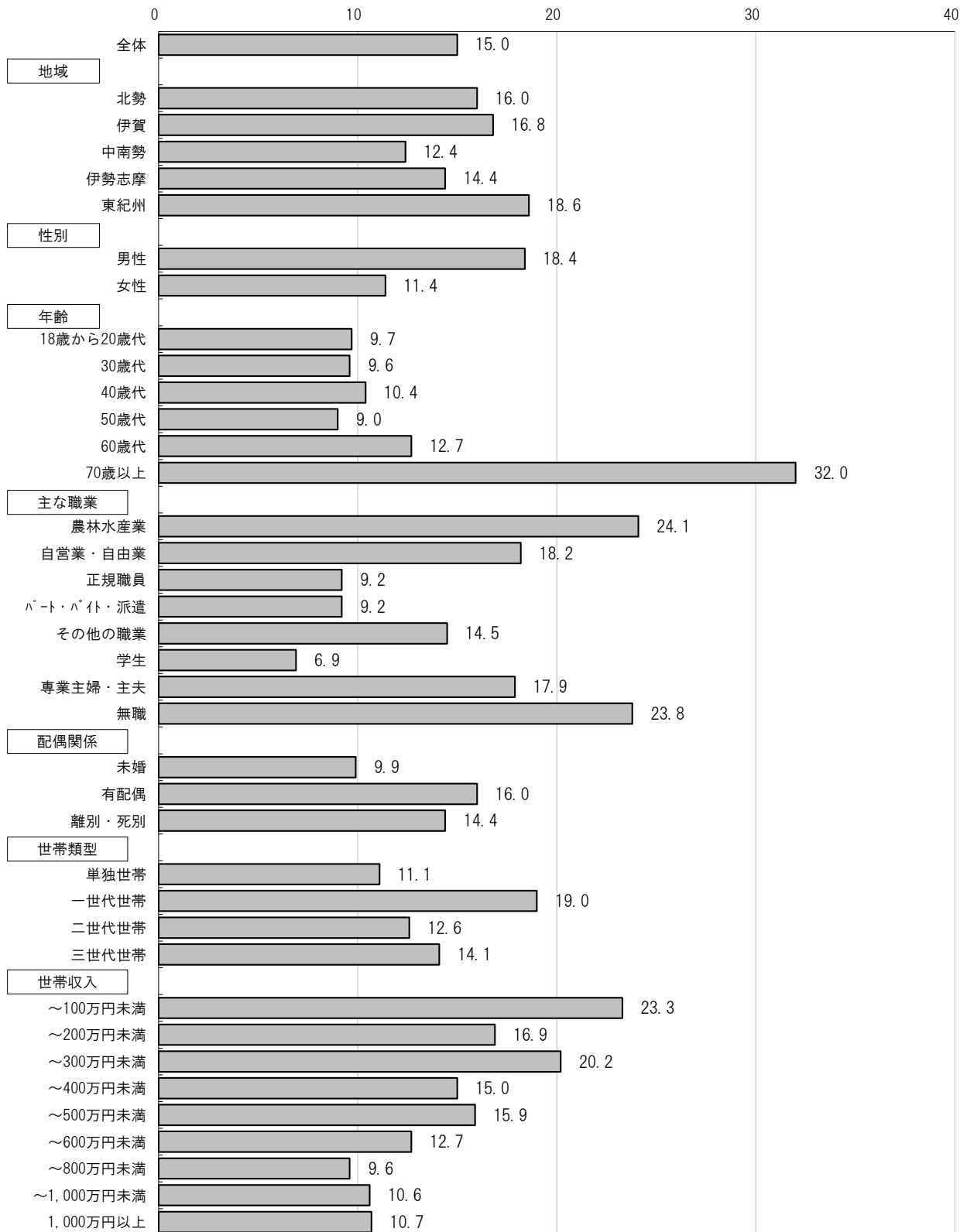
図表 2-4-19 「結婚後に、生活水準が独身時代よりも下がるのはかまわない」に賛成できる割合(属性別)

(%)



図表 2-4-20 「結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」に賛成できる割合(属性別)

(%)



あなたは1日の中で、家事（炊事、洗たく、そうじなど）や育児・子どもの世話、介護などどのくらい時間をかけていますか。平日と休日に分けてお答えください。

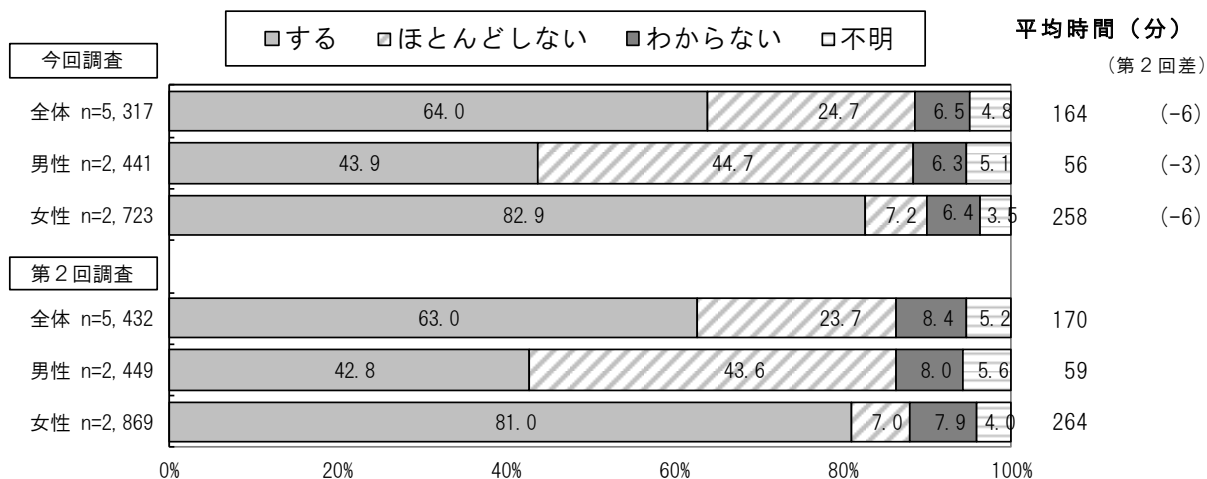
（○は1つずつ。「1」に○をつけた方は（ ）に時間も書いてください。おおよその時間でかまいません。）

問18

➤ 家事や育児・子どもの世話、介護などの時間【平日】

- 平日の家事や育児・子どもの世話、介護の時間について質問したところ、「する」の割合が64.0%、「ほとんどしない」の割合が24.7%となっています。
また、平均時間は164分（2時間44分）となっており、前回調査から6分短くなっています。
- 第2回調査と比べると、回答者全体、男女いずれにおいても、「する」の割合が高くなっている一方で、平均時間は短くなっています。
- 属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）
 - ・ 性別では、男性は「ほとんどしない」の割合が「する」の割合より高く、女性は「する」の割合が「ほとんどしない」の割合より高い。女性の「する」の割合は82.9%で、男性（43.9%）より、39.0ポイント高い。
平均時間をみると、女性は258分（4時間18分）である一方、男性は56分となっている。
 - ・ 年齢別では、18歳から20歳代以外の年代は「する」の割合が「ほとんどしない」の割合より高い。40歳以上の年代でみると、年代が若いほど「する」の割合が高くなる傾向にある。
平均時間をみると、30歳代は239分（3時間59分）と年代の中で最も長く、20歳代は118分（1時間58分）で最も短い。
 - ・ 世帯収入別では、年間収入額が高くなるほど「ほとんどしない」の割合が高くなる傾向にある。
平均時間は世帯収入額が高くなるほど短くなる傾向にある。

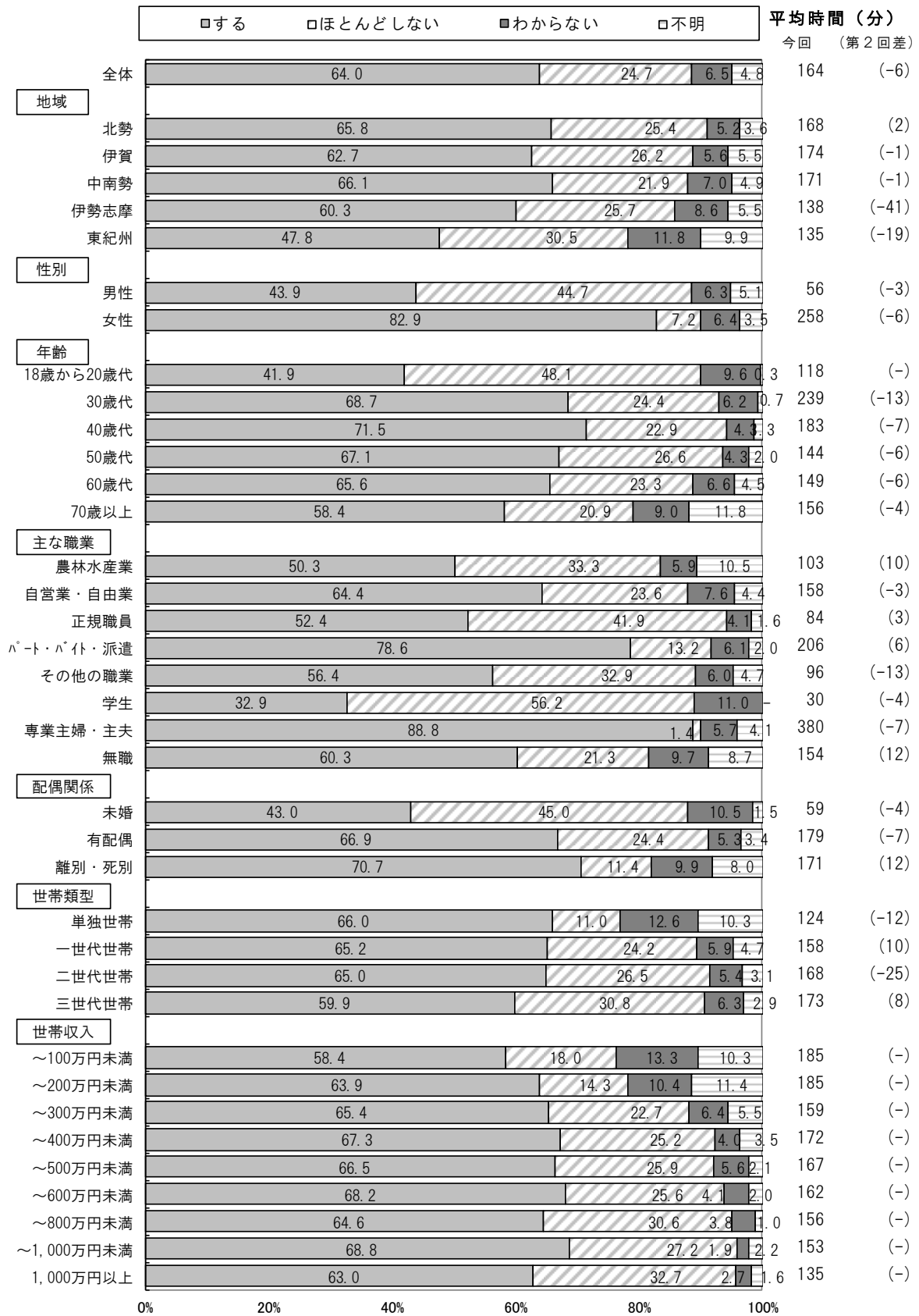
図表 2-4-21 家事や育児、子どもの世話、介護などの時間【平日】(第2回調査との比較)



※ 「する」または「ほとんどしない」と回答した人を対象に平均時間を算出

※ 平均時間については「ほとんどしない」の回答を「0分」とし、「する」の回答者のうち時間が明記された回答をもとに算出

図表 2-4-22 家事や育児・子どもの世話、介護などの時間【平日】(属性別)



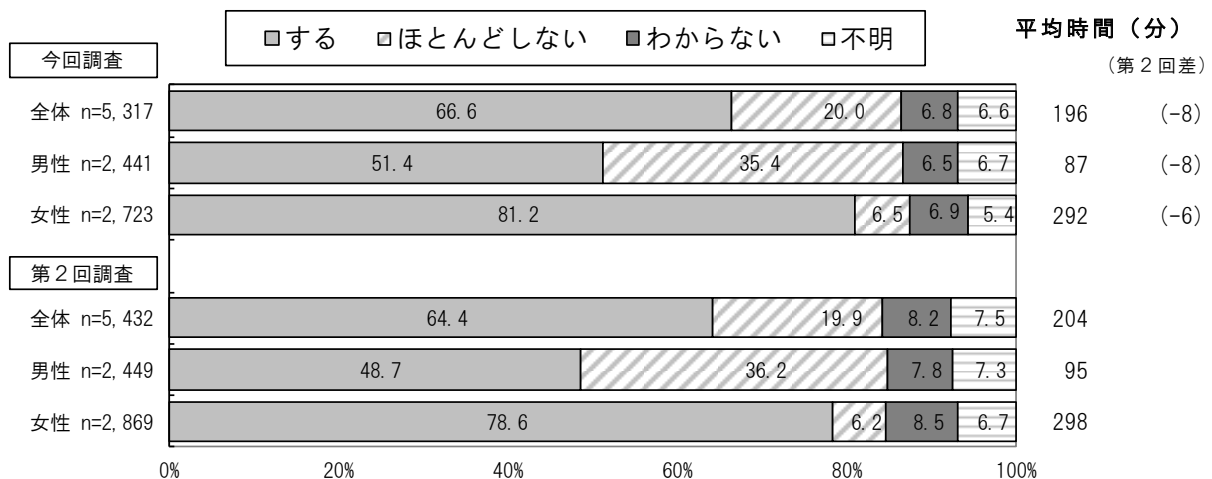
※ 「する」または「ほとんどしない」と回答した人を対象に平均時間を算出

※ 平均時間については「ほとんどしない」の回答を「0分」とし、「する」の回答者のうち時間が明記された回答をもとに算出

➤ 家事や育児・子どもの世話、介護などの時間【休日】

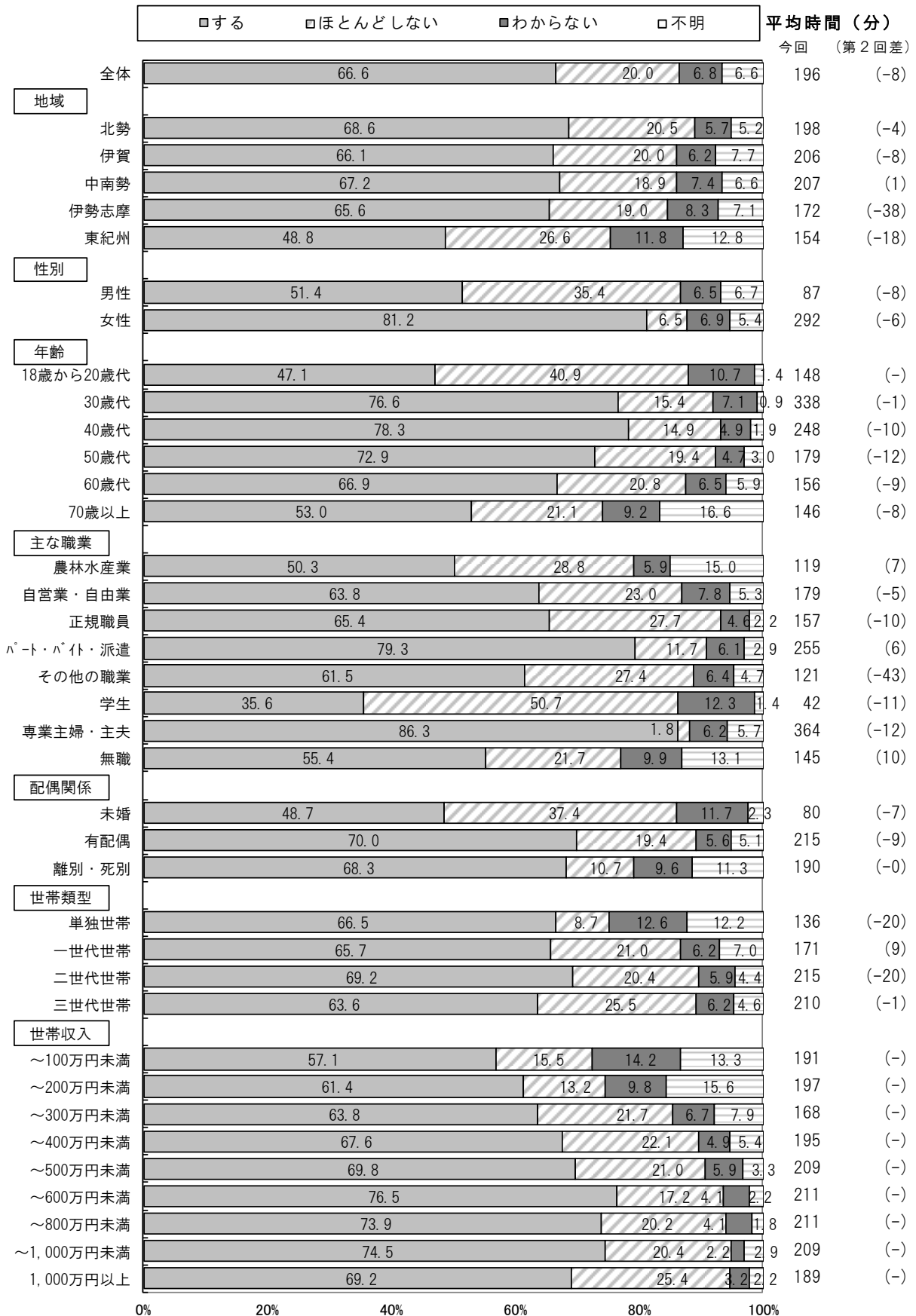
- 休日の家事や育児・子どもの世話、介護の時間について質問したところ、「する」の割合が66.6%、「ほとんどしない」の割合が20.0%となっています。
また、平均時間は196分（3時間16分）となっており、平日の平均時間164（2時間44分）より32分長くなっています。
- 第2回調査と比べると、回答者全体、男女いずれにおいても、「する」の割合が高くなっている一方で、平均時間は短くなっています。
- 属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）
 - ・ 性別では、男性、女性ともに「する」の割合が「ほとんどしない」の割合より高いが、女性の「する」の割合は81.2%で、男性（51.4%）より、29.8ポイント高い。
平均時間をみると、女性は292分（4時間52分）である一方、男性は87分（1時間27分）となっている。
 - ・ 年齢別では、40歳以上の年代でみると、年代が若いほど「する」の割合が高くなっており、40歳代は「する」の割合が78.3%となっている。一方、18歳から20歳代は「する」の割合が47.1%で、年代の中で最も低い。
平均時間をみると、30歳代、40歳代がそれぞれ338分（5時間38分）、248分（4時間8分）と他の年代に比べて長く、また平日の平均時間に比べてそれぞれ1時間以上長い。
 - ・ 世帯収入別では、100万円未満の層は「する」の割合が57.1%と世帯収入別の層の中で最も低く、500万円～600万円未満の層は76.5%と最も高い。
平日と比較すると、500万円以上の層は、「する」の割合が平日に比べてそれぞれ5ポイント以上高い。
平均時間をみると、200万円～300万円未満の層が168分（2時間48分）と最も短い。平日と比較すると、世帯年収が高くなるほど、平日の平均時間との差が大きくなる傾向にある。

図表 2-4-23 家事や育児、子どもの世話、介護などの時間【休日】(第2回調査との比較)



※ 「する」または「ほとんどしない」と回答した人を対象に平均時間を算出
 ※ 平均時間については「ほとんどしない」の回答を「0分」とし、「する」の回答者のうち時間が明記された回答をもとに算出

図表 2-4-24 家事や育児・子どもの世話、介護などの時間【休日】(属性別)



※ 「する」または「ほとんどしない」と回答した人を対象に平均時間を算出

※ 平均時間については「ほとんどしない」の回答を「0分」とし、「する」の回答者のうち時間が明記された回答をもとに算出

5. 働き方に関すること

これまでの調査結果から、「家族」に加え、「就労や収入」も、県民の皆さんの幸福実感と関連があることがわかってきました。幸福実感を向上させるためには、働き方に関する議論を深めることが重要です。

ここでは、「何歳くらいまで働きたいか」、「魅力を感じる働き方」、「60歳を超えてから、どのように働きたいか」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
何歳くらいまで働きたいか	・あなたは何歳くらいまで働きたい（収入のある仕事をしたい）とお考えですか。今働いていない方でも、いずれ働きたいとお考えの場合は、その希望をお答えください。 (問19)
働く理由または一定年齢以上は働きたくない理由	・そうお考えの理由は何ですか。 (問20)
魅力を感じる働き方	・長時間労働是正などの働き方改革やICT（情報通信技術）の進展によって、多様な働き方が選択できるようになると期待されています。あなたは、どのような働き方に魅力を感じますか。 (問21)
60歳を超えてから、どのように働きたいか	・あなたは、60歳を超えて（現在60歳を超えている方は、今後）、どのように働きたいと考えていますか。 ・60歳を超えて（現在60歳を超えている方は、今後）働きたい職業は何ですか。 (問22)

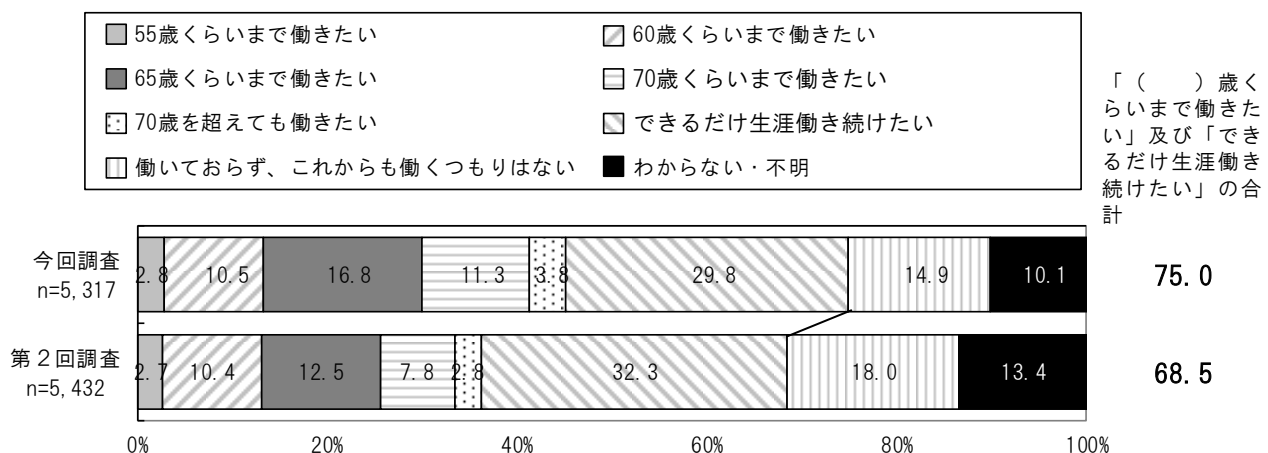
あなたは何歳くらいまで働きたい（収入のある仕事をしたい）とお考えですか。
 今働いていない方でも、いずれ働きたいとお考えの場合は、その希望をお答え
 ください。（○は1つだけ。「1」に○をつけた方は、（ ）に年齢も書いてください。おおよその
 年齢でかまいません。）

問 19

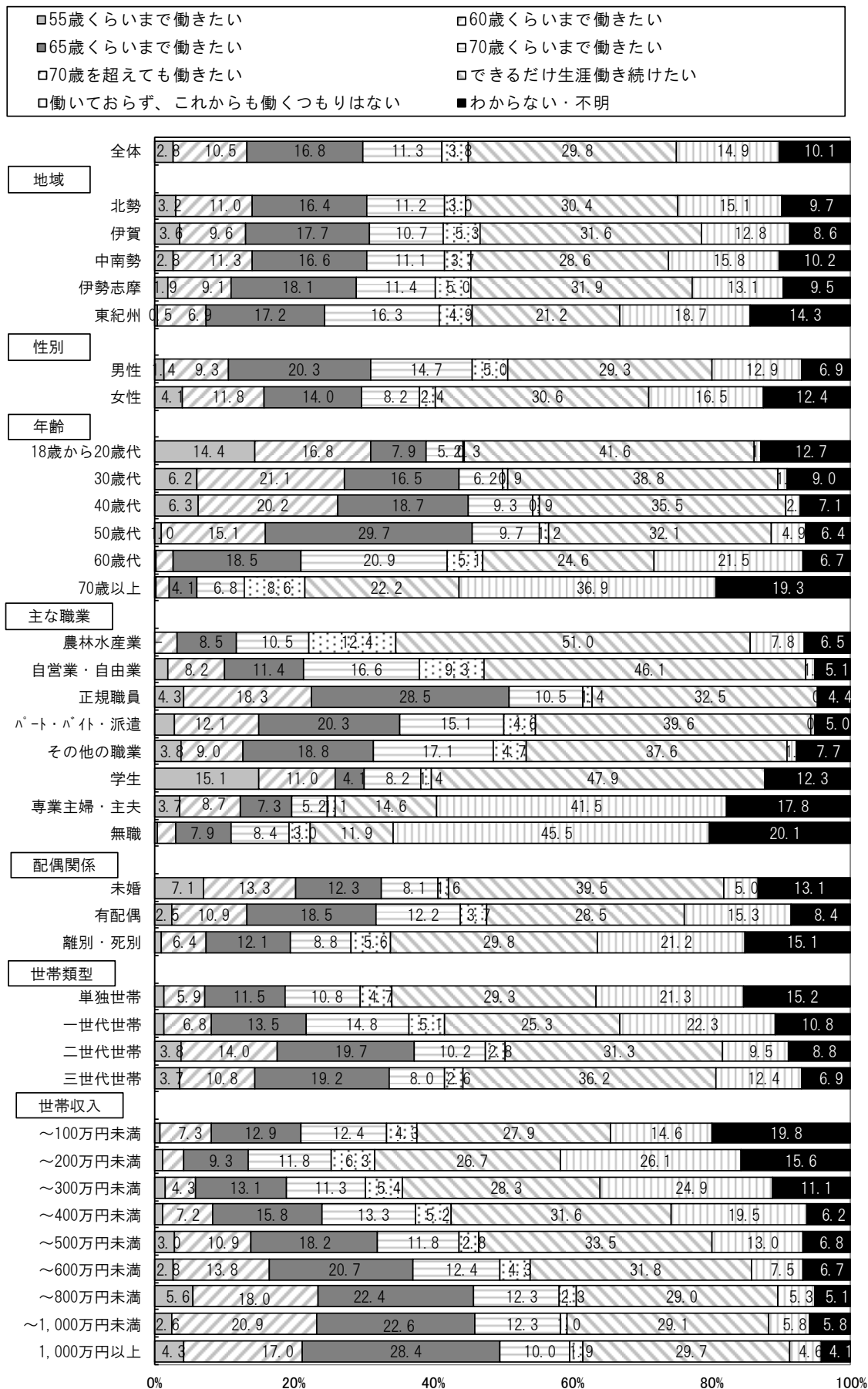
➤ 何歳くらいまで働きたいか（勤労意欲）

- 何歳くらいまで働きたいか質問したところ、「できるだけ生涯働きたい」が 29.8%と最も高く、次いで「65歳くらいまで働きたい」（16.8%）、「働いておらず、これからも働くつもりはない」（14.9%）となっています。
- 「（ ）歳くらいまで働きたい」及び「できるだけ生涯働きたい」の合計は 75.0%で、第2回調査と比べ、6.5ポイント高くなっています。
- 属性項目間の比較において特徴がみられる属性については次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）
 - ・年代別では、年代が若いほど「できるだけ生涯働きたい」が高く、18歳から20歳代は41.6%となっている。
 - ・主な職業別では、農林水産業、自営業・自由業、学生は「できるだけ生涯働きたい」が他の職業より高い。また、正規職員は、「60歳くらいまで働きたい」や「65歳くらいまで働きたい」の割合が他の職業に比べて高い。
 - ・配偶関係別では、未婚は「できるだけ生涯働きたい」（39.5%）が、有配偶、離婚・死別に比べて10ポイント程度以上高い。

図表 2-5-1 何歳くらいまで働きたいか（第2回調査との比較）



図表 2-5-2 何歳くらいまで働きたいか(属性別)



問19で「1」または「2」に○をつけた方におききします。

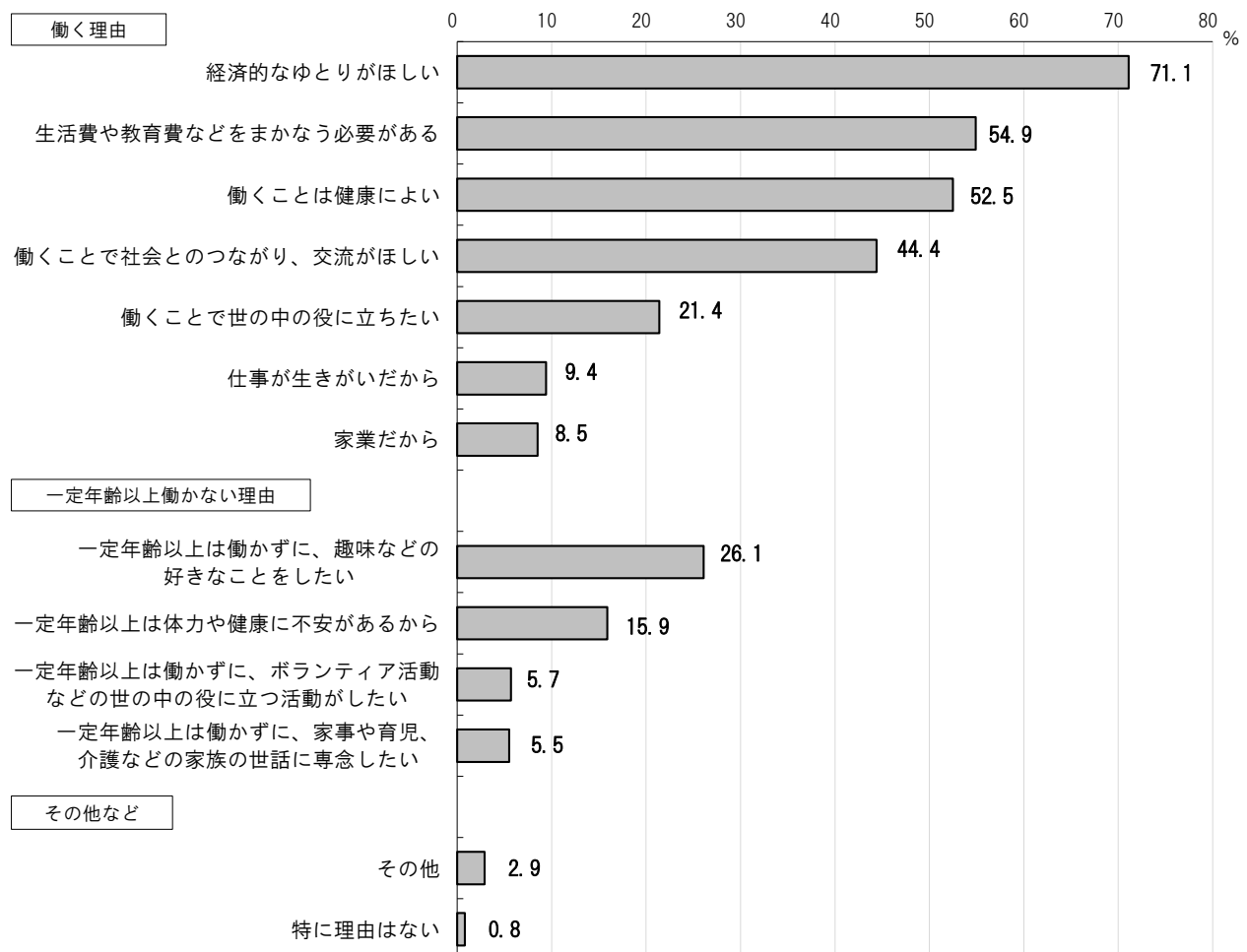
そうお考えの理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

問20

➤ 働く理由または一定年齢上働かない理由

- 働きたい理由を質問したところ、「経済的なゆとりがほしい」が71.1%と最も高く、次いで「生活費や教育費などをまかなう必要がある」(54.9%)、「働くことは健康によい」(52.5%)となっています。
- 50歳以上を年代別で見ると、「経済的なゆとりがほしい」、「生活費や教育費などをまかなう必要がある」、「一定年齢以上は働かずに、趣味などの好きなことをしたい」の割合は年代が高くなるほど低くなっており、「働くことは健康によい」、「働くことで社会とのつながり、交流がほしい」、「家業だから」の割合は年代が高くなるほど高くなっています。

図表 2-5-3 働く理由または一定年齢以上働かない理由(複数回答)



図表 2-5-4 何働く理由または一定年齢以上働かない理由(属性別)

	働きたい理由							一定年齢以上働きたくない理由				その他など		
	経済的 なゆとり がほしい	生活費 や教育 費などが 必要	働くこ とは健 とによ い	働くこ とで社 会とな りが交 流がほ しい	働くこ とで世 の中 の役に 立ちたい	仕事 が生き がいた から	家業 だか ら	一定年 齢以上 は働か ずに、 趣味 などの 好きな ことを したい	一定年 齢以上 は体力 や健康 に不安 がある から	一定年 齢以上 は働か ずに、 ボラン ティア 活動な どの世 の中 の役に 活動 がしたい	一定年 齢以上 は働か ずに、 や専 業、 介護、 子育て などの 家族に 専念 したい	その他	特に理 由はな い	
全体	71.1	54.9	<u>52.5</u>	44.4	21.4	9.4	8.5	26.1	15.9	<u>5.7</u>	5.5	2.9	0.8	
地域	北勢	72.7	54.9	<u>53.0</u>	45.6	21.0	9.2	7.7	27.1	17.0	5.5	<u>5.7</u>	2.8	0.8
	伊賀	72.9	54.9	<u>50.2</u>	48.0	22.7	9.4	10.3	23.2	15.8	5.9	<u>7.4</u>	3.2	0.5
	中南勢	69.8	55.3	<u>52.5</u>	45.7	22.7	9.2	8.7	25.7	15.1	<u>5.3</u>	5.2	2.5	1.1
	伊勢志摩	70.0	54.8	<u>51.8</u>	39.8	19.8	11.4	8.6	26.8	13.0	<u>5.6</u>	4.4	3.8	0.6
	東紀州	64.4	<u>53.0</u>	54.5	29.5	18.2	6.1	15.2	25.8	21.2	<u>12.1</u>	3.0	3.8	0.8
性別	男性	67.4	53.8	<u>51.6</u>	35.8	22.2	9.9	8.8	29.2	14.0	<u>6.0</u>	3.7	2.9	0.6
	女性	75.4	56.3	<u>53.0</u>	53.1	20.8	8.9	8.3	23.1	17.6	5.3	<u>7.3</u>	3.0	1.1
年齢	18歳から20歳代	80.8	69.6	29.6	<u>41.7</u>	24.2	3.8	2.1	27.5	12.5	2.1	<u>12.5</u>	3.3	0.8
	30歳代	82.3	79.5	37.6	<u>43.6</u>	21.4	8.5	4.1	31.4	13.2	2.8	<u>5.1</u>	3.2	0.4
	40歳代	75.2	67.1	<u>43.4</u>	42.8	19.8	6.3	5.7	29.2	16.4	5.1	<u>7.1</u>	3.5	0.9
	50歳代	73.5	58.8	<u>48.8</u>	43.9	20.5	8.6	8.7	27.7	15.4	<u>6.5</u>	5.4	2.6	0.9
	60歳代	65.9	38.8	65.6	<u>46.2</u>	20.2	8.6	10.7	22.4	17.7	<u>6.0</u>	3.4	2.6	0.5
	70歳以上	55.9	28.7	73.2	<u>46.7</u>	27.4	21.2	16.3	19.5	15.6	<u>9.0</u>	3.6	3.0	1.3
主な職業	農林水産業	52.8	35.2	67.2	<u>36.8</u>	20.8	17.6	45.6	18.4	15.2	<u>4.8</u>	1.6	3.2	1.6
	自営業・自由業	60.6	<u>45.7</u>	55.1	36.2	25.1	21.7	47.2	20.4	13.2	<u>3.2</u>	2.6	3.0	0.2
	正規職員	74.3	64.8	<u>44.1</u>	40.7	20.9	6.6	1.2	33.6	14.7	<u>6.1</u>	5.8	2.9	0.5
	パート・バイト・派遣	77.2	<u>57.2</u>	59.0	52.3	16.9	6.8	0.7	19.4	14.9	3.9	<u>5.1</u>	2.3	1.0
	その他の職業	71.2	49.8	<u>47.8</u>	38.5	21.0	10.7	1.5	26.3	19.0	<u>4.4</u>	3.4	4.9	2.0
	学生	80.0	63.3	28.3	<u>48.3</u>	43.3	8.3	1.7	28.3	<u>6.7</u>	1.7	11.7	3.3	-
	専業主婦・主夫	75.3	<u>53.4</u>	53.0	56.6	25.6	5.9	2.7	26.9	26.9	8.7	<u>12.8</u>	2.3	1.4
	無職	62.6	35.5	62.3	<u>46.2</u>	24.6	9.0	2.2	25.7	18.9	<u>10.9</u>	5.5	3.6	1.4
配偶関係	未婚	74.3	62.7	36.5	<u>41.6</u>	24.1	7.6	3.7	28.0	15.3	3.3	<u>7.3</u>	2.9	2.0
	有配偶	71.9	<u>53.9</u>	54.9	44.7	21.4	9.4	9.5	26.7	16.0	<u>6.2</u>	5.6	3.0	0.6
	離別・死別	63.8	<u>53.3</u>	54.7	46.7	18.5	11.6	7.6	19.4	15.2	<u>5.6</u>	2.5	2.7	0.9
世帯類型	単独世帯	63.0	<u>47.7</u>	51.5	47.3	24.0	13.0	5.0	20.2	14.5	<u>4.2</u>	1.9	2.7	2.3
	一世代世帯	71.2	<u>45.1</u>	60.4	44.1	23.2	10.7	9.4	25.1	15.3	<u>6.0</u>	4.8	3.0	0.8
	二世帯世帯	73.0	61.0	<u>48.9</u>	44.4	19.8	8.1	7.0	28.0	17.1	5.3	<u>6.2</u>	2.8	0.6
	三世帯世帯	70.4	57.2	<u>48.6</u>	44.4	23.4	9.8	13.6	26.0	13.4	<u>6.6</u>	6.2	3.0	0.8
世帯収入	100万円未満	64.1	<u>49.0</u>	53.8	42.8	17.2	11.7	8.3	19.3	17.2	4.8	<u>6.2</u>	3.4	2.8
	~200万円未満	69.3	<u>52.7</u>	57.7	41.4	18.2	10.3	8.8	21.0	17.9	<u>5.3</u>	2.2	3.8	1.6
	~300万円未満	70.3	<u>50.0</u>	57.2	43.7	21.5	10.6	8.2	20.2	15.0	4.6	<u>4.8</u>	1.9	0.8
	~400万円未満	67.9	<u>54.5</u>	55.6	46.3	20.9	7.3	8.8	21.6	15.5	<u>6.7</u>	4.1	2.4	0.2
	~500万円未満	72.2	56.1	<u>51.8</u>	47.5	20.8	10.2	7.7	26.9	18.3	5.4	<u>6.3</u>	3.4	0.5
	~600万円未満	75.0	58.8	<u>52.6</u>	44.3	21.4	6.9	7.6	28.8	16.2	4.8	<u>6.7</u>	3.6	1.0
	~800万円未満	75.0	60.4	<u>45.3</u>	41.1	19.8	6.6	7.3	32.8	15.2	<u>5.6</u>	4.9	2.5	0.5
	~1,000万円未満	73.1	59.2	<u>48.0</u>	43.1	19.9	11.0	9.5	31.2	16.5	<u>8.4</u>	6.6	3.5	0.3
1,000万円以上	69.8	48.3	54.4	<u>51.4</u>	31.4	13.9	12.4	33.2	13.9	<u>7.9</u>	6.9	2.4	0.6	

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

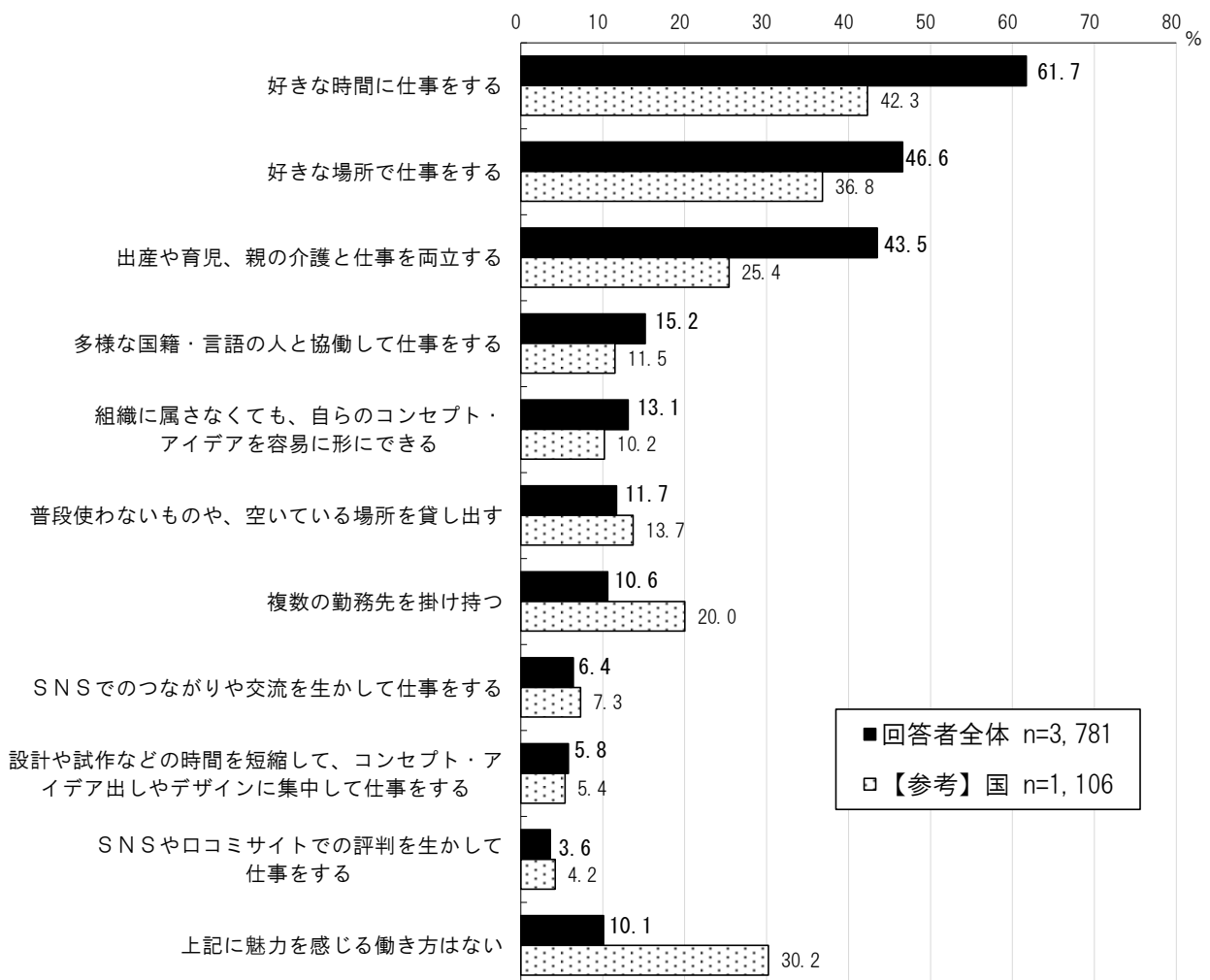
問19で「1」または「2」に○をつけた方におききします。

長時間労働是正などの働き方改革やICT（情報通信技術）の進展によって、多様な働き方が選択できるようになると期待されています。あなたは、どのような働き方に魅力を感じますか。次の中から魅力を感じる働き方すべてに○をつけてください。（○はいくつでも） **問21**

➤ 魅力を感じる働き方

- 「（ ）歳くらいまで働きたい」または「できるだけ生涯働き続けたい」とお考えの方に対して、魅力を感じる働き方を質問したところ、「好きな時間に仕事をする」が61.7%と最も高く、次いで「好きな場所で仕事をする」(46.6%)、「出産や育児、親の介護と仕事を両立する」(43.5%)となっています。
- 国が就労者に対して同様の質問をしているため、国と比べると、三重県の回答者全体は、「好きな時間に仕事をする」、「好きな場所で仕事をする」、「出産や育児、親の介護と仕事を両立する」の割合が10ポイント程度以上高くなっています。一方、「複数の勤務先を掛け持つ」、「上記に魅力を感じる働き方はない」が10ポイント程度以上低くなっています。

図表 2-5-5 魅力を感じる働き方(複数回答)



※ 国調査：総務省「ICTの進化が雇用と働き方に及ぼす影響に関する調査研究」（平成28年）

図表 2-5-6 魅力を感じる働き方(属性別)

	好きな時間に仕事をする	好きな場所です仕事をする	出産や育児の両立を両立する	多様な国籍・言語の人と協働して働く	組織に属さなくても、自らアイデアを形にできる	普段使わないものや、空いた時間を貸し出す	複数の勤務先を持つ	SNSのつながりや生かす	SNSで交流し、時間や作業を短縮して、作業やデザインに集中して仕事をする	SNSや口コミで評判を上げる	その他	上記に魅力を感じる働き方はない	
全体	61.7	46.6	<u>43.5</u>	15.2	13.1	11.7	10.6	6.4	5.8	3.6	1.8	10.1	
地域	北勢	61.1	46.5	<u>48.1</u>	15.7	13.3	12.1	11.0	6.4	6.0	3.6	1.5	9.6
	伊賀	60.7	49.5	<u>38.0</u>	16.6	15.3	12.8	9.7	6.1	4.8	3.6	1.5	11.0
	中南勢	62.3	45.3	<u>42.3</u>	15.2	12.0	10.9	10.9	6.2	6.2	3.8	2.0	10.4
	伊勢志摩	62.0	48.9	<u>39.9</u>	13.4	13.6	11.9	9.6	7.3	5.4	3.3	2.1	9.4
	東紀州	68.3	43.7	<u>27.0</u>	12.7	11.9	12.7	9.5	5.6	4.0	4.0	2.4	12.7
性別	男性	60.3	46.8	<u>33.6</u>	15.0	15.2	11.1	12.3	7.3	7.3	3.5	1.7	12.3
	女性	63.4	<u>46.5</u>	<u>53.9</u>	15.6	11.4	12.4	9.2	5.7	4.5	3.8	1.7	7.6
年齢	18歳から20歳代	<u>60.1</u>	60.9	<u>64.1</u>	26.6	14.1	15.3	11.3	13.7	12.1	10.1	1.2	7.3
	30歳代	64.1	<u>51.3</u>	<u>68.0</u>	19.8	16.9	16.1	15.5	9.3	7.6	6.8	0.8	4.9
	40歳代	<u>66.8</u>	<u>50.3</u>	<u>55.3</u>	17.6	12.5	14.1	13.4	5.9	5.7	3.5	1.4	8.0
	50歳代	<u>62.5</u>	44.5	<u>41.9</u>	14.1	14.8	13.1	12.6	7.2	5.9	2.6	1.6	8.7
	60歳代	<u>58.2</u>	41.0	<u>27.4</u>	11.5	11.8	7.7	6.5	3.9	4.3	2.2	2.2	14.4
	70歳以上	<u>56.9</u>	41.6	<u>20.0</u>	10.1	9.9	5.9	5.2	3.9	3.7	2.2	3.2	14.3
主な職業	農林水産業	68.8	52.7	<u>22.3</u>	10.7	14.3	9.8	7.1	6.3	2.7	3.6	1.8	7.1
	自営業・自由業	60.3	44.8	<u>32.8</u>	15.5	22.4	14.0	8.9	9.5	8.0	5.8	2.9	10.9
	正規職員	60.9	<u>48.2</u>	<u>49.5</u>	18.1	13.5	13.4	14.6	6.8	7.1	3.5	1.4	10.0
	パート・アルバイト・派遣	61.3	<u>44.9</u>	<u>48.3</u>	11.4	9.2	9.6	10.8	4.7	3.2	3.0	1.5	9.2
	その他の職業	<u>59.8</u>	44.6	<u>32.8</u>	14.2	11.8	7.4	9.8	4.9	5.4	2.5	1.0	13.7
	学生	<u>59.4</u>	60.9	<u>70.3</u>	39.1	17.2	18.8	9.4	20.3	17.2	15.6	1.6	1.6
	専業主婦・主夫	<u>69.9</u>	<u>44.0</u>	<u>53.7</u>	14.8	11.1	13.4	3.7	4.2	6.0	3.2	2.3	8.3
無職	<u>63.0</u>	46.7	<u>26.0</u>	12.7	12.7	8.9	4.7	6.2	5.0	2.7	2.4	11.8	
配偶関係	未婚	63.4	57.5	<u>50.5</u>	21.1	14.7	14.9	13.5	10.8	8.8	8.0	0.6	8.6
	有配偶	61.8	45.9	<u>44.4</u>	14.6	13.4	11.2	10.2	5.7	5.7	3.0	1.7	10.0
	離別・死別	59.4	39.2	<u>31.3</u>	12.9	10.2	11.8	10.4	6.1	3.4	3.2	3.2	11.8
世帯類型	単独世帯	58.7	44.4	<u>28.2</u>	17.1	13.9	13.5	13.1	8.3	5.6	4.8	2.4	12.7
	一世代世帯	60.5	45.1	<u>36.3</u>	12.9	13.2	9.6	8.7	4.6	5.0	2.6	2.0	12.4
	二世代世帯	63.8	<u>48.8</u>	<u>49.9</u>	16.1	13.3	12.6	12.1	6.7	6.1	3.9	1.4	7.9
	三世代世帯	60.0	<u>43.0</u>	<u>44.4</u>	16.5	13.3	12.4	9.6	8.2	7.0	5.2	2.0	11.0
世帯収入	100万円未満	63.6	48.6	<u>23.6</u>	7.9	7.9	11.4	7.1	5.7	3.6	4.3	2.1	12.1
	~200万円未満	65.1	46.2	<u>32.2</u>	9.6	12.0	7.5	9.6	2.4	4.8	2.4	2.1	11.3
	~300万円未満	60.8	48.0	<u>37.1</u>	12.9	12.2	10.6	9.2	6.4	5.0	3.4	2.0	12.4
	~400万円未満	57.5	44.6	<u>37.3</u>	14.9	12.1	10.1	11.4	7.3	5.4	3.7	3.0	10.6
	~500万円未満	61.3	48.1	<u>45.3</u>	13.7	11.4	12.4	10.5	6.4	5.0	3.4	2.1	10.3
	~600万円未満	65.2	48.2	<u>44.0</u>	16.0	15.3	13.4	10.6	6.8	6.1	1.9	1.9	7.5
	~800万円未満	61.6	<u>46.0</u>	<u>51.3</u>	16.7	15.2	14.2	12.3	5.2	5.9	4.0	0.7	8.6
	~1,000万円未満	66.9	<u>48.0</u>	<u>53.9</u>	18.3	14.9	13.5	12.4	5.9	6.7	4.2	1.7	5.3
	1,000万円以上	57.1	<u>43.9</u>	<u>52.1</u>	19.6	13.2	11.0	10.1	9.2	7.7	4.6	0.9	12.6

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

60歳を超えて働きたいと思う方におききします。具体的には、問19で、「1」に○を付け「61」以上の数字を記入した方、または「2」に○をつけた方におききします。

あなたは、60歳を超えて(現在60歳を超えている方は、今後)、どのように働きたいと考えていますか。次の「1」～「6」の中からあてはまるものを1つだけ○をつけてください。(「1」～「6」の○は1つだけ)

さらに、「1」～「3」に○を付けた方は、「A」～「F」の中から60歳を超えて(現在60歳を超えている方は、今後)働きたい職業に1つだけ○をつけてください。

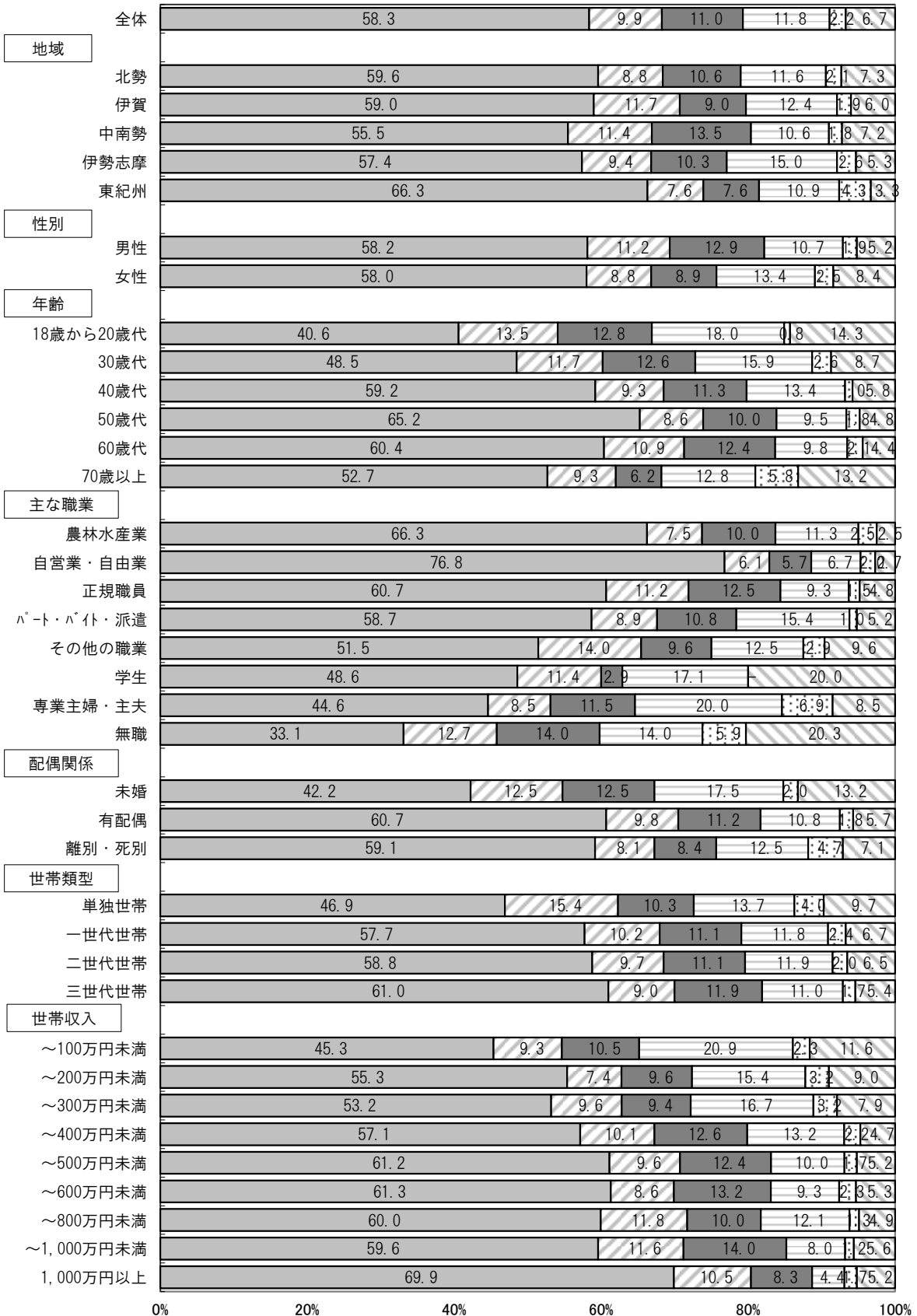
問22

➤ 60歳を超えてから、どのように働きたいか

- 60歳を超えてからも働きたいとお考えの方に対して、60歳を超えてから、どのように働きたいか質問したところ、「60歳まで(現在60歳を超えている方は、現在)と同じ会社・事業所や場所で働きたい」の割合が58.3%と最も高く、次いで「収入があればどんな仕事でもかまわない」(11.8%)、「60歳まで(現在60歳を超えている方は、現在)とは違う業種で働きたい」(11.0%)の順となっています。
- 50歳以上の年代別で見ると、「60歳まで(現在60歳を超えている方は、現在)と同じ会社・事業所や場所で働きたい」の割合は年代が高くなるほど低くなっており、「収入があればどんな仕事でもかまわない」の割合は年代が高くなるほど高くなっています。

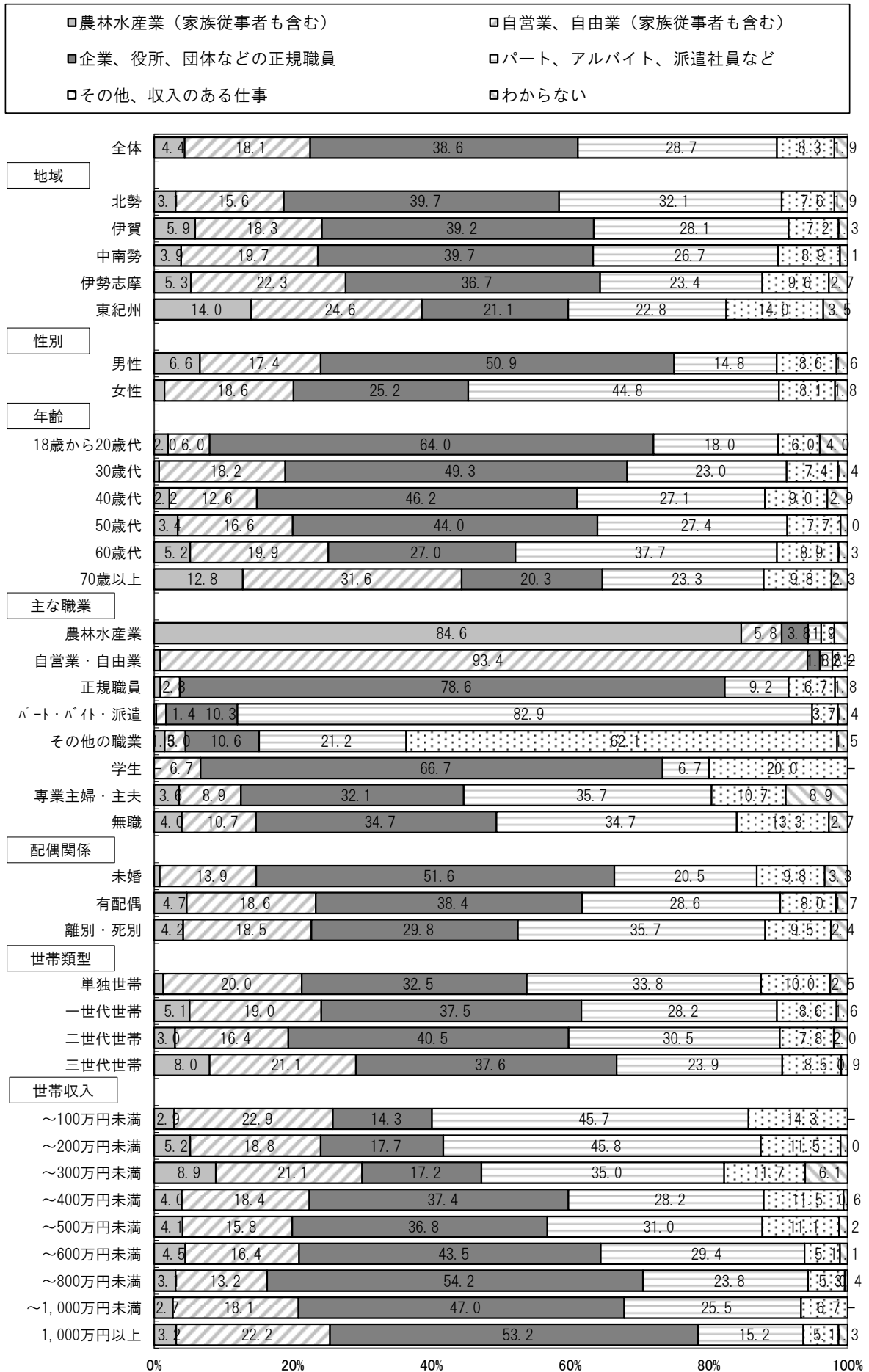
図表 2-5-7 60歳を超えてから、どのように働きたいか(属性別)

- 60歳まで(現在60歳を超えている方は、現在)と同じ会社・事業所や場所で働きたい
- 60歳まで(現在60歳を超えている方は、現在)と同じ業種で、違う会社・事業所や場所で働きたい
- 60歳まで(現在60歳を超えている方は、現在)とは違う業種で働きたい
- 収入があればどんな仕事でもかまわない
- その他
- わからない

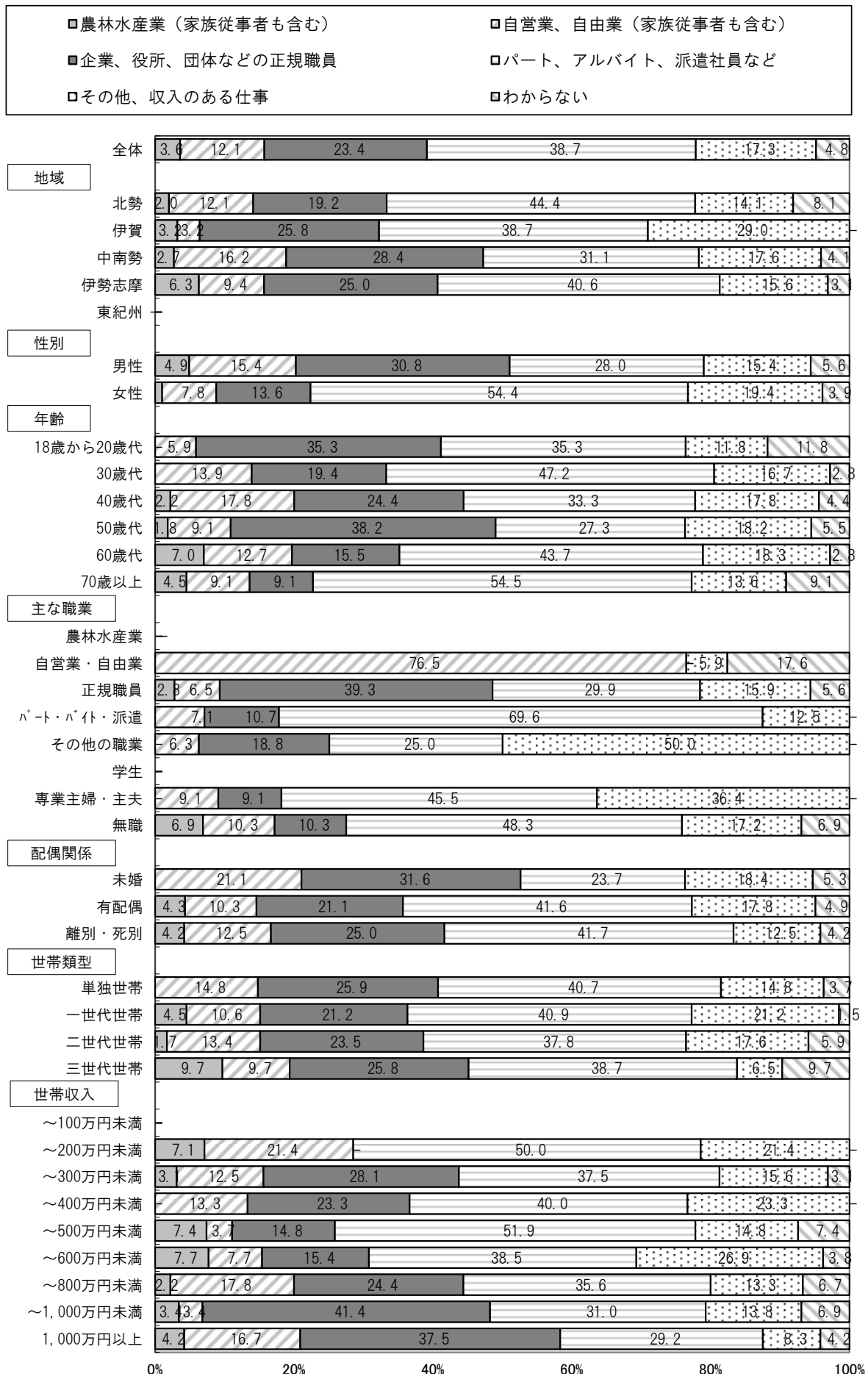


0% 20% 40% 60% 80% 100%

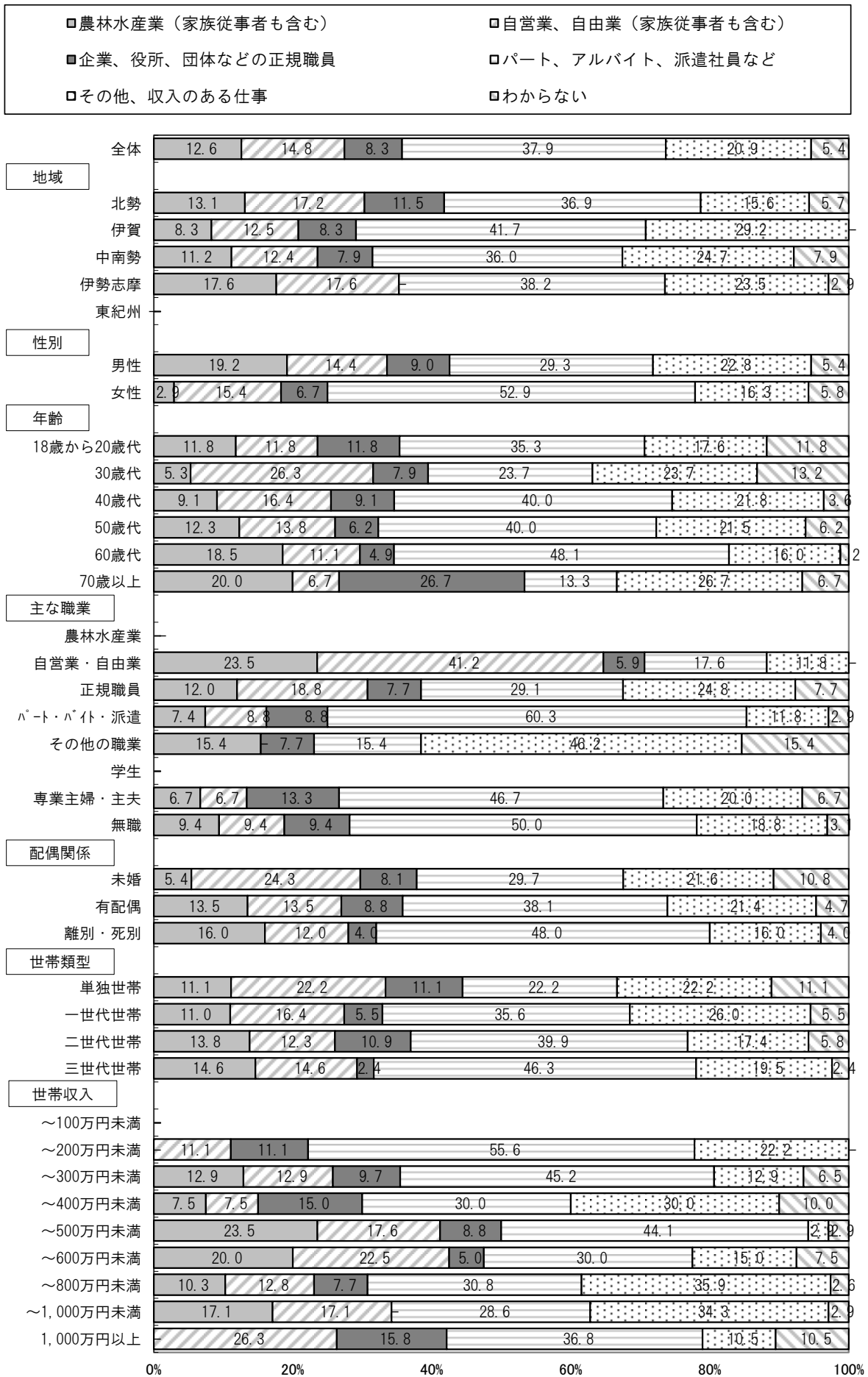
図表 2-5-8 60歳を超えてから、就きたい職業【60歳までと同業種で同じ会社・事業所・場所】



図表 2-5-9 60歳を超えてから、就きたい職業【60歳までと同業種で違う会社・事業所・場所】



図表 2-5-10 60歳を超えてから、就きたい職業【60歳までとは違う業種】



6. 情報の入手に関すること

企業の誘致や移住・定住の促進など、地域間競争で勝ち残るためには、インターネットやスマートデバイスの進化、ソーシャルメディアの普及によるコミュニケーション構造の変化への対応が不可欠となっています。

このような社会情勢の変化を踏まえて、効果的な広報を行うためには、情報の入手に関する現状を把握することが重要であることから、ここでは、「さまざまな情報を入手する手段」、「三重県が提供している情報の入手手段」、「得たいと思う県の情報」の集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
さまざまな情報を入手する手段	・ 近年では政府、自治体、民間企業、個人などが情報を発信するさまざまな手段がありますが、あなたは情報を入手する際、次の中でどの手段を頻繁に利用していますか。 (問23)
三重県が提供している情報の入手手段	・ あなたは、三重県が提供している情報をどこから得ていますか。 (問24)
得たいと思う県の情報	・ 三重県からはさまざまな情報を提供していますが、あなたはどのような県の情報を得たいと思いますか。 (問25)

近年では政府、自治体、民間企業、個人などが情報を発信するさまざまな手段がありますが、あなたは情報※を入手する際、次の中でどの手段を頻繁に利用していますか。次の中からあてはまるものに3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

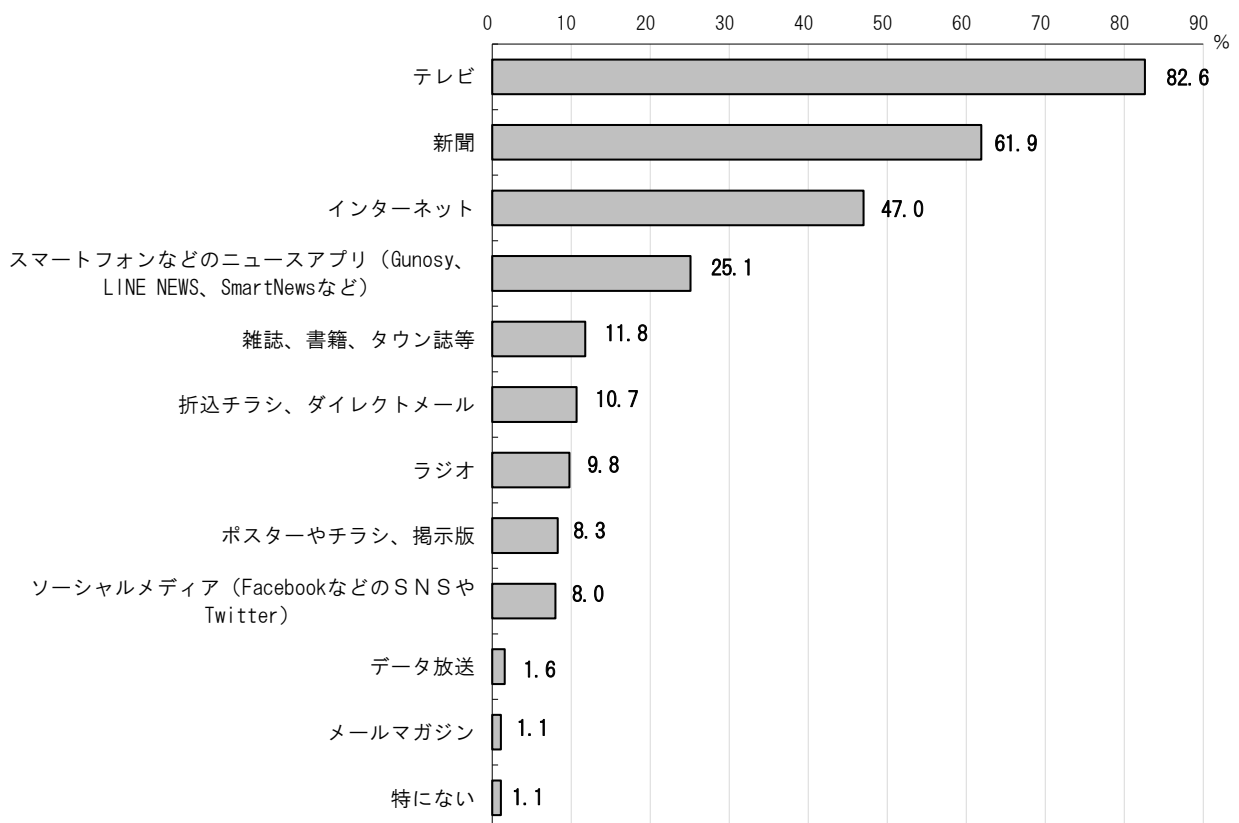
※ 情報とは、ニュース、天気予報、観光情報、ショッピング・商品情報、健康・医療関係情報、グルメ・娯楽情報等のことです。

問 2 3

➤ さまざまな情報を入手する手段

- さまざまな情報を入手する手段を質問したところ、「テレビ」が82.6%と最も高く、次いで「新聞」(61.9%)、「インターネット」(47.0%)となっています。
- 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・ 30歳代を除く全ての属性項目で「テレビ」の割合が最も高く、30歳代は「インターネット」の割合が最も高い。
 - ・ 多くの属性項目で「新聞」の割合が2番目に高いが、18歳から30歳代では「新聞」より「インターネット」と「スマートフォンなどのニュースアプリ(Gunosy、LINE NEWS、SmartNewsなど)」の割合が高い。
 - ・ 70歳以上は、「インターネット」より「折込チラシ、ダイレクトメール」の割合の方が高い。
 - ・ 「ソーシャルメディア(FacebookなどのSNSやTwitter)」の割合は、18歳から20歳代、学生で40%を超えている。

図表 2-6-1 さまざまな情報を入手する手段(○は3つまで)



図表 2-6-2 さまざまな情報を入手する手段(属性別)

	テレビ	新聞	インターネット	スマートフォンなどのニュースアプリ (Gunosy、LINE NEWS、SmartNewsなど)	雑誌、書籍、タウン誌等	折込チラシ、ダイレクトメール	ラジオ	ポスターやチラシ、掲示版	ソーシャルメディア (FacebookなどのSNSやTwitter)	データ放送	メールマガジン	特になし
全体	82.6	61.9	47.0	25.1	11.8	10.7	9.8	8.3	8.0	1.6	1.1	1.1
地域	北勢	82.7	60.5	48.7	27.2	11.5	9.8	7.3	9.5	1.7	1.6	0.9
	伊賀	82.4	61.3	47.9	27.2	12.5	11.9	9.0	7.8	6.5	0.2	1.4
	中南勢	81.8	61.4	49.1	23.6	11.7	11.3	9.8	9.5	7.9	1.7	0.7
	伊勢志摩	82.9	64.4	41.5	22.9	13.3	12.3	10.9	8.7	5.6	1.8	1.0
	東紀州	91.2	75.1	28.5	15.5	8.8	8.3	10.4	9.8	2.1	2.1	1.0
性別	男性	81.3	65.3	54.5	22.0	10.9	7.4	10.4	6.0	7.1	1.7	1.1
	女性	83.7	58.7	40.8	28.5	12.6	13.8	9.0	10.1	9.0	1.5	1.1
年齢	18歳から20歳代	76.1	18.0	71.0	47.1	8.2	0.8	2.4	2.0	42.7	1.2	0.8
	30歳代	70.3	22.7	71.9	50.0	12.2	2.8	4.2	6.0	19.9	1.0	0.6
	40歳代	75.1	46.9	63.3	41.1	10.7	5.8	7.5	4.3	11.9	1.3	1.8
	50歳代	81.4	59.4	56.8	31.3	11.7	8.5	7.9	5.6	6.3	1.7	2.1
	60歳代	87.4	78.3	39.7	14.4	12.4	14.1	10.3	10.0	1.5	1.8	0.9
	70歳以上	91.2	86.0	16.8	3.2	12.8	19.0	16.6	13.9	0.1	1.9	0.3
主な職業	農林水産業	90.5	77.0	36.5	12.8	11.5	15.5	14.2	10.1	2.0	1.4	0.7
	自営業・自由業	81.8	64.8	51.0	23.6	12.1	6.8	12.9	6.6	8.8	1.2	1.0
	正規職員	76.3	49.4	67.4	36.1	10.8	4.2	7.5	3.7	13.7	1.2	0.4
	パート・アルバイト・派遣	83.1	55.9	45.5	33.6	12.0	12.9	7.9	9.2	6.9	1.4	1.8
	その他の職業	81.2	57.3	53.2	24.8	12.8	6.0	11.5	6.9	8.3	2.3	1.4
	学生	75.8	16.7	66.7	36.4	6.1	1.5	4.5	0.0	47.0	1.5	-
	専業主婦・主夫	85.9	68.1	40.7	21.0	15.4	15.6	7.5	12.2	5.0	2.1	1.0
	無職	88.2	80.5	23.7	8.2	11.1	17.7	12.9	12.4	1.5	1.8	0.8
配偶関係	未婚	74.2	37.8	59.9	34.9	10.8	3.6	6.8	4.1	25.8	2.3	1.6
	有配偶	83.2	65.3	48.9	24.7	11.5	11.1	9.3	8.4	6.3	1.4	1.0
	離別・死別	85.5	62.2	27.9	20.0	14.5	14.0	13.7	11.4	3.2	1.6	2.2
世帯類型	単独世帯	83.6	55.3	32.6	17.9	12.6	11.9	16.9	10.4	6.6	2.5	1.3
	一世帯世帯	86.1	71.2	41.3	18.9	12.3	13.2	11.0	9.6	4.3	1.0	0.9
	二世帯世帯	80.6	57.4	54.5	30.7	11.1	8.8	7.3	7.0	10.3	1.8	1.3
	三世帯世帯	80.5	59.5	48.3	26.7	12.2	10.8	9.2	7.3	11.2	1.3	1.2
世帯収入	100万円未満	84.2	58.9	17.7	19.6	13.9	12.4	18.7	12.0	4.8	1.9	0.5
	~200万円未満	87.5	68.2	23.1	15.0	13.5	16.8	14.3	12.5	2.5	1.5	1.3
	~300万円未満	84.9	71.9	36.3	18.9	12.1	15.3	11.3	9.0	5.2	1.5	0.4
	~400万円未満	84.6	66.9	45.1	24.0	11.8	10.9	10.4	10.9	5.0	1.5	0.5
	~500万円未満	82.9	64.2	50.6	24.8	10.5	9.0	9.0	8.6	8.1	1.7	1.1
	~600万円未満	85.3	57.1	57.6	30.3	10.9	8.7	8.5	7.5	9.6	1.3	1.1
	~800万円未満	75.1	53.9	63.4	33.0	12.4	7.4	7.1	4.3	12.5	1.6	1.6
	~1,000万円未満	75.5	51.0	62.9	37.6	10.6	7.0	5.9	5.4	11.1	1.3	2.6
	1,000万円以上	82.1	59.2	73.4	29.2	11.0	5.5	4.3	2.0	11.0	2.0	0.9

※凡例： 第1位 第2位 第3位

あなたは、三重県が提供している情報※をどこから得ていますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

※ 三重県が提供している情報とは、県の計画・政策・財政、募集案内、催し物案内、研修案内、各種統計、県有施設の案内、官公署の事務手続き方法等に関する情報のことです。 **問24**

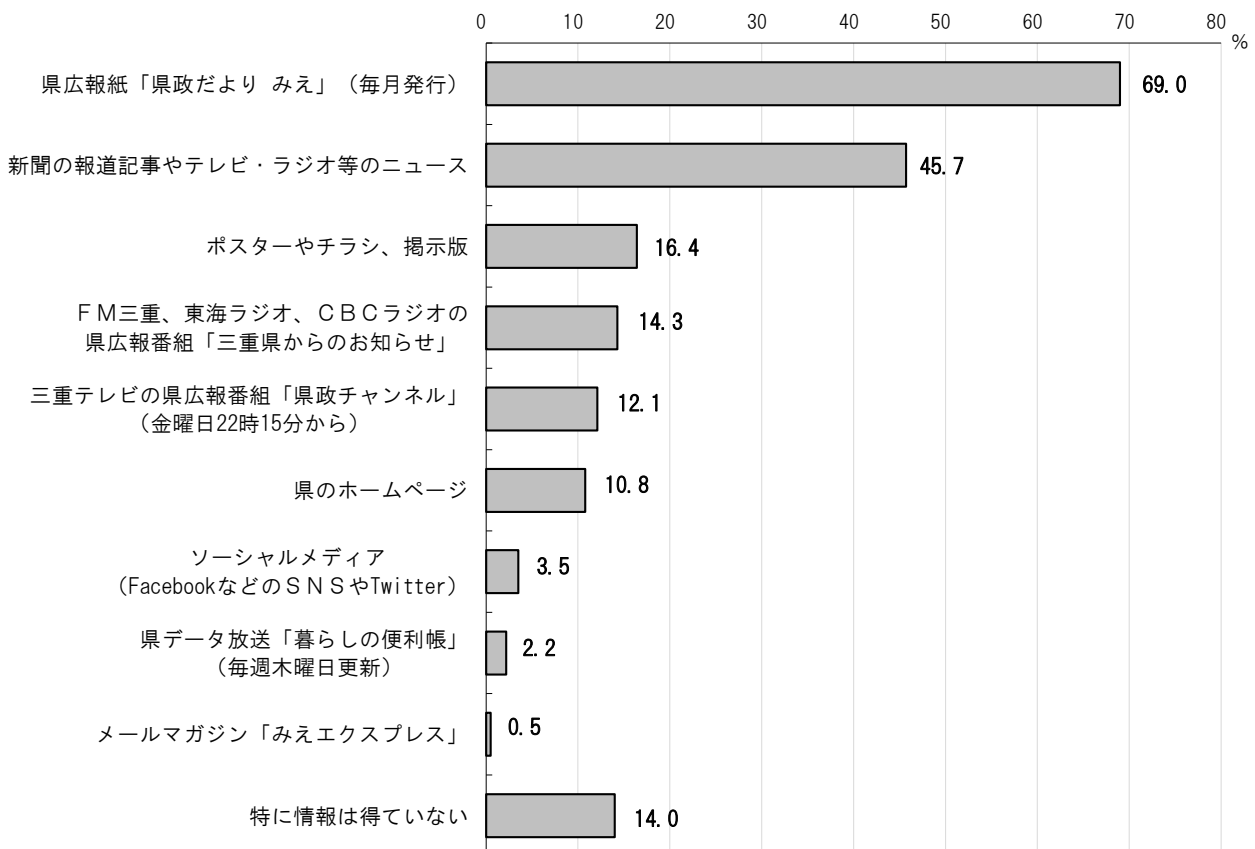
➤ 三重県が提供している情報の入手手段

○ 三重県が提供している情報の入手手段を質問したところ、「県広報紙『県政だより みえ』」が69.0%と最も高く、次いで「新聞の報道記事やテレビ・ラジオ等のニュース」(45.7%)、「ポスターやチラシ、掲示版」(16.4%)となっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)

- ・ 18歳から20歳代を除く全ての属性項目で「県広報紙『県政だより みえ』(毎月発行)」の割合が最も高く、18歳から20歳代は「特に情報は得ていない」の割合が最も高い。
- ・ 18歳から20歳代を除く全ての属性項目で「新聞の報道記事やテレビ・ラジオ等のニュース」の割合が2番目に高く、18歳から20歳代は「県広報紙『県政だより みえ』(毎月発行)」の割合が2番目に高い。

図表 2-6-3 三重県が提供している情報の入手手段(複数回答)



図表 2-6-4 三重県が提供している情報の入手手段(属性別)

	県広報紙「県政だより みえ」(毎月発行)	新聞の報道記事やテレビ・ラジオ等のニュース	ポスターやチラシ、掲示板	F M三重、東海ラジオ、CBCラジオの県広報番組「三重県からのお知らせ」	三重テレビの県広報番組「県政チャンネル」(金曜日22時15分から)	県のホームページ	ソーシャルメディア (FacebookなどのSNSやTwitter)	県データ放送「暮らしの便利帳」(毎週木曜日更新)	メールマガジン「みえエクスプレス」	特に情報は得ていない	
全体	69.0	45.7	<u>16.4</u>	14.3	12.1	10.8	3.5	2.2	0.5	14.0	
地域	北勢	68.0	45.1	<u>15.0</u>	13.1	10.6	10.5	4.0	1.6	0.7	14.5
	伊賀	70.8	43.7	<u>14.8</u>	12.3	13.7	8.8	2.3	1.3	0.2	14.2
	中南勢	69.4	46.3	<u>19.7</u>	16.6	12.4	12.5	3.2	3.3	0.4	12.6
	伊勢志摩	69.8	45.4	<u>16.9</u>	15.1	14.0	10.2	3.4	2.9	0.2	15.9
	東紀州	73.4	54.7	10.4	12.5	<u>16.7</u>	9.9	4.7	2.6	-	12.5
性別	男性	66.3	46.0	13.8	<u>15.3</u>	13.1	14.2	3.5	2.3	0.6	14.8
	女性	71.5	45.7	<u>18.9</u>	13.1	10.7	7.6	3.5	2.1	0.3	13.4
年齢	18歳から20歳代	28.3	<u>23.4</u>	12.4	10.3	4.5	12.4	11.0	0.7	0.3	35.9
	30歳代	55.8	23.8	12.9	8.7	5.4	13.1	10.4	0.9	-	<u>22.9</u>
	40歳代	63.8	36.2	<u>15.3</u>	12.8	5.6	12.5	4.5	1.5	0.7	16.8
	50歳代	68.4	41.7	16.2	<u>17.4</u>	7.5	14.0	3.0	2.0	0.5	14.9
	60歳代	78.3	54.1	<u>18.3</u>	14.1	14.6	9.4	1.4	2.0	0.5	8.4
	70歳以上	80.4	64.9	18.2	16.3	<u>23.5</u>	6.2	0.3	4.4	0.5	7.3
主な職業	農林水産業	79.5	51.7	<u>19.9</u>	<u>19.9</u>	18.5	7.3	0.7	4.6	-	7.3
	自営業・自由業	67.1	46.4	11.6	<u>17.2</u>	12.6	9.5	5.2	2.9	0.4	14.3
	正規職員	61.8	36.2	14.0	13.8	7.5	16.9	6.0	1.4	0.5	<u>18.2</u>
	パート・アルバイト・派遣	70.7	41.1	<u>19.5</u>	13.8	8.4	8.4	2.4	1.7	0.4	13.0
	その他の職業	62.5	41.8	13.4	17.7	11.2	11.2	2.2	1.7	0.9	<u>20.7</u>
	学生	23.3	30.1	9.6	11.0	8.2	11.0	12.3	-	-	<u>28.8</u>
	専業主婦・主夫	78.9	54.0	<u>20.9</u>	12.1	11.6	7.2	3.1	2.2	0.5	8.7
無職	76.0	60.0	17.2	13.0	<u>20.3</u>	7.3	0.9	3.4	0.6	10.5	
配偶関係	未婚	39.3	34.7	12.3	12.3	7.7	11.3	8.2	1.3	0.3	<u>29.3</u>
	有配偶	72.8	47.3	<u>17.4</u>	14.2	12.3	11.7	3.3	2.2	0.5	11.6
	離別・死別	73.9	47.1	<u>14.9</u>	15.3	14.2	5.9	1.4	3.5	0.4	13.6
世帯類型	単独世帯	68.0	44.8	15.3	14.8	14.8	7.9	2.2	3.4	0.2	<u>15.8</u>
	一世代世帯	74.8	51.2	<u>18.0</u>	13.6	14.9	9.9	1.8	2.2	0.6	11.5
	二世帯世帯	66.3	42.4	<u>15.6</u>	14.2	9.6	11.5	4.5	1.7	0.5	15.1
	三世帯世帯	65.9	45.9	<u>17.3</u>	14.8	11.1	13.0	5.5	2.7	0.2	14.5
世帯収入	100万円未満	63.6	41.8	12.3	14.5	<u>22.7</u>	5.9	3.6	5.0	0.5	13.2
	~200万円未満	74.2	50.2	16.7	14.8	<u>20.1</u>	5.7	1.1	2.4	-	11.7
	~300万円未満	73.7	51.6	<u>16.5</u>	15.7	13.6	7.1	2.4	2.2	0.9	13.4
	~400万円未満	72.6	47.1	<u>17.6</u>	16.1	12.7	9.0	2.3	2.2	0.5	13.8
	~500万円未満	69.9	48.6	<u>17.4</u>	12.3	11.1	12.0	3.3	1.9	0.4	12.7
	~600万円未満	71.5	42.1	<u>18.0</u>	14.8	9.6	15.0	5.2	3.2	0.6	12.8
	~800万円未満	65.4	41.2	14.3	12.9	8.5	<u>14.9</u>	5.4	1.2	0.4	<u>14.9</u>
	~1,000万円未満	67.6	41.9	<u>19.1</u>	11.6	5.3	14.5	3.9	0.5	1.0	13.6
	1,000万円以上	66.8	43.3	12.5	14.2	6.8	<u>19.9</u>	3.8	1.9	0.3	15.0

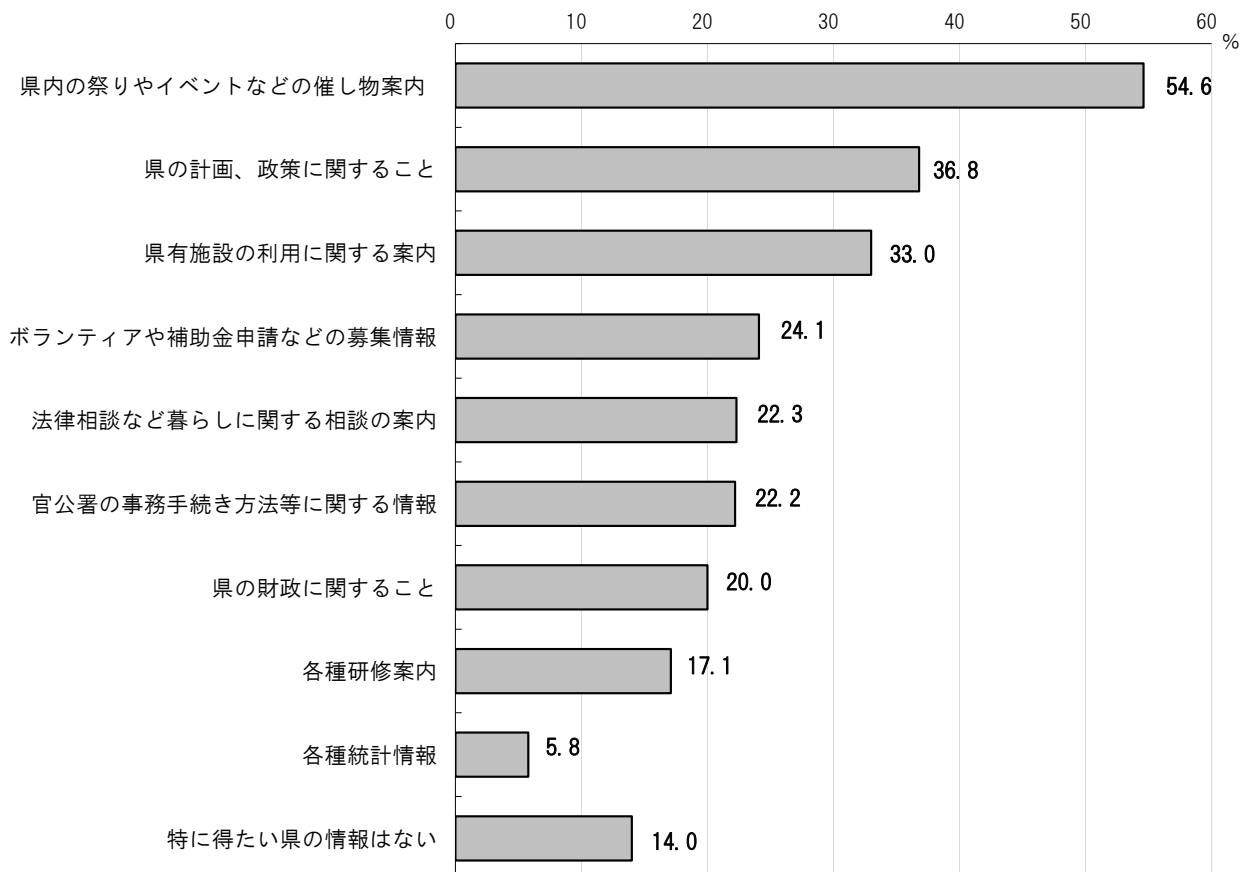
※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

三重県からはさまざまな情報を提供していますが、あなたはどのような県の情報を得たいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも) **問25**

➤ 得たいと思う県の情報

- 得たいと思う県の情報を質問したところ、「県内の祭りやイベントなどの催し物案内」が54.6%と最も高く、次いで「県の計画、政策に関すること」(36.8%)、「県有施設の利用に関する案内」(33.0%)となっています。
- 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・全ての属性項目で「県内の祭りやイベントなどの催し物案内」の割合が最も高い。
 - ・多くの属性で「県の計画、政策に関すること」の割合が2番目に高い。

図表 2-6-5 得たいと思う県の情報(複数回答)



図表 2-6-6 得たいと思う県の情報(属性別)

	県内の祭りやイベントなどの催し物案内	県の計画、政策に関すること	県有施設の利用に関する案内	ボランティアや補助金申請などの募集情報	法律相談など暮らしに関する相談の案内	官公署の事務手続き方法等に関する情報	県の財政に関すること	各種研修案内	各種統計情報	特に得たい県の情報は無い	
全体	54.6	36.8	<u>33.0</u>	24.1	22.3	22.2	20.0	17.1	5.8	14.0	
地域	北勢	54.5	37.1	<u>33.9</u>	23.0	22.3	21.2	20.7	16.1	5.7	13.4
	伊賀	48.6	35.6	<u>27.6</u>	24.6	22.2	20.9	18.5	20.3	5.3	17.3
	中南勢	59.3	38.1	<u>36.9</u>	25.2	23.0	25.7	20.2	17.3	6.1	11.5
	伊勢志摩	52.4	34.5	<u>27.4</u>	25.0	22.1	20.5	17.3	18.4	6.1	17.3
	東紀州	45.9	36.1	<u>29.5</u>	23.0	18.6	15.8	23.0	16.4	4.9	19.1
性別	男性	49.7	44.0	<u>32.1</u>	22.4	20.8	21.8	23.9	16.8	8.5	13.9
	女性	59.4	<u>30.1</u>	<u>33.9</u>	25.7	23.7	22.7	16.1	17.8	3.3	14.0
年齢	18歳から20歳代	56.7	29.9	<u>28.9</u>	21.0	15.5	17.5	16.5	13.4	5.5	19.2
	30歳代	65.9	29.9	<u>34.9</u>	<u>31.5</u>	18.3	22.0	16.8	16.4	5.9	12.4
	40歳代	61.4	34.2	<u>33.5</u>	31.5	22.4	26.1	17.2	19.5	4.5	13.6
	50歳代	53.4	34.7	<u>34.4</u>	26.5	27.4	27.9	18.5	22.7	6.8	12.7
	60歳代	52.9	36.3	<u>35.0</u>	21.0	23.0	20.2	19.1	16.8	5.7	14.0
	70歳以上	45.7	47.7	<u>28.6</u>	16.1	20.6	17.6	27.0	11.9	6.2	14.8
主な職業	農林水産業	52.1	42.5	<u>32.2</u>	27.4	18.5	16.4	26.7	17.1	4.8	12.3
	自営業・自由業	45.5	38.4	<u>30.5</u>	24.2	21.2	23.0	20.4	15.6	7.7	16.6
	正規職員	57.8	37.6	<u>35.9</u>	28.2	22.5	25.7	19.9	20.7	7.5	12.0
	パート・アルバイト・派遣	59.6	<u>28.9</u>	<u>32.9</u>	26.6	25.0	22.9	15.7	17.9	3.6	13.9
	その他の職業	51.3	34.2	<u>31.1</u>	15.8	19.3	18.4	18.4	20.6	5.7	19.7
	学生	52.1	38.4	<u>28.8</u>	24.7	20.5	20.5	20.5	17.8	8.2	16.4
	専業主婦・主夫	63.6	<u>34.9</u>	<u>38.2</u>	22.6	23.6	20.6	18.2	14.5	4.1	11.1
	無職	46.7	42.8	<u>28.8</u>	17.6	20.9	19.6	23.8	13.2	5.8	15.6
配偶関係	未婚	50.7	32.6	<u>28.3</u>	22.7	21.5	23.2	18.7	17.4	6.1	19.0
	有配偶	56.9	38.6	<u>34.7</u>	24.4	22.0	22.6	20.4	17.5	6.3	12.4
	離別・死別	46.2	30.5	<u>27.9</u>	24.5	24.6	18.9	17.4	15.6	3.7	17.6
世帯類型	単独世帯	46.6	34.7	<u>26.9</u>	18.9	23.3	18.9	18.1	15.8	5.2	19.7
	一世代世帯	55.0	40.5	<u>33.2</u>	21.1	22.5	19.8	22.3	15.2	5.8	12.9
	二世帯世帯	55.7	35.3	<u>33.5</u>	26.5	22.5	24.1	18.9	18.2	6.1	13.5
	三世帯世帯	56.5	35.3	<u>35.3</u>	25.2	21.8	24.9	18.8	19.3	5.0	13.3
世帯収入	100万円未満	42.6	27.3	23.0	24.4	<u>24.9</u>	12.9	17.7	14.4	3.8	23.4
	～200万円未満	47.1	34.5	<u>30.2</u>	22.2	26.3	18.6	22.0	13.9	3.5	16.3
	～300万円未満	51.5	38.2	<u>31.5</u>	22.2	21.2	19.8	20.1	15.2	5.5	14.8
	～400万円未満	53.8	41.2	<u>35.6</u>	21.9	26.7	21.5	20.5	18.9	6.2	15.1
	～500万円未満	57.0	41.3	<u>30.9</u>	25.4	22.0	23.2	20.9	17.7	5.4	12.1
	～600万円未満	60.9	38.7	<u>36.2</u>	26.7	22.9	23.7	22.5	19.2	6.1	9.9
	～800万円未満	59.3	<u>33.8</u>	<u>35.6</u>	26.8	19.3	25.2	17.6	17.6	6.2	12.1
	～1,000万円未満	62.3	<u>38.2</u>	<u>41.8</u>	28.0	24.3	27.5	20.0	22.1	7.3	8.3
	1,000万円以上	54.4	39.6	<u>36.1</u>	25.4	21.0	28.4	20.8	19.9	11.7	12.0

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

7. 動物愛護に関すること

県では、犬・猫の譲渡や動物愛護教室などの普及啓発を一層進めるため、平成29年5月の開所をめざして、「三重県動物愛護推進センター」（愛称：あすまいる）の整備を進めています。

動物愛護を推進する上では、現状を把握することが重要であることから、ここでは、「飼っているペットの種類」、「ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うこと」、「他人がペットを飼うことについて、迷惑を感じること」、「国や地方公共団体が取り組むべきこと」の集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
飼っているペットの種類	・ お宅では、どんなペットを飼っていますか。 (問26)
ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うこと	・ あなたは、ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うことはどのようなことですか。 (問27)
他人がペットを飼うことについて、迷惑を感じること	・ あなたは、他人がペットを飼うことについて、どのようなことに迷惑を感じますか。 (問28)
国や地方公共団体が取り組むべきこと	・ あなたは、ペットの愛護や適正な飼育の推進のために、国や地方公共団体が取り組むべきことは何だと思えますか。 (問29)

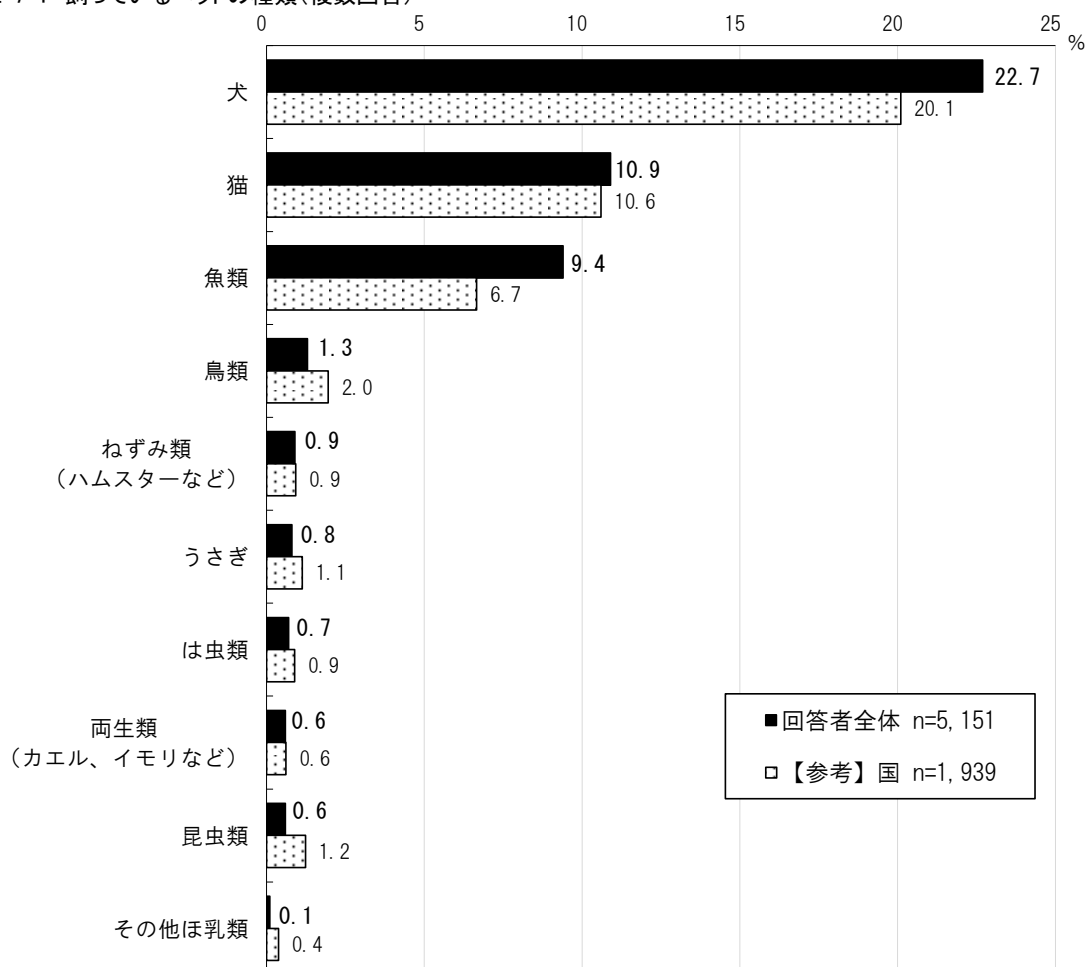
お宅では、どんなペットを飼っていますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

問 26

➤ 飼っているペットの種類

- 飼っているペットの種類を質問したところ、「犬」が22.7%と最も高く、次いで「猫」(10.9%)、「魚類」(9.4%)となっています。
- 国が20歳以上の者に対して同様の質問をしているため、国と比べると、三重県の回答者全体は、「犬」、「猫」及び「魚類」の割合が高くなっており、「ねずみ類(ハムスターなど)」、「両生類(カエル、イモリなど)」の割合は同率となっています。その他のペットの割合は国より低くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・全ての属性項目で「飼っていない」を除くと「犬」の割合が最も高い。
 - ・多くの属性項目で「飼っていない」を除くと「猫」の割合が2番目に高い。

図表 2-7-1 飼っているペットの種類(複数回答)



※ 国調査：内閣府「動物愛護に関する世論調査」(平成22年度)

※ 「飼っていない」の割合は、三重県の回答者全体が61.0%、国が65.7%となっており、三重県の回答者全体の方が国より4.7ポイント低くなっています。

図表 2-7-2 飼っているペットの種類(属性別)

	犬	猫	魚類	鳥類	ねずみ類 (ハムスターなど)	うさぎ	は虫類	両生類 (カエル、イモリなど)	昆虫類	その他ほ乳類	飼っていない	
全体	22.7	10.9	<u>9.4</u>	1.3	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6	0.1	61.0	
地域	北勢	22.2	10.1	<u>8.1</u>	1.3	1.0	0.7	0.7	0.6	0.2	62.2	
	伊賀	25.0	12.6	<u>9.3</u>	1.7	0.4	1.0	1.4	0.6	0.4	55.7	
	中南勢	24.2	10.8	<u>10.8</u>	1.3	0.9	1.1	0.6	0.8	-	60.7	
	伊勢志摩	20.0	12.9	<u>10.6</u>	0.9	0.6	0.5	0.5	0.6	0.3	61.9	
	東紀州	22.4	9.9	<u>8.9</u>	2.6	1.0	0.5	0.5	-	-	62.0	
性別	男性	21.9	10.6	<u>9.7</u>	1.3	0.8	0.8	0.6	0.6	0.8	61.1	
	女性	23.5	11.1	<u>9.1</u>	1.4	0.9	0.9	0.8	0.7	0.5	60.7	
年齢	18歳から20歳代	25.5	10.7	<u>9.3</u>	2.1	2.4	0.3	2.8	0.3	-	59.7	
	30歳代	17.2	10.1	<u>9.4</u>	0.6	0.7	1.3	0.7	0.9	0.4	65.9	
	40歳代	25.2	10.5	<u>11.4</u>	1.2	1.5	1.4	1.1	1.3	0.2	55.7	
	50歳代	26.0	12.1	<u>9.4</u>	1.8	0.8	0.8	0.5	0.9	0.6	57.1	
	60歳代	24.7	12.1	<u>9.4</u>	1.3	0.5	0.5	0.3	0.3	0.6	60.0	
	70歳以上	17.0	8.6	<u>7.6</u>	1.2	0.3	0.7	0.6	0.4	0.2	-	68.4
主な職業	農林水産業	24.3	19.4	<u>9.0</u>	0.7	0.7	-	0.7	-	-	54.2	
	自営業・自由業	28.8	13.5	<u>10.8</u>	1.8	0.6	1.0	0.8	0.8	1.2	53.3	
	正規職員	22.6	<u>9.9</u>	<u>10.7</u>	1.4	1.2	1.0	0.8	0.8	0.8	59.9	
	パート・バイト・派遣	25.8	10.9	<u>8.4</u>	1.3	0.9	1.0	0.5	1.0	0.6	58.7	
	その他の職業	20.8	14.2	<u>8.4</u>	2.7	1.3	1.3	0.4	0.4	-	58.8	
	学生	31.9	<u>11.1</u>	<u>12.5</u>	2.8	4.2	1.4	4.2	-	-	-	45.8
	専業主婦・主夫	18.7	<u>9.4</u>	<u>10.8</u>	0.9	0.2	0.7	1.1	0.6	0.9	-	66.6
	無職	18.7	9.6	<u>7.3</u>	1.0	0.5	0.5	0.5	0.2	0.3	-	67.8
配偶関係	未婚	21.1	13.1	<u>7.7</u>	1.1	1.1	0.3	1.1	0.2	-	0.3	62.0
	有配偶	23.8	<u>9.9</u>	<u>10.6</u>	1.4	0.9	1.0	0.7	0.7	0.8	0.1	59.6
	離別・死別	18.3	14.0	<u>4.2</u>	1.0	0.7	0.6	0.6	0.6	-	0.3	67.0
世帯類型	単独世帯	10.9	9.2	<u>2.7</u>	1.2	0.5	0.5	0.5	-	-	0.2	78.2
	一世代世帯	20.8	<u>7.7</u>	<u>9.2</u>	1.1	0.3	0.6	0.5	0.3	0.2	-	65.2
	二世帯世帯	24.7	12.0	<u>10.0</u>	1.3	1.2	1.1	0.8	0.8	0.8	0.1	57.4
	三世帯世帯	28.8	15.3	<u>12.8</u>	2.0	1.3	0.8	1.3	1.1	1.3	0.5	50.9
世帯収入	100万円未満	19.2	11.0	<u>5.9</u>	1.4	0.9	0.5	-	-	-	-	66.2
	～200万円未満	20.3	13.0	<u>6.2</u>	0.6	0.6	0.6	0.2	0.2	0.8	-	64.6
	～300万円未満	22.2	10.6	<u>8.4</u>	0.9	0.4	0.7	0.6	0.4	0.2	0.1	63.5
	～400万円未満	19.7	<u>9.6</u>	<u>9.7</u>	2.0	0.3	0.5	0.8	0.8	0.8	0.2	64.4
	～500万円未満	21.4	<u>9.7</u>	<u>10.2</u>	1.2	1.6	1.1	0.4	0.5	1.2	-	62.2
	～600万円未満	20.9	<u>10.1</u>	<u>11.1</u>	0.6	0.8	0.2	1.0	0.6	0.8	0.4	63.0
	～800万円未満	26.6	11.8	<u>10.9</u>	1.6	0.9	1.3	0.6	1.2	0.4	0.1	55.4
	～1,000万円未満	27.3	9.5	<u>8.3</u>	1.5	2.0	1.2	1.2	1.2	0.5	0.2	56.1
	1,000万円以上	26.6	<u>9.8</u>	<u>12.0</u>	2.4	1.4	1.1	0.3	1.4	0.8	0.3	56.3

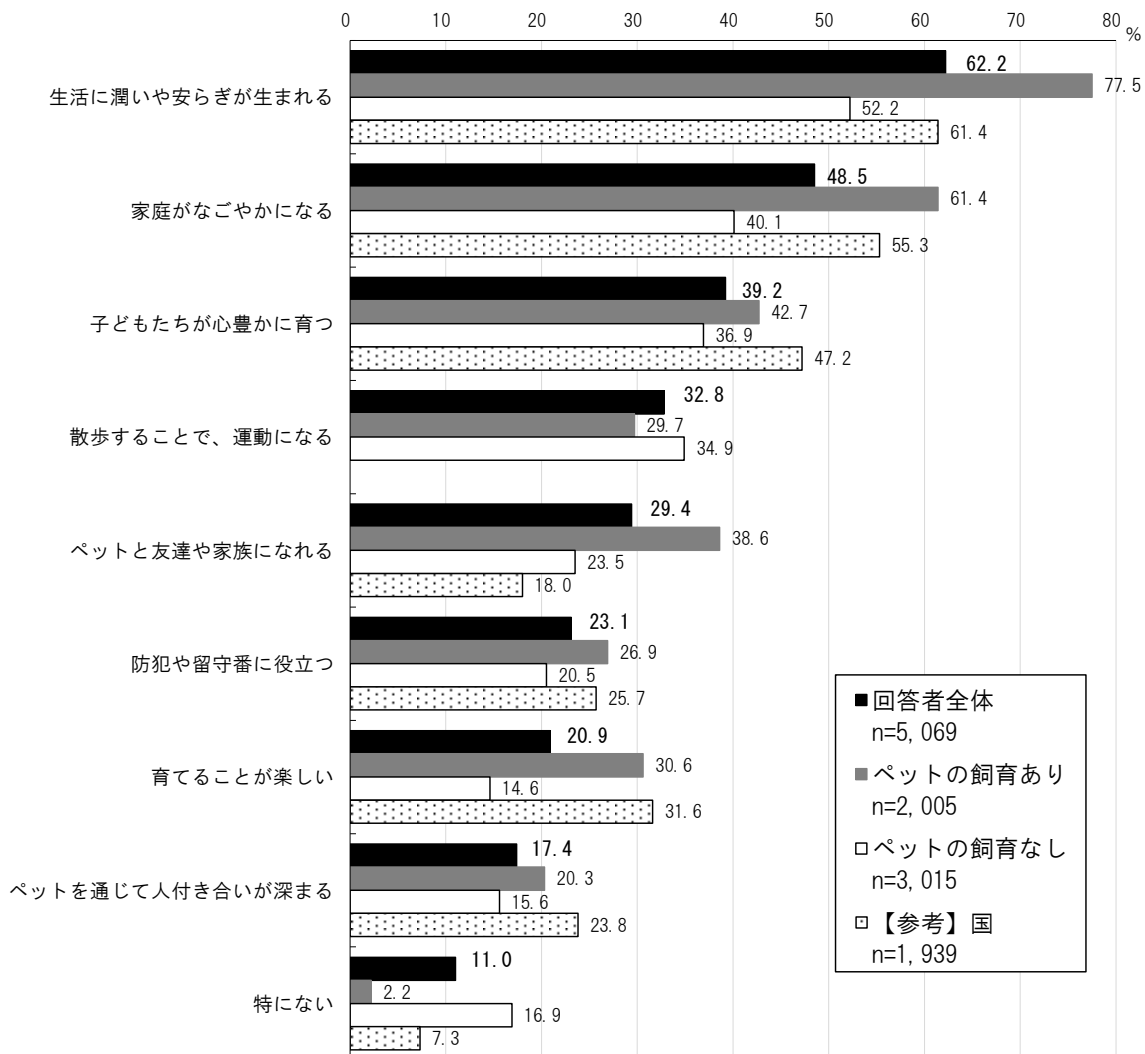
※凡例： 第1位 第2位 第3位 (「飼っていない」を除く。)

あなたは、ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うことはどのようなことですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも) 問 27

➤ ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うこと

- ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うことを質問したところ、「生活に潤いや安らぎが生まれる」が 62.2%と最も高く、次いで「家庭がなごやかになる」(48.5%)、「子どもたちが心豊かに育つ」(39.2%)となっています。
- ペットの飼育のあり・なし別で見ると、「散歩することで、運動になる」及び「特にない」を除くすべての項目の割合で、ペットの飼育ありの方が高くなっています。
- 国が 20 歳以上の者に対して同様の質問をしているため、国と比べると、三重県の回答者全体は、「生活に潤いや安らぎが生まれる」、「ペットと友達や家族になれる」、「特にない」の割合が高くなっています。

図表 2-7-3 ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うこと(複数回答)



※ 国調査：内閣府「動物愛護に関する世論調査」(平成 22 年度)
 ※ 「散歩することで、運動になる」は国の調査では項目に入っていない。
 ※ 「ペットと友達や家族になれる」は国の調査では「友達になれる」となっています。

図表 2-7-4 ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うこと(属性別)

	生活に潤いや安らぎが生まれる	家庭がなごやかになる	子どもたちが心豊かに育つ	散歩することで、運動になる	ペットと友達や家族になれる	防犯や留守番に役立つ	育てることが楽しい	ペットを通じて人付き合いが深まる	特にない	
全体	62.2	48.5	<u>39.2</u>	32.8	29.4	23.1	20.9	17.4	11.0	
地域	北勢	62.4	50.4	<u>40.3</u>	33.5	30.0	23.3	21.2	18.1	10.6
	伊賀	65.0	49.5	<u>37.6</u>	32.3	31.7	21.7	20.0	20.0	10.2
	中南勢	65.0	49.6	<u>40.5</u>	34.0	29.9	23.2	21.8	17.5	10.1
	伊勢志摩	56.0	41.5	<u>35.5</u>	28.5	25.0	23.5	18.7	13.1	14.6
	東紀州	56.2	41.1	34.1	<u>35.1</u>	25.9	24.3	20.0	17.8	13.0
性別	男性	60.8	44.5	<u>34.8</u>	30.0	26.7	22.6	18.8	14.7	12.9
	女性	64.1	52.7	<u>43.5</u>	35.6	31.9	23.6	22.7	19.8	9.1
年齢	18歳から20歳代	67.4	58.1	37.5	32.3	<u>52.2</u>	20.3	29.9	21.6	6.5
	30歳代	59.8	52.5	<u>58.7</u>	32.7	40.7	17.4	25.9	17.1	8.6
	40歳代	66.0	56.9	<u>49.6</u>	31.5	35.5	22.1	22.2	16.6	6.2
	50歳代	67.6	52.9	<u>39.5</u>	30.1	31.2	22.8	20.5	18.7	10.1
	60歳代	63.7	45.6	32.5	<u>36.1</u>	21.6	24.7	16.8	17.4	12.6
	70歳以上	52.5	36.5	28.5	<u>33.5</u>	19.0	26.5	19.8	15.9	16.3
主な職業	農林水産業	64.7	40.4	<u>35.3</u>	29.4	24.3	29.4	21.3	14.0	9.6
	自営業・自由業	65.3	51.6	<u>41.8</u>	31.5	32.5	24.5	24.1	15.3	11.0
	正規職員	64.1	51.9	<u>43.1</u>	30.8	32.9	21.4	19.8	16.8	9.5
	パート・バイト・派遣	65.1	54.2	<u>42.9</u>	34.3	32.7	23.1	22.6	17.6	8.0
	その他の職業	60.4	45.8	<u>30.7</u>	<u>30.7</u>	24.0	20.9	18.7	16.4	13.8
	学生	75.3	68.5	37.0	26.0	<u>50.7</u>	15.1	30.1	21.9	5.5
	専業主婦・主夫	62.5	53.0	<u>47.7</u>	41.1	30.2	23.8	21.9	24.3	9.6
無職	55.0	35.7	27.6	<u>32.9</u>	20.2	24.4	18.1	15.8	16.4	
配偶関係	未婚	66.8	48.3	26.6	30.4	<u>38.1</u>	20.3	27.1	20.5	10.2
	有配偶	62.4	49.7	<u>42.7</u>	33.5	28.7	23.6	20.6	16.7	10.5
	離別・死別	58.4	43.3	<u>32.9</u>	31.3	26.3	23.2	17.6	19.1	14.4
世帯類型	単独世帯	60.3	33.0	28.4	<u>30.4</u>	26.3	21.4	18.8	20.6	14.7
	一世代世帯	60.7	47.9	34.7	<u>35.0</u>	26.0	24.7	20.5	16.5	12.8
	二世帯世帯	64.2	52.7	<u>43.2</u>	32.2	32.7	21.9	21.1	17.9	8.9
	三世帯世帯	63.8	49.3	<u>45.5</u>	33.9	29.6	24.5	22.9	16.4	10.3
世帯収入	100万円未満	52.9	38.0	28.4	<u>29.8</u>	26.4	20.7	21.6	18.8	17.8
	～200万円未満	58.8	41.6	31.4	<u>34.4</u>	26.2	25.8	17.9	18.5	13.7
	～300万円未満	60.4	43.8	33.0	<u>33.5</u>	24.7	24.1	20.8	18.6	13.0
	～400万円未満	64.6	47.8	<u>39.0</u>	34.7	25.6	24.4	17.8	18.0	9.9
	～500万円未満	61.1	48.6	<u>40.7</u>	31.8	29.3	22.1	21.1	14.3	11.8
	～600万円未満	62.8	51.6	<u>43.9</u>	32.2	33.8	21.5	21.5	17.0	9.5
	～800万円未満	65.9	56.3	<u>47.9</u>	30.2	33.0	21.5	22.1	16.6	8.9
	～1,000万円未満	70.3	55.9	<u>48.5</u>	35.5	32.6	22.5	21.1	17.9	7.1
	1,000万円以上	67.2	51.6	<u>47.0</u>	34.4	32.2	23.5	21.9	17.5	9.8

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

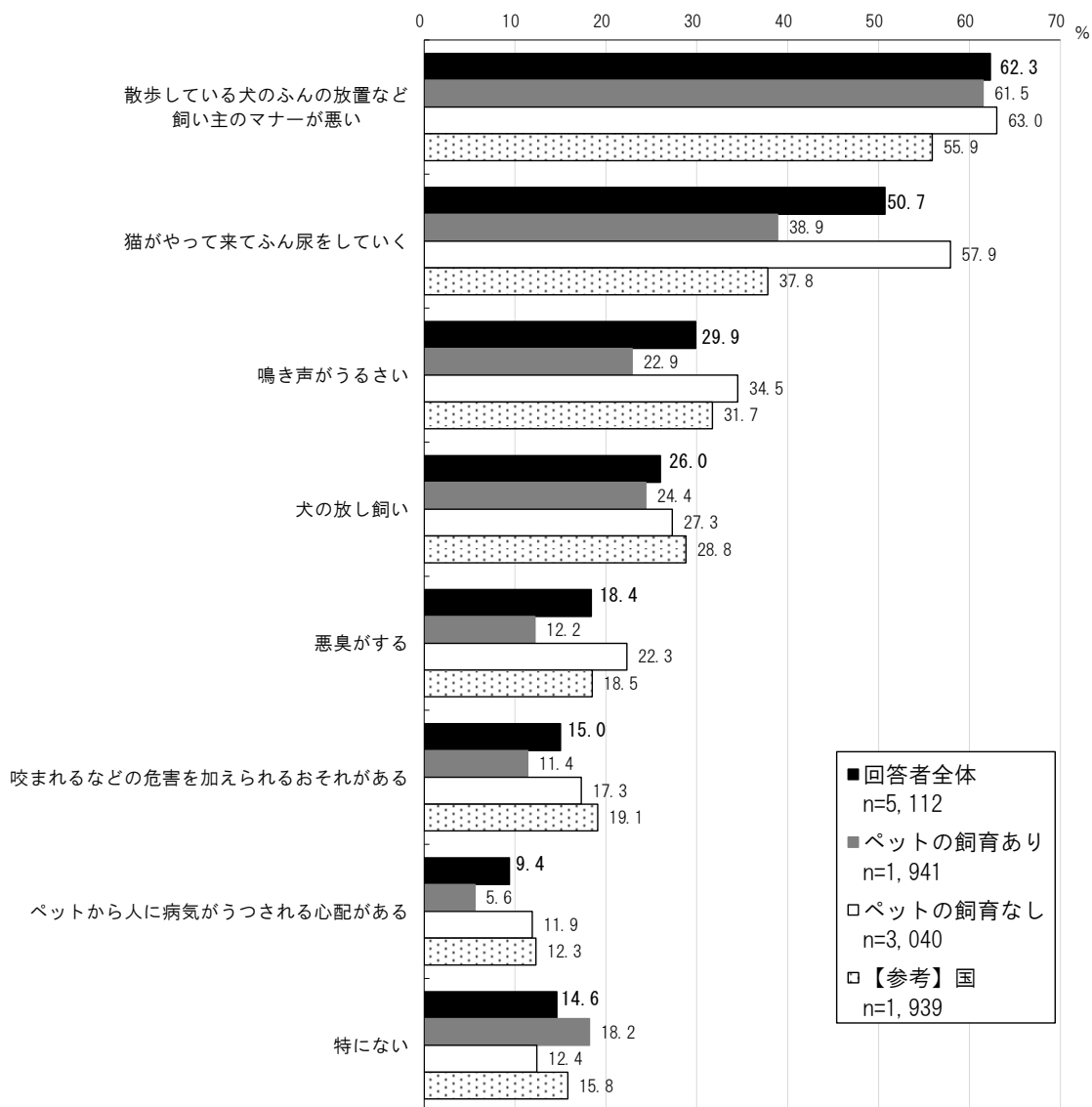
あなたは、他人がペットを飼うことについて、どのようなことに迷惑を感じますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

問 28

➤ 他人がペットを飼うことについて、迷惑を感じることに

- 他人がペットを飼うことについて、迷惑を感じることを質問したところ、「散歩している犬のふんの放置など飼い主のマナーが悪い」が62.3%と最も高く、次いで「猫がやって来てふん尿をしていく」(50.7%)、「鳴き声がうるさい」(29.9%)となっています。
- ペットの飼育のあり・なし別で見ると、「特にない」を除くすべての項目の割合で、ペットの飼育なしの方が高くなっています。
- 国が20歳以上の者に対して同様の質問をしているため、国と比べると、三重県の回答者全体は、「散歩している犬のふんの放置など飼い主のマナーが悪い」、「猫がやって来てふん尿をしていく」の割合が高くなっています。

図表 2-7-5 他人がペットを飼うことについて、迷惑を感じることに(複数回答)



※ 国調査：内閣府「動物愛護に関する世論調査」(平成22年度)

図表 2-7-6 他人がペットを飼うことについて、迷惑を感じる事(属性別)

		散歩している犬のふんの放置など飼主のマナーが悪い	猫がやって来てふん尿をしていく	鳴き声がうるさい	犬の放し飼い	悪臭がする	咬まれるなどの危害を加えられるおそれがある	ペットから人に病気がうつされる心配がある	特になし
全体		62.3	50.7	<u>29.9</u>	26.0	18.4	15.0	9.4	14.6
地域	北勢	63.9	51.7	<u>29.1</u>	25.7	17.8	14.7	8.8	13.8
	伊賀	63.2	47.2	<u>31.8</u>	27.5	18.9	15.8	10.5	15.2
	中南勢	61.5	50.5	<u>29.8</u>	25.5	18.9	15.2	9.7	14.5
	伊勢志摩	60.9	48.9	<u>31.8</u>	25.7	19.4	16.3	10.3	16.2
	東紀州	55.4	54.8	<u>29.6</u>	<u>29.6</u>	20.4	11.8	10.2	16.1
性別	男性	61.2	48.4	<u>31.5</u>	25.7	19.2	16.3	9.7	15.9
	女性	63.4	52.8	<u>28.5</u>	26.1	17.9	13.9	9.2	13.3
年齢	18歳から20歳代	63.6	<u>33.3</u>	<u>36.1</u>	32.6	25.1	22.3	14.8	18.2
	30歳代	59.6	44.8	<u>32.3</u>	31.6	24.0	23.3	12.3	16.1
	40歳代	61.2	45.5	<u>32.5</u>	27.6	20.9	15.8	10.8	16.6
	50歳代	62.4	49.8	<u>31.1</u>	25.0	18.4	14.3	7.8	13.1
	60歳代	64.5	53.8	<u>26.9</u>	22.2	13.9	12.2	7.3	13.0
	70歳以上	61.6	59.9	<u>27.7</u>	25.0	17.7	12.1	9.5	14.3
主な職業	農林水産業	56.0	44.7	<u>30.0</u>	<u>30.0</u>	19.3	18.0	10.0	20.0
	自営業・自由業	62.1	49.0	25.5	<u>26.5</u>	19.5	13.2	9.9	17.3
	正規職員	61.2	45.7	<u>32.1</u>	28.5	22.3	18.6	10.4	15.6
	パート・バイト・派遣	62.5	50.0	<u>29.8</u>	23.3	16.4	12.5	8.0	14.0
	その他の職業	62.8	50.2	<u>32.5</u>	26.8	21.2	16.9	12.1	13.9
	学生	67.1	30.1	<u>27.4</u>	<u>27.4</u>	15.1	12.3	4.1	20.5
	専業主婦・主夫	68.5	58.7	<u>28.1</u>	27.7	15.2	15.9	9.8	10.3
	無職	61.3	57.3	<u>30.1</u>	22.9	15.9	12.3	8.8	13.2
配偶関係	未婚	60.7	40.0	<u>34.4</u>	30.6	22.8	18.5	13.1	17.2
	有配偶	63.8	52.3	<u>29.5</u>	26.0	17.8	15.1	8.8	13.9
	離別・死別	56.1	51.2	<u>29.0</u>	22.4	18.7	11.8	9.3	15.5
世帯類型	単独世帯	55.7	50.1	<u>30.8</u>	21.7	20.0	12.5	9.4	14.5
	一世代世帯	66.3	56.3	<u>28.6</u>	25.5	16.9	13.2	8.4	13.4
	二世帯世帯	61.8	48.2	<u>31.3</u>	27.0	18.9	15.9	9.6	15.1
	三世帯世帯	61.3	47.1	<u>28.0</u>	25.0	18.0	17.7	10.5	15.0
世帯収入	100万円未満	55.3	44.2	<u>31.2</u>	27.4	18.1	10.7	5.6	14.0
	～200万円未満	64.1	52.9	<u>31.3</u>	23.0	18.5	15.1	11.6	14.3
	～300万円未満	63.3	51.3	<u>30.6</u>	24.0	17.5	12.6	10.0	13.6
	～400万円未満	63.8	53.9	<u>28.8</u>	27.4	17.9	13.9	8.3	13.8
	～500万円未満	62.1	56.0	<u>29.2</u>	27.4	19.9	14.9	10.0	14.2
	～600万円未満	66.9	49.9	<u>31.7</u>	24.8	21.6	17.6	10.9	12.1
	～800万円未満	63.1	47.1	<u>30.7</u>	27.7	20.9	17.3	10.2	14.7
	～1,000万円未満	61.7	52.1	29.0	<u>29.2</u>	15.5	15.0	5.4	14.3
	1,000万円以上	60.5	47.5	<u>29.3</u>	22.1	18.2	15.7	9.4	16.3

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

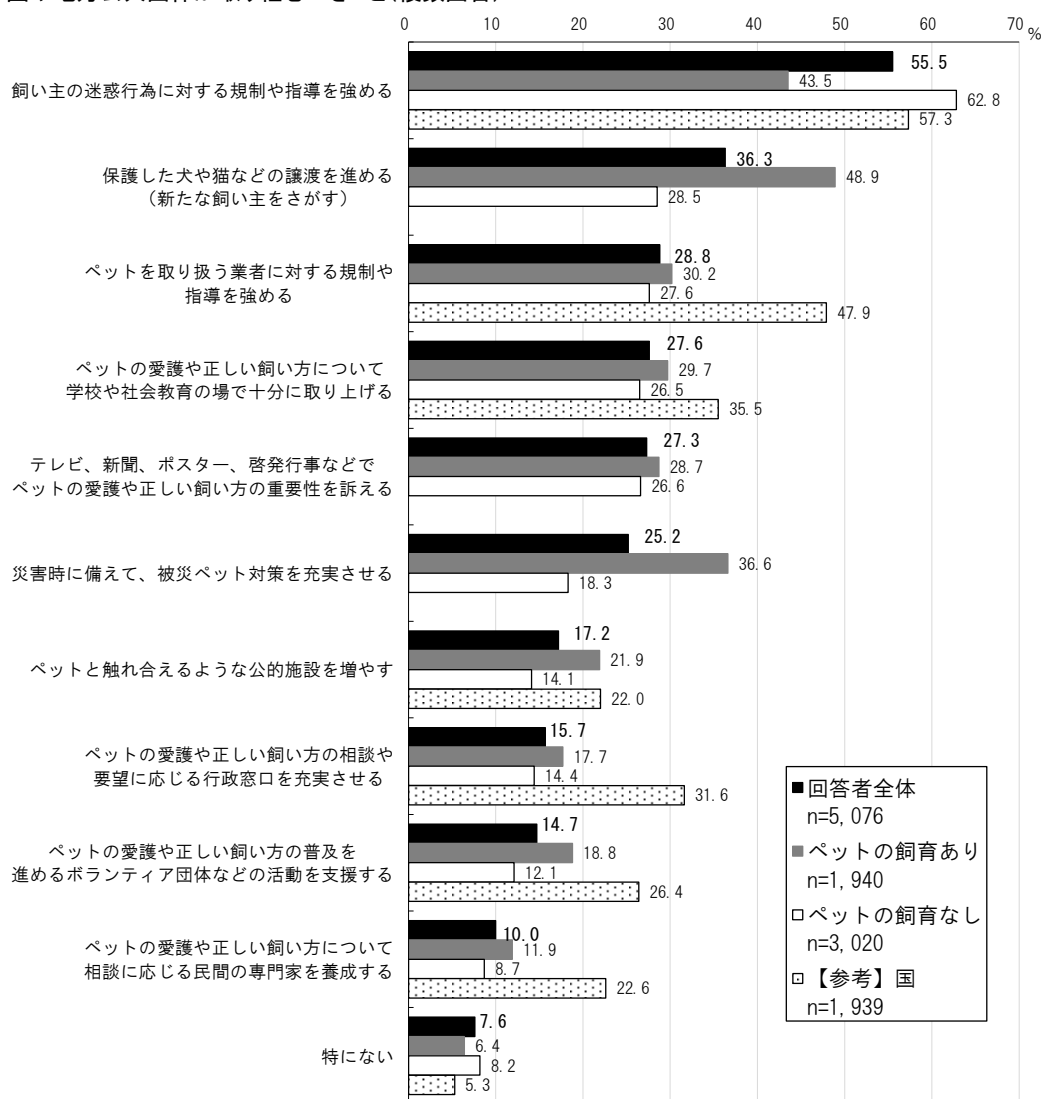
あなたは、ペットの愛護や適正な飼育の推進のために、国や地方公共団体が取り組むべきことは何だと思えますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

問 29

➤ 国や地方公共団体が取り組むべきこと

- 国や地方公共団体が取り組むべきことを質問したところ、「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」が55.5%と最も高く、次いで「保護した犬や猫などの譲渡を進める（新たな飼い主をさがす）」(36.3%)、「ペットを取り扱う業者に対する規制や指導を強める」(28.8%)となっています。
- ペットの飼育のあり・なし別で見ると、「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」、「特になし」は、ペットの飼育なしの方が高くなっています。
- 国が20歳以上の者に対して同様の質問をしているため、国と比べると、三重県の回答者全体は、「特になし」の割合が高くなっています。

図表 2-7-7 国や地方公共団体が取り組むべきこと(複数回答)



※ 国調査：内閣府「動物愛護に関する世論調査」(平成22年度)

※ 「保護した犬や猫などの譲渡を進める(新たな飼い主をさがす)」、「テレビ、新聞、ポスター、啓発行事などでペットの愛護や正しい飼い方の重要性を訴える」、「災害時に備えて、被災ペット対策を充実させる」は国の調査では項目に入っていません。

図表 2-7-8 国や地方公共団体が取り組むべきこと(属性別)

		飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める	保護した犬や猫などの譲渡を進める(新しい主をさがす)	ペットの愛護や正しい飼い方について学校や社会教育で十分に取る	テレビ、新聞、ポスター、啓発行事などで愛護や正しい飼い方の重要性を訴える	災害時に、ペットを飼っている方への対応策を充実させる	ペットと触れ合う機会を増やす	ペットの正しい飼い方を要する窓を充実させる	ペットの正しい飼い方を進めるボランティアなどの支援	ペットの正しい飼い方に相応する専門家を養成する	特になし	
全体		55.5	36.3	<u>28.8</u>	27.6	27.3	25.2	17.2	15.7	14.7	10.0	7.6
地域	北勢	54.8	37.7	<u>29.3</u>	27.5	26.8	26.2	16.2	15.4	15.5	10.3	6.6
	伊賀	55.1	32.8	25.2	<u>27.7</u>	26.8	24.0	16.4	18.4	16.2	9.4	8.6
	中南勢	56.3	38.5	<u>30.6</u>	29.1	28.1	26.4	19.7	16.2	13.6	10.5	6.4
	伊勢志摩	57.6	30.8	<u>26.3</u>	23.5	27.7	21.3	16.0	14.2	13.2	9.7	10.9
	東紀州	52.7	33.5	28.6	<u>31.9</u>	28.0	22.0	16.5	14.3	15.4	8.2	11.5
性別	男性	59.2	31.7	<u>30.5</u>	28.1	27.8	20.4	18.2	16.4	14.2	10.2	8.0
	女性	52.3	40.6	<u>27.2</u>	27.1	26.9	29.6	16.3	15.0	15.1	9.9	7.2
年齢	18歳から20歳代	45.7	50.9	24.4	33.3	27.5	<u>36.4</u>	27.1	19.6	17.9	13.1	4.8
	30歳代	56.2	42.4	<u>34.6</u>	31.9	22.1	31.3	21.5	16.8	14.0	11.8	5.5
	40歳代	53.5	44.1	<u>30.9</u>	28.5	22.8	29.0	17.9	15.7	16.8	10.3	6.0
	50歳代	54.1	40.5	<u>28.2</u>	28.0	24.4	27.7	19.7	16.6	16.2	12.3	7.4
	60歳代	56.4	31.9	27.2	24.9	<u>29.4</u>	21.6	15.3	14.8	15.3	7.6	7.5
	70歳以上	60.1	24.0	<u>28.0</u>	25.5	<u>34.4</u>	17.4	11.2	14.2	10.2	8.7	10.9
主な職業	農林水産業	55.0	29.8	26.5	25.2	<u>27.8</u>	17.9	7.9	15.9	12.6	10.6	11.3
	自営業・自由業	54.8	40.3	<u>32.7</u>	27.0	27.2	26.6	13.3	16.8	14.9	9.8	9.6
	正規職員	56.7	37.1	<u>29.7</u>	28.6	24.3	24.9	21.1	15.7	15.6	10.2	6.2
	パート・アルバイト・派遣	51.2	43.1	26.2	27.0	24.8	<u>30.3</u>	18.0	14.4	16.3	12.1	6.6
	その他の職業	56.5	32.2	<u>33.0</u>	28.7	23.5	27.0	20.4	17.4	12.6	12.6	10.9
	学生	42.5	49.3	21.9	<u>35.6</u>	30.1	<u>35.6</u>	26.0	16.4	13.7	6.8	4.1
	専業主婦・主夫	57.0	39.5	29.1	28.4	<u>30.1</u>	27.9	14.6	17.5	17.5	9.8	5.8
	無職	58.6	26.4	<u>27.9</u>	26.4	<u>33.2</u>	18.9	14.2	15.1	11.2	7.5	9.0
配偶関係	未婚	49.7	46.2	31.9	32.2	28.2	<u>33.4</u>	22.4	17.6	18.3	13.1	7.5
	有配偶	56.9	35.0	<u>29.2</u>	28.1	28.1	24.0	16.7	16.0	14.3	9.9	6.9
	離別・死別	53.0	35.5	24.0	21.4	22.7	<u>25.2</u>	15.3	12.4	13.4	8.4	10.9
世帯類型	単独世帯	55.8	31.4	<u>27.7</u>	24.2	24.2	22.2	14.6	11.9	12.3	8.6	9.9
	一世帯世帯	58.2	32.4	28.2	27.1	<u>31.9</u>	22.3	17.1	15.2	13.2	9.2	7.3
	二世帯世帯	54.0	40.2	<u>29.5</u>	28.5	24.9	27.8	17.7	16.1	15.7	10.8	7.0
	三世帯世帯	54.9	36.3	<u>29.0</u>	<u>29.0</u>	28.3	25.2	17.5	17.2	16.7	10.3	7.2
世帯収入	100万円未満	52.4	<u>25.7</u>	24.3	24.3	<u>27.1</u>	16.2	13.3	16.7	11.0	14.3	13.8
	~200万円未満	58.7	32.7	<u>28.7</u>	22.4	27.7	25.7	16.8	13.8	12.8	11.6	6.8
	~300万円未満	57.7	35.5	27.9	28.5	<u>28.9</u>	26.4	18.0	14.9	14.4	8.7	7.9
	~400万円未満	56.2	35.0	28.8	27.6	<u>29.1</u>	23.5	17.1	18.5	16.3	9.4	8.5
	~500万円未満	58.2	37.7	<u>28.6</u>	27.1	<u>28.6</u>	23.8	15.9	15.4	13.6	8.8	5.9
	~600万円未満	55.7	41.7	31.5	<u>32.1</u>	27.2	24.6	18.9	14.2	15.9	11.4	5.7
	~800万円未満	55.3	38.0	<u>29.9</u>	29.0	25.0	27.8	17.8	18.0	14.7	10.7	6.2
	~1,000万円未満	54.5	36.6	26.8	<u>29.0</u>	25.6	26.5	15.7	16.2	16.0	8.8	5.2
	1,000万円以上	57.0	39.9	<u>31.7</u>	30.6	27.0	22.0	16.8	15.2	17.9	9.6	6.3

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

その他

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数5,317人のうち、1,074人の方から自由意見が寄せられました。

いただいた自由意見について、調査に関する御意見と調査以外のことに関する御意見の2つに整理しました。

(1) みえ県民意識調査に関する御意見（224件）

今後でもできる限り多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

① 目的や活用に関すること

- ・ 解析を適切に行い正しく活用すべき。
- ・ 是非、参考にして頂き、より住み良い県になることを望む。
- ・ アンケート結果をもとにして必ず政策を実行してほしい。
- ・ このアンケートがどのように政策にフィードバックされるのか分かりにくい。

② 調査票の内容や構成に関すること

- ・ 後期高齢者なので該当するのが無い部分があった。
- ・ 質問の内容がわかりにくかった。
- ・ 質問の偏りを感じる。
- ・ 今回のアンケートは年齢別に調査した方がよい様に思う。
- ・ 答えにくい選択肢がある。

③ その他（実施方法、公表など）に関すること

- ・ インターネットでも回答できるようにすべき。
- ・ 協力者に結果を送付すべき。
- ・ 三重県のことをこの機会に振り返れてよかった。

(2) 調査以外のことに関する御意見（延べ1, 415件）

さまざまな分野に関する御意見もたくさんいただきました。

県政に関する御意見につきましては、関係部署に伝達し、諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用させていただきます。なお、参考までに「みえ県民カビジョン」における15の政策別、サミット関係、その他に分類した内訳は次のとおりです。

「みえ県民カビジョン」

01. 防災・減災	32 件
02. 命を守る	70 件
03. 共生の福祉社会	87 件
04. 暮らしの安全を守る	59 件
05. 環境を守る	15 件
06. 人権の尊重と多様性を認め合う社会	22 件
07. 学びの充実	70 件
08. 希望がかなう少子化対策の推進	94 件
09. スポーツの推進	6 件
10. 地域の活力の向上	60 件
11. 農林水産業	19 件
12. 強じんて多様な産業	23 件
13. 世界に開かれた三重	49 件
14. 雇用の確保と多様な働き方	77 件
15. 安心と活力を生み出す基盤	98 件

その他(行政全般・知事に対して等) 364 件

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果からもとの全体の値を推定するのが標本調査ですが、この際に生ずる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。標本誤差の幅は、回答数（N）、 および回答率（P）によって決定されます。

標本誤差 $E = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{N}}$	E : 標本誤差 N : 回答数 (人) P : 回答率 (%)
--	--

次表は、上式にNとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

標本誤差の早見表

回答率(p) 標本数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

アンケート調査を行う場合、許容できる標本誤差の範囲は3%程度の範囲までが望ましいと言われています。

仮に、ある設問のある選択肢が選ばれる場合（回答の比率）が50%の場合、信頼度95%、標本誤差±3%（同じ調査を異なる調査対象で行った場合、100回中95回までは-3%～+3%の間に収まること）では、1,111件のサンプル数が必要であり、同様に標本誤差±2%では2,500件のサンプル数が必要であるという考え方となります。

今回の調査では、5,236件の有効回答数が得られており、三重県全体の意見を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。（次式及び「サンプル数決定の早見表」参照）

$$\text{サンプル数 } N = \left(\frac{k}{E}\right)^2 \times P \times (100 - P) \quad (1) \quad ※1$$

N：サンプル数 P：回答率（%） E：標本誤差 k：信頼度係数 ※2

※1：一般に人口1万人以上を目安に無限母集団と捉えるため、本調査においては、無限母集団のサンプル数を決定する式（1）を使用した。

※2：信頼度係数は、正規分布表から求められ、信頼度95%の場合は1.96であるであるが、近似値として2を用いている。

サンプル数決定の早見表(信頼度 95%)

標本誤差 回答率	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
1,99	396				
5,95	1,900	475	211	119	
10,90	3,600	900	400	225	144
20,80	6,400	1,600	711	400	256
30,70	8,400	2,100	933	525	336
40,60	9,600	2,400	1,067	600	384
50,50	10,000	2,500	1,111	625	400